

東 吾 妻 町 第 2 次 総 合 計 画

【資料編】

目 次

1	第2次総合計画の策定経過	1
2	総合計画策定委員会の組織体制	6
3	総合計画審議会の委員名簿	7
4	総合計画審議会への諮問	8
5	総合計画審議会からの答申	9
6	町民アンケート調査報告書	26
	調査の概要	26
	調査結果	27
	資料（調査票）	73
7	住民ワークショップ実施報告書	81
	実施概要	81
	意見等について	84
	資料（付せん紙への記載内容）	91
8	関係団体及び民間事業者等ヒアリング実施報告書	96
	実施概要	96
	意見等について	97
9	中学3年生「総合的な学習の時間」との連携報告書	103
	実施概要	103
	東吾妻町JHS議会における主な質問（概要）	104
資料	東吾妻町第2次総合計画の案に対する意見と町の考え方等【集約表】 ..	106

1 第2次総合計画の策定経過

※この資料は、議会の議員全員協議会へ報告してきたものを再度集約してまとめました。

平成 28 (2016) 年度

月	日	会議事項等	会議等の内容
6	1	第 16 回 総合戦略本部	総合計画策定委員会の組織体制(案)について承認
7	22	第 1 回 総合計画策定委員会	〔報告事項〕 第 1 次総合計画の状況について 総合計画策定委員会について 〔協議事項〕 仮：第 2 次総合計画策定事務の進め方について 第 1 次総合計画下における個別計画等洗い出し調査 ほか
	29	各課あて依頼	個別計画等洗い出し調査の実施
8	19	各課あて依頼提出期限	個別計画等洗い出し調査票を集約
	31	第 2 回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 仮：第 2 次総合計画策定事務の進め方について (調査業務委託の仕様書など) 個別計画等洗い出し調査の集約 ほか
9	1	入札審査会へ付議	次期総合計画策定調査業務委託 見積合わせの随意契約による
	2	見積依頼書の発送	町内外 8 社へ 9 月 20 日提出期限
	20	見積合わせ、契約締結	契約者を決定 (株) ジャパンインターナショナル総合研究所
10	3	受託者と打合せ	業務委託工程等の詳細協議
	28	第 3 回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 次期総合計画策定調査業務委託について (受託者より業務実施計画等説明) 仮：第 2 次総合計画策定について (他自治体の策定動向など)
11	28	第 4 回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 諮問機関について 今後のスケジュールについて 第 1 次総合計画(実施計画)ローリングについて ほか
12	12	議員全員協議会	次期総合計画策定に関わる調査等の経過説明(企画課より)
	22	第 5 回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 第 1 次総合計画の検証について 次期総合計画の策定方針について 職員説明会について ほか
1	10	各課あて調査依頼	第 1 次総合計画(後期基本計画)の施策検証シートの作成
	11	職員説明会(出席:45名)	現行計画の検証(施策検証シート)と次期計画の方向性 ほか
	31	各課あて調査提出期限	第 1 次総合計画(後期基本計画)の施策検証シートを集約

月	日	会議事項等	会議等の内容
2	17	第6回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 第1次総合計画の検証について 中学3年生の総合的な学習（卒業研究）との連携 次期総合計画の策定方針について ほか
	20	東吾妻中学校との連携	3年生10名からの提言発表及び意見交換
3	14	議員全員協議会	次期総合計画策定に関わる調査等の経過説明（企画課より）
	23	第7回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 次期総合計画の策定方針まとめと決定 次年度の進め方 ほか

平成 29（2017）年度

月	日	会議事項等	会議等の内容
4	5	第26回 総合戦略本部	第2次総合計画策定方針について承認
		入札審査会へ付議	次期総合計画策定業務委託 見積合わせの随意契約を決定
		見積依頼書の発送	町内外5社へ 4月25日提出期限
	25	見積合わせ、契約締結	受託者を決定 特定非営利活動法人NPOぐんま
	27	第8回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 第2次総合計画策定事務の進め方 策定業務委託の受託者決定 総合計画審議会の組織 ほか
		受託者と打合せ	業務実施計画等の詳細協議
5	8	町民への周知等	策定方針及び公募委員の募集を公表(広報・ホームページ)
	26	町民への周知等	公募委員の応募締め切り 10名から応募あり
	30	第9回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 総合計画審議会の組織 住民意識調査（町民アンケート）の実施 ほか
		受託者と打合せ	町民アンケート等の詳細協議
6	1	第28回 総合戦略本部	住民意識調査（町民アンケート）の実施内容について決定
	12	議員全員協議会	第2次総合計画策定に関わる経過等説明（企画課より）
	16 ～	住民意識調査	町民アンケート調査票〔無作為抽出1800人〕発送（7月3日期限）
	23	第10回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 総合計画審議会の初回招集 住民意識調査の実施状況 ほか
	26 ～	町民への周知等	町政懇談会の場で策定方針等の概要説明（～30日まで5会場）
	28	第1回 総合計画審議会	委嘱状交付（24名）、会長・副会長の互選、第1次総合計画の概要等説明 〔審議事項〕 第2次総合計画策定の進め方 住民意識調査の実施 住民ワークショップ など

月	日	会議事項等	会議等の内容
7	3	第 29 回 総合戦略本部	総合計画審議会の開催結果と予定等確認
		住民意識調査	町民アンケート調査票の回収期限日 集計 [回収数 : 876 件、回収率 : 48.7%]
	26	第 11 回 総合計画策定委員会	[協議事項] 総合計画審議会の内容 第 2 次総合計画の素案 (序論、基本構想の骨子案) ほか
	27	受託者と打合せ	住民ワークショップ等の詳細協議 (審議会副会長が同席)
7	31	第 2 回 総合計画審議会	[審議事項] 住民意識調査の集計速報 住民ワークショップの実施 関係団体及び民間事業者等ヒアリング 第 2 次総合計画の素案 (序論、基本構想の骨子案) ほか
8	2	第 30 回 総合戦略本部	住民意識調査の集計速報、住民ワークショップ、関係団体及び民間事業者等ヒアリングの確認
	7	町民への周知等	総合計画審議会の招集など公表 (広報)
	8	ヒアリングシート (調査票)	町内の企業、機関・関係団体 [選定対象 45 者] へ発送 (8 月 31 日期限)
	29	住民ワークショップ	審議会の公募委員を中心に町職員も参加 (3 班編成 26 名出席) 今後のまちづくりについて、意見やアイデアを出し合う
	31	ヒアリングシート (調査票)	町内の企業、機関・関係団体ヒアリングシートの回収期限日 集計 [回収数 : 29 件、回収率 : 64.4%]
9	12	議員全員協議会	第 2 次総合計画策定に関わる経過等説明 (企画課より)
		町長ヒアリング	町執行部へのヒアリング
	19	第 12 回 総合計画策定委員会	[協議事項] 総合計画審議会の内容 第 2 次総合計画の諮問書 (案) の検討 ほか
	22	各課あて依頼	前期基本計画 (分野別計画) 案の各課精査を実施
	26	第 3 回 総合計画審議会 < 町長から諮問 >	第 2 次総合計画の案【2018～2027 年度(10 年間)】を諮問 [審議事項] 住民ワークショップの実施報告書 関係団体及び民間事業者等ヒアリングの集計状況 諮問内容の検討 ほか
10	2	第 32 回 総合戦略本部	総合計画審議会の開催結果と予定等確認
	5	町民への周知等	住民ワークショップの実施など公表 (広報)
	6	各課あて依頼提出期限	前期基本計画 (分野別計画) 案の各課精査を集約
	11	東吾妻中学校との連携	総合的な学習の時間へ職員派遣 (3 課より事前学習で現状等講話)
	23	第 13 回 総合計画策定委員会	[協議事項] 総合計画審議会の内容 前期基本計画 (案) ほか
	30	第 4 回 総合計画審議会	[審議事項] 諮問内容の検討 出席委員から個別に意見等を聴取 全委員へ意見提出用紙を配付 (次回までに)

月	日	会議事項等	会議等の内容
11	8	意見提出用紙の期限	14人の委員から42件の意見を提出
	13	第14回 総合計画策定委員会	〔協議事項〕 総合計画審議会の内容 前期基本計画(5年)のうち「重点施策」案 ほか
	14	正・副会長と協議	第5回審議会の会議内容等を協議
	15	第5回 総合計画審議会	〔審議事項〕 諮問内容の検討 答申までの進め方 ほか
	21	正・副会長と協議	答申書の原案について
	24	答申書(案)の送付	審議会の全委員へ郵送し、確認を求める
	30	東吾妻中学校との連携 受託者と打合せ	東吾妻JHS(Junior High School)議会～卒業を控えた中3の提案～(3年生25名出席) 今後の進め方等の打合せ
12	1	第34回 総合戦略本部	総合計画審議会の開催結果と予定等確認
	7	総合計画審議会から答申	正・副会長が登庁し、町長に対して答申
	11	議員全員協議会 総合計画(案)の修正作業	第5回審議会まで踏まえた第2次総合計画の案等説明(企画課より) 答申を受けた計画内容の精査や修正を開始
1	4	第35回 総合戦略本部	パブリックコメントの実施等確認
	26	第15回 総合計画策定委員会 受託者と打合せ	〔協議事項〕 パブリックコメントの実施案 今後のスケジュール ほか 今後の進め方等の打合せ
	2	議員全員協議会	パブリックコメントの実施等説明(企画課より)
2	5~	町民への周知等	パブリックコメントの開始(~23日まで) パブリックコメントの公表(広報・ホームページ)、資料の閲覧開始
	26	議会運営委員会 総合計画(案)の修正作業	3月定例会の議案説明 パブリックコメントの集約と計画内容への反映検討
	3	5	町議会へ議案提出

議決謄本の写し

議案第28号

東吾妻町第2次総合計画について

東吾妻町議会基本条例（平成22年東吾妻町条例第24号）第7条第1号の規定により議会の議決を求める。

平成30年3月5日提出

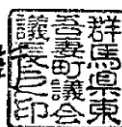
東吾妻町長 中澤 恒喜

平成30年3月15日 原案可決

上記は議決書の謄本である

平成30年3月16日

東吾妻町議会議長 浦野政衛



2 総合計画策定委員会の組織体制

1 設置根拠

東吾妻町総合計画策定委員会設置規程（平成 19 年訓令第 10 号）による。

2 設置目的

東吾妻町第 1 次総合計画（平成 20～29 年度）満了を迎えるにあたり、町政運営の羅針盤である総合計画の次期策定事務を円滑に進める必要から、本町の今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示した長期人口ビジョン（およそ 25 年後）及び総合戦略（平成 27～31 年度）などと整合を図りつつ、その基本構想（基本理念・基本方針・施策展開の方向）を策定するための調査、研究、立案等の事務を行う。

3 組織する期間（総合戦略本部にて原案承認）

平成 28 年 6 月 1 日から次期総合計画の策定までの間

4 組織（18 人で構成）

委員長（副町長）	渡 辺 三 司
副委員長（委員長が指名する者）教育長	小 林 靖 能
委 員（課長等）総務課長	茂 木 聡
企画課長	佐 藤 喜知雄
地域政策課長	浅 見 梅 雄
保健福祉課長	橋 爪 克 敏
町民課長	三 枝 仁
税務課長	黒 岩 康 茂
農林課長	丸 山 和 政
建設課長	桑 原 正 明
上下水道課長	高 橋 修
会計課長	松 井 秀 之
教育課長	田 中 康 夫
保健センター 所長	高 橋 いづみ
原町保育所長	山 田 やえ子
国保診療所長	藤 原 健 史
原町幼稚園長	松 村 宏 美
農業委員会事務局長	片 貝 将 美

5 委員会の庶務

企画課 次長 谷 直 樹
(企画調整係) 補佐 蜂 須 賀 徹 【事務担当】

3 総合計画審議会の委員名簿

【任命：平成 29 年 6 月 28 日～諮問に係る審議終了まで】

【会長◎及び副会長○は、委員の互選による】

	区 分	役職など	氏 名
1	条例第 3 条第 1 号の委員 (町議会議員 5 人以内)	総務建設常任委員会 委員長	樹下 啓示
2		文教厚生常任委員会 委員長	小林 光一
3	条例第 3 条第 2 号の委員 (地域を代表する者 5 人以内)	東地区代表 (区長会 会長)	山口 正
4		太田地区代表 (区長会 代表)	町田 巧
5		原町地区代表 (上之町区長)	山田 信行
6		岩島地区代表 (区長会 会長)	高橋 徳樹
7		坂上地区代表 (区長会会長会 会長)	赤池 剛
8	条例第 3 条第 3 号の委員 (学識経験を有する者 5 人以内)	農業委員長	奥木 徹弥
9		商工会長	池原 純
10		スポーツ協会長	飯塚 与一
11		情報公開・個人情報保護審査会長	中島 哲男
12		東洋大学 名誉教授	岡崎 涉
13	条例第 3 条第 4 号の委員 (公募に応募した者 10 人以内)	広く募った枠	水野 喜徳
14			相京 克彦
15			三枝 寿子
16			齋藤 貴史
17			一場 茂樹
18		若い世代や子育て世代を募った枠	高橋 優介
19			金子千恵子
20			山田 明美
21			清水 葉子
22			橋爪 寛子
23	条例第 3 条第 5 号の委員 (県関係者 1 人以内)	吾妻振興局長	高橋 守
24	条例第 3 条第 6 号の委員 (町職員のうちから町長が指名する者 1 人以内)	副町長	渡辺 三司

※1 東吾妻町総合計画審議会条例（平成 19 年条例第 6 号、「条例」という。）第 3 条各号の規定により、町長が任命する委員 27 人以内で組織する。

※2 これは、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、町長の附属機関として設置するもので、委員は特別職の職員の身分で報酬及び費用弁償を支給する。ただし、第 1 号及び第 5 号並びに第 6 号の委員は支給しない。

[事務局]

条例第 7 条 (審議会の庶務)	企画課長	水出 智明
	企画課 次長	谷 直樹
	企画課 補佐 (企画調整係)	蜂須賀 徹
	企画課 主任 (再任用)	佐藤喜知雄

4 総合計画審議会への諮問

東吾妻企 第 97 号
平成 29 年 9 月 26 日

東吾妻町総合計画審議会
会長 奥木 徹 弥 様

東吾妻町長 中 澤 恒 喜
(企画課)

東吾妻町第 2 次総合計画について (諮問)

このことについて、東吾妻町総合計画審議会条例 (平成 19 年条例第 6 号) 第 2 条の規定により下記のとおり意見を求めたく、ご審議をお願いいたします。

記

- 1 諮問事項 東吾妻町第 2 次総合計画の案
計画期間：2018 年度から 2027 年度まで (10 年間)
- 2 諮問理由 貴審議会において、本年 6 月 28 日の初回招集以降、町が昨年度中にまとめた第 1 次総合計画の検証報告書や第 2 次総合計画策定方針を踏まえた調査審議を総合的に進め、住民ワークショップなども行った。
これらの結果と住民意識調査の結果等を勘案し、計画 (案) を作成したので、この内容について諮問したい。
- 3 添付資料 (1) 東吾妻町第 2 次総合計画 (案)
(2) その他審議会の会議で配付する一切の関係資料等
- 4 今後の予定 (1) 平成 29 年 12 月中旬 町議会へ答申内容の説明
(2) 平成 30 年 1 月 パブリックコメント (意見公募) 実施
(3) 平成 30 年 2 月上旬 最終的な計画案の調製
(4) 平成 30 年 2 月下旬 町議会へ議案を上程 (議決事項)

5 総合計画審議会からの答申

平成29年12月 7日

東吾妻町長 中澤 恒喜 様
(企画課)

東吾妻町総合計画審議会
会長 奥木 徹 弥

東吾妻町第2次総合計画について (答申)

平成29年9月26日付け東吾役企第97号で諮問のありましたことについて、慎重に審議をした結果、下記のとおり答申します。

記

- 1 諮問事項 東吾妻町第2次総合計画の案
計画期間：2018年度から2027年度まで（10年間）
- 2 答 申 将来にわたって「住民が誇りを持って暮らすまち」を実現できる内容となっているか、基本計画（前期5年）のうち重点施策と分野別計画を中心に議論してきました。
この過程において、各委員から出された意見等集約したものを添付するので、これを十分に活用し、できる限り反映するよう修正を求め、答申とします。
なお、計画の文書については、住民目線に立った分かりやすい表現や、手に取って読む人がワクワクするような表現を心がけ、編集にあたっていただきたい。
(別添) 各委員から出された意見等 集約表
- 3 附帯意見 審議の過程で出された意見として、次の事項は今後の町政運営全般において、特に必要な措置を講じられますよう要望します。
 - (1)人口減少社会への対応や上信自動車道の開通を見据えたまちづくりは、総合戦略における各事業とも合わせ、今後10年間の最優先課題として取り組むこと。
 - (2)若い世代が安心して暮らしていくため、雇用の創出や結婚から妊娠・出産・育児・教育まで切れ目のない支援を町組織一体となり進めると共に、とりわけ職員においては個々の資質向上は基より、各課業務の横断的な展開かつ効率的な業務を心がけること。
 - (3)住民ワークショップを始め、住民ニーズを把握する中で、わが町の誇りや魅力を掘り起こしたが、これらを町の潜在的な資源と捉え、夢のあるまちづくりに活用していくこと。
 - (4)住民と協働したまちづくりを進めるため、住民が町政運営に参画しやすい仕組み（PDCAサイクル）を構築し、計画の進行状況や評価と共に、情報公開や定期的な報告に努めること。

(別添) 各委員から出された意見等 集約表

※ NO.1～63 は、第4回審議会で出席委員が個別に述べた意見を集約したものです。

※ NO.64～105 は、第5回審議会に際し事前に各委員から提出された意見を集約したものです。

※ NO.106～124 は、第5回審議会で出席委員が個別に述べた意見を集約したものです。

【意見等の区分け】

1 計画全般	第2次総合計画への全般的な意見
2 基本構想	第2次総合計画のうち「基本構想」に関する意見
3 基本計画	第2次総合計画のうち「基本計画」に関する意見
4 重点施策	基本計画（前期5年）のうち「重点施策」に関する意見
5 分野別計画	基本計画（前期5年）のうち「分野別計画」に関する意見

No	区分け	意見等	備考
1	2 基本構想	将来像に「安心」の一言を入れることを検討してほしい。	
2	1 計画全般	当団体では「住民が誇りを持って暮らすまち」ということに団体の活動をどう結び付けられるか常に念頭にしている。これからの活動でもまちづくりにどう寄与できるかを考えていきたい。	
3	4 重点施策	重点施策の実現は、町職員の双肩にかかっていると思う。	
4	3 基本計画	町職員の資質向上を図ってほしい。現在は職員の人事評価をやっていると思うが、そういうことがあれば緊張感をもって仕事ができると思う。また、希望する業務を調査していると思うが、やりたい仕事であれば成果を出しやすいと思う。そのようなことで膨大な施策を効率的に進めてほしいと思う。	
5	4 重点施策	進行管理について定期的に報告をしてほしい。また、重点施策の5年間の目標値として「設置・計画」となっているものは、5年後を待たずにもっと早く進め、5年後には具体的に動いているくらいになるべきと思う。	
6	4 重点施策	重点施策には住民アンケートの重要度・満足度が反映されているということだが、個人的には若い世代の意見がどの程度反映されているのかが心配だ。若い世代は人数が少ない分、意見が埋もれてしまったのではないかな。若い人の声を吸い上げることができるかと思う。	
7	5 分野別計画	施策はよく作り込まれていると思う。また、この内容に関連して、最近人から聞いたことを紹介したい。ある地域から東地区に引っ越した人は買い物に不便で困っているということだ。買い物に行きたくてもバスは渋川まで行っていないし、どのようなバスがあるのかもわからない、乗り継ぎ方もわからないということだ。引っ越してきた人へのそういう情報提供の充実が必要だ。また、子ども達が電車通学をするにしても路線バスが駅までつながっていないという不便もある。そういうことを総合的に考えると、路線バスとスクールバスの連携だけでなく、鉄道や福祉バスとの連携も検討してほしい。	
8	1 計画全般	この計画が確実に実行できれば素晴らしいまちになると思う。	

No	区分け	意見等	備考
9	5 分野別計画	インバウンドの関係で、これからは台湾がキーワードになると思う。計画(案) P.55 (6-6 地域間・世代間交流の推進)などでアジア圏との交流の視点を盛り込んでもよいと思う。草津温泉や伊香保温泉には既に台湾から多くの人を訪れている。そういうことを取り入れていくと文化、観光、産業などの面で面白いまちになると思う。	
10	5 分野別計画	町民アンケートでは水道水の安定供給の評価がとても高く、P.26 (3-3 水の安定供給と汚水処理の適正化)として施策も見られるが、山間部などでは特に施設の老朽化が課題だと思う。現在は安全な水が安定して供給されているため、問題視はされておらず、課題は見えにくい、重要なことだと思う。	
11	2 基本構想	将来像については、「第1次計画で定めたまちづくりの理念と将来像を引継ぎ」と記述するのであれば、第1次計画のまちづくりの理念を小さくてもよいので記載してもよいと思う。	
12	4 重点施策	重点施策1と6について。まさに重点的な内容が示されていると思う。その中で、地域医療については、原町日赤に頼めば何とかするという問題ではないと思う。関係者の話を聞く中でそう実感している。むしろ、この町で医療従事者を育てるという視点が必要なのではないかと思う。学校教育の段階から医療従事者を育てるという施策を検討してもよいと思う。そういう方向性があれば、特徴ある学校教育につながり、子ども達をそういう教育環境で育てたいという新規移住者を呼べるかもしれない。地域医療、雇用、子育て環境、高齢者福祉の充実にもつながると思う。そういう意味で学校教育は非常に重要だと思う。	
13	2 基本構想	将来像に「誇り」とあるが、一体どういうことが誇りなのか考えていくことが重要だと思う。	
14	4 重点施策	重点施策3について。来年4月より地域包括ケアシステムが本格的に始まるが、現在は手探りの状態である。認知症、独居老人、老々介護などの対策に取り組むことになるが、まずは介護予防、介護が必要となったら地域で支えあうという自助・公助に、国は方針を転換している。認知症だけでなく、独居老人や老々介護の問題についても盛り込んでほしいと思う。	
15	5 分野別計画	高齢者の中には買い物ができない人もいる。商工業者と協力しながら、買い物支援とともに安否確認ができるような横のつながりができて、それがうまく機能するとよいと思う。	
16	4 重点施策	重点施策5について。自分の会社には若い従業員が多く、年々増えている。町内や周辺でひとり暮らしを希望してもアパートなどの住宅単価が高く、なかなかできないという状況だ。そのため、草津や長野原から通っている人も多い。町有地などの活用で、若い人が移住しやすく、町内で長く住むことができる体制があるとよいと思う。	
17	5 分野別計画	P.18 (2-5 防災・防犯・交通安全対策の推進)について。高校生の子どもの持つ親からの話として、災害等による吾妻線の遅れや道路の通行止めなどの情報がメールや防災無線で得られるといいということを知る。現在は子ども達からのメールを受け、対応している。そのような情報が迅速に得られると、子ども達の安全・安心につながり親として安心できるということだ。	

No	区分け	意見等	備考
18	5 分野別計画	インバウンドだけでなく、仕事で訪れる外国人にとってもWi-Fi 環境は重要である。Wi-Fi が利用できる飲食店が少ないという声をよく聞く。また、案内板（看板）も英語表記がないのでその対応が必要ということも聞く。	
19	5 分野別計画	現在、町内でも人手が不足している事業所が少ないと思う。人手不足の解消のため、簡易作業を福祉作業所に委託できるとよいと思う。	
20	4 重点施策	重点施策の計画期間について。この内容で5年間は長いと思う。また、進捗状況についてチェックとフォローをどのようにしていくのか、また、誰がどのように進行管理し、その内容を公表するのか、そのシステムについてももう少し具体的に示せるとよいと思う。	
21	4 重点施策	重点施策2について。前回の審議会で出された案では、「若い世代の移住・定住を進める」とあり、人口減少の深刻化が理解できたし、若い世代の移住・定住施策の充実が重要だと思った。実際、町外から移住者の中には、土地や家屋はなかなか見つからないし、役場も相談にのってくれないという不安を持つ人や、隣の中之条町や高山村のほうが子育てに関する手当が充実していると言う人もいる。しかし、今回の案では子育て支援に限定され、さらに認定こども園の設置数のみに絞られてしまった。実際に子どもを育てている町民にとっては、認定こども園の設置は決まっている案件と認識されており、もっと他になかったのかと感じている。	
22	4 重点施策	前回の案の方が、この町の人口減少などの課題を踏まえていて適していたと思う。前回案で示されていたような若い人の定住促進ということを重視すべきと思う。この町にまだ住んだことのない若者が、この町の情報にふれたとき、「この町に移り住んでもいいかな」と感じるような魅力的な支援などを考えるべきと思う。身の回りにはこの町で土地家屋を取得したいという人がいるが、知り合いがいないこの町でどうやって探したらいいのか不安に感じているようだ。役場に相談といっても、どこに相談したらよいかわからない。そんな時、近隣の町村の移住補助の内容などを見ると、そちらの方が有利だからと感じる人もいるようだ。そういうことで、町外に人が流出してしまうのを見るのはとても悲しい。そういう意味で、今回の重点施策2の内容は残念に思う。	
23	4 重点施策	重点施策2について。本町の子育て支援は充実していると思う。そういう良いところをもっと見てほしいと思う。また、子育て支援の中でどのような支援へのニーズが大きいのだろうか。具体的な要望を踏まえた重点施策なのかかわりにくいと思う。	
24	4 重点施策	重点施策1について。原町日赤がもっと頑張らなければいけないというような内容に感じたが、既にとっても頑張っている病院だと思う。専門医が近くにいることは心強い。一方、診療所では心細い面もある。群大医学部の研修医が減っていることが、将来どのように影響するのか心配である。	

No	区分け	意見等	備考
25	4 重点施策	重点施策1の中に「初期の救急搬送」ということが書かれていることについて。現状では、出産の際に救急車が利用できない。しかし、場所によっては救急車を呼ぶしかないということがあると思う。そのような場合に救急車が利用できる特例があるとよいと思う。また、救急車を呼んでも、受け入れ先を探すのに15分から20分かかってしまう。その間に原町まで移動するなど、そういう対応ができないだろうかと思う。救急車が利用できたとしても、群大病院や小児医療センターなど遠方の病院に搬送されると帰りの足がなくて困る。そういうことを何とかできないかと思う。	
26	1 計画全般	総合計画にはたくさんの施策があるが、我々住民はどのように関わることができるのだろうか。住民としてどう関わればよいのか、関わるべきか示されると、住民協働が進みやすいと思う。	
27	4 重点施策	住民アンケートにもあるように、地域医療体制の充実が重要だと思う。原町日赤だけに頼るのは厳しいので、町内で医師を確保する対策が重要だと思う。	
28	4 重点施策	重点施策はこの内容で良いと思う。もっともな内容だ。	
29	4 重点施策	将来の人口の展望を考えると人口減少への対応は非常に大きな課題だと思う。坂上地区では人口減少は非常に深刻な状況で、この15年で千人位人口が減り、現在では4歳未満の子どもが28人位しかいない。働く場所や交通環境などが影響していると思うが、重点施策4や5などの推進を図り、とにかく人口減少対策は5年間にということではなく、もっとスピードアップしてほしい。	
30	1 計画全般	総合計画はまちづくりのバイブルだと思う。町村合併から13年、第1次計画の検証を踏まえ、全体的にもう少し具体的な内容が示せるとよいと思う。	
31	4 重点施策	例えば、人口減少をうけた具体的な施策などについてである。認定こども園はもう決まっていることなので、若い世代の定住・定着を図るのであれば、重点施策2を絞る（見直す）考え方もあると思う。	
32	4 重点施策	重点施策3について。地域包括支援センターを核とした地域包括ケアが始まろうとしている中、もう少し踏み込んで具体的に進められるとよいと思う。	
33	4 重点施策	重点施策3について。ある年代の人に介護離職が増えていると思う。もう少しで定年退職というような年代の人達だ。夫婦で働いていても、女性の方が定年を待たずに退職し、高齢者の介護を行うということが多いようだ。せっかくの労働力が介護で失われるのはもったいないと思う。	
34	4 重点施策	重点施策2について。若い世代の定住といっても、何しろ宅地が不足している。あってもスクールバスなどのバス停から遠いなど、子育てには住みにくい場所が多い。共働きで子育てがしやすい場所となると、町内で適地が見つからず、交通の便が良い町外に移ってしまう。若い世代が住みやすい宅地などについて町が紹介するなど、案内ができると思う。	
35	4 重点施策	これらの重点施策はそれぞれがつながってこそ意味があるものとなると思う。とてもいい重点施策だと思うので、上手く活かしていきながら、役場の職員が頑張ることが大事。	

No	区分け	意見等	備考
36	4 重点施策	重点施策6について。文言として、施策の展開で「システムの構築」とあるが、この内容は「学校教育の充実」でよいのか、学校教育とは小・中学校を指すのでは？学校に限らない町独自の教育という意味で「教育の充実」がよいのかと感じた。検討してほしい。	
37	5 分野別計画	P.19 施策の展開「防災マップの活用」について。「毎戸に配布し」とあるが、すでに毎戸配布されている。手元で確認したところ、平成27年の日付だった。これを新しいものにするのであればよいのだが、既存のマップのままなのであれば「活用」なのではないか。確認してほしい。	
38	3 基本計画	分野別計画の内容について。非常に抽象的、総花的で何をやるのか見えてこない。非常に残念だ。	
39	4 重点施策	重点施策の中からさらに最重要施策を絞り込んでもよいと思う。もちろん、掲載されていることがすべて進められればいいが、そういうわけにもいかないだろう。そういう意味では2~3点に絞って進めるのがいいと思う。	
40	4 重点施策	このまちの最重要課題は人口減少対策だと思う。出生数が減少する中、人口は毎年350人位減少している。そうすると、子どもを産み育てやすいまちづくりのための施策が最も重要となるし、移住・定住の促進や雇用促進も重要だと思う。これらに絞っていくのがよいと思う。	
41	4 重点施策	計画推進のためには財源が必要である。財源の裏付けのない計画には何も意味がない。財源についてもしっかり決めていくべき。この5年間でいつまでに何をどのくらい予算でやるかをしっかり決めていかないと、本当の意味での計画とは言えないと思う。	
42	4 重点施策	重点施策2について。5年後の目標値として認定こども園の設置数を設定しているが、これは来年4月には設置完了することになっているので、来年度からの5年後の目標値としてはどうかと思う。他の施策、例えば保育料や教育費、給食費の無料化など、他の目標値を検討すべきだと思う。	
43		3月議会でよりよい総合計画とできるよう皆さんの意見をよく聞き、勉強したい。	区分けなし
44	4 重点施策	上信自動車道の完成により、本町の交通体制が大きく変わることを懸念している。上信自動車道で来た人をいかに本町で下車させるかが重要だと思う。	
45	4 重点施策	重点施策について。前回の審議会で出された案と比べて具体的内容が変わっており、しかも個別計画の中から抜き出した内容となっている。前回の案のものは各課が連携して重点課題に取り組むという内容だったと思う。また、町民アンケートの結果のこの部分を受けて設定したものだということが示されていてとても分かりやすかった。分野別計画の中からこの6つを重点的に行うという明確な考え方によるものであればよいと思う。	
46	3 基本計画	その一方で、第1次計画で明記されていたもののうち、例えば「5-4 地域福祉活動の充実」における「福祉関係のNPO法人に対する支援」「公共施設のバリアフリー化」などの文言が見られないので、これらは達成されたから記述がないのだろうか。疑問に感じた。	

No	区分け	意見等	備考
47	4 重点施策	重点施策の目標値について。総合戦略にも具体的数値が目標値として出ているが、これらとの整合性をどのように考えているのか。	
48	3 基本計画	町民アンケートは高齢者からの回答が多かったので、若い世代に絞った施策についてなどは年代別のニーズも計画に反映してほしい。	
49	2 基本構想	将来像について。「きみと あなたと」とは住民参加を意味しているのだろうか。住民同士や住民と行政といった位置づけが明確にされていると分かりやすい。そういう意味付けがされた上で、馴染みのある校歌からということであればよいと思う。	
50	1 計画全般	5年間の計画の中でも進捗状況に合わせて随時、軌道修正が必要だと思う。	
51	1 計画全般	町職員は普段からこういうことを考えて仕事をしているのではないかと思った。あえて書かなくてもよいようなことがかなり書かれているように感じた。また、これをしたからといって、目標となることができるのだろうか。	
52	1 計画全般	というのも、第1次計画の検証まとめ資料を見ると、主要施策のうち「計画どおり実行」が最も多く、「計画は未実行」はひとつもない。それにも関わらず人口は計画したものより減っている。今回また同じような計画を立てても堂々巡りとなり、何のために検証しているのか分からない。	
53	1 計画全般	ギリ貧でも住みやすければいいのだとみんなが思っているのであればそれでもいいと思う。しかし、若い人にもっと住んでもらいたい。そうすると重点を絞ることも必要と思う。	
54	3 基本計画	働く場について、例えばある会社が従業員の駐車場を確保したいということになっても、一企業の応援はしない、また、住居を探しているといってもそれは民間企業がやることだ、というようなことがこれまでの町行政ではあった。この計画では町が支援すると明記していても実際には支援してくれない。計画の内容と実態が合っていない部分があると思う。その辺をはっきりさせればもう少しきちんとしたものができると思う。一企業であろうと、若い人を雇って、人を増やしてくれるところには、少く無理をやってもいいのではないかと思う。	
55	3 基本計画	若い世代の意見をより反映させたい。	
56	4 重点施策	上信自動車道についても、もっと強く示してもよいと思う。この町で下車するだけでなく、定住対策として上信自動車道に乗ってもらう対策を打ち出してもよいと思う。	
57		本日はたいへん内容のある意見を聴けた。	区分けなし
58	1 計画全般	総合計画には、当たり前のことが当たり前のようには書いてある。しかし、それをやっていかないと行政は先に進まないし、住民も納得できないと思う。	

No	区分け	意見等	備考
59	4 重点施策	重点施策2について。認定こども園を5つ整備することはよいと思うし、現在幼稚園を利用している人達にとってもありがたいと思う。しかし、認定こども園に預けない人が急に子どもの保育を必要とした時に、この認定こども園では、あらかじめ登録していないと対応してもらえないらしい。東京圏などでは、あらかじめ登録していなくても、2時間や4時間などの保育にも対応している施設もある。認定こども園を5つ設置するという目標とするのではなく、そこで行う子育て支援の内容をもっと考えていくべきだと思う。	
60	1 計画全般	いろいろな事を一つひとつ考えると不便なこともあるし、悪いところも出てくる。しかし、わたしたちはこの町で暮らし続けていく。あと30年もすれば消滅する集落やまちがあるとされている中で、何をしたらいいか、生活を続ける上でどうしたらいいか、維持するにはどうしたらいいかということがこの計画に具体的に示されることが重要だと思う。	
61	1 計画全般	総合計画は、まちの運営の背骨となる。計画の成果がなかなか見えてこないという意見も聞くが、町としても様々な取組を行っているので、今後は成果が分かるように努めていくことが大事。	
62	5 分野別計画	P.42 (5-3 高齢者福祉の充実) について。認知症は初期支援だけでなく、その先の支援、家族への支援が重要である。その視点でも考えてほしい。	
63	5 分野別計画	P.14 (2-3 公共交通の強化) について。町からかなりの予算が投入されているので、効率的かつ効果的な取組を進めてほしい。町外から駅に着いた人がバスなどの情報を得やすいような対応も必要と思う。	
64	5 分野別計画	5-2 地域医療体制の充実 住民としては、安心して受けられる医療を望んでいるので、小児科の入院と出産の対応を前向きに考えて頂きたい。その為には、日赤病院だけを頼るのではなく、町として医師を確保できるよう、医師を育てるような援助をしてもらえたら助かる。	
65	5 分野別計画	5-6 子育て支援の充実 5つの幼稚園をこども園として5園になることは決定しているが、人口の減少を考えると、その後、5園から3園へなどの対策も考えていかないと厳しいと思う。	
66	5 分野別計画	3-2 自然環境の保全と活用 東吾妻町は何といても自然に恵まれ守ると共に、人々の暮らしに役立つよう活用して、人と自然が共に生かされるよう願っています。	
67	4 重点施策	若い人の地元の雇用も少なく、結局は遠くにでざるを得ないので、ほとんど地元、本町とは遠のいてしまう、これでは町がさびれていくしかないなので、早急の施策が必要になっています。誰でも、自分の家に住みせめて通勤できる場所で働きたいのはあたり前のことです。その場所を考え、あたえてやるのが我々、中高年の責任のような気がします。	

No	区分け	意見等	備考
68	4 重点施策	<p>重点施策3 高齢者福祉の充実</p> <p>認知サポーター増員に加えて、次のように考えます。</p> <p>在宅介護の初期の段階では、認知症サポーターによる援助が有効かと思えます。認知症の進行に伴い、家族では対応しきれない場合が多く、次の段階の対応の設定が必要かと思えます。</p> <p>自宅(居宅)介護：家族による介護、認知症サポーターの活用、ヘルパーの導入、デーサービス、ショーステイの利用</p> <p>施設入居：特別老人養護施設、介護付き老人ホームの利用</p> <p>これらは、老老介護、介護に要する費用、公的年金でまかなえるか、施設の受け入れ状況などがポイントになるかと思えます。これらを必要とする町民がどの程度いるかを調査することも必要でしょう。</p>	
69	4 重点施策	<p>重点施策4 公共交通体系の強化</p> <p>町から多額の補助金が拠出されていますので、それに見合った運営が必要となるかと思えます。町民のための公共交通、町外からの利用者のためを考えるとどこが共通点になるか、町外の場合には、JRとの接続が第一となるかと思えます。補助金関係を考えるとバス会社とのダイヤ改定基準等の取り決めを設定することも必要となるでしょう。</p> <p>公共交通の利用調査もダイヤ設定には欠かせないものと思えます。</p>	
70	5 分野別計画	<p>2-3 公共交通体系の強化</p> <p>町から多額の補助金が拠出されていますので、それに見合った運営が必要となるかと思えます。町民のための公共交通、町外からの利用者のためを考えるとどこが共通点になるか、町外の場合には、JRとの接続が第一となるかと思えます。補助金関係を考えるとバス会社とのダイヤ改定基準等の取り決めを設定することも必要となるでしょう。</p> <p>公共交通の利用調査もダイヤ設定には欠かせないものと思えます。(上記 NO.69 再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客の二次交通を考えると、JRとの接続改善、JR駅舎内にバス時刻表、経路図などの掲出、併せてHPの改善も必要となるでしょう。現状の駅前の状況では、不便かと思えます。町担当者、観光協会職員によるJR、バスに乗っての現地検証が必要かと思えます。 JR特急との接続は、中之条駅にはホームが3面あるのでダイヤを工夫すれば上下線とも可能です。 	
71	5 分野別計画	<p>3-1 低炭素・循環型社会の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ごみを出さない生活の促進 <p>家庭用生ごみ処理機は、生活の一部として町民が取り込むことができない限り難しいかと思えます。ただ置いておくだけの場合が多いようです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新エネルギー導入の促進 <p>住宅用太陽光発電のことと思えますが、住宅の構造、山間地での発電効率、将来の買い取り価格など、検討事項は多々あると思えます。</p>	

No	区分け	意見等	備考
72	5 分野別計画	3-3 水の安定供給と汚水処理の適正化 ・畜産排水の処理 町内に畜産業者があれば、アンモニア性窒素、硝酸窒素の完全な処理が必要かと思ひます。	
73	5 分野別計画	4-1 農林水産業の振興とブランド化の推進 ・農業基盤の整備 農地集積は非常に大変なことかと思ひます。特に微妙な高低差があると農地を広くすることが出来ないと言つても過言ではないでしょうか。	
74	5 分野別計画	4-1 農林水産業の振興とブランド化の推進 ・森林の健全な管理が必要かと思ひます。最近の水害による山林の崩壊は、適切な間伐が実施されていないこと、つる性の植物による樹木の弱体化によるものかと個人的には考へています。間伐材に需要を掘り起こし、産業化すると同時に森林保全を行なう必要があると思ひます。	
75	5 分野別計画	6-1 生涯学習・生涯スポーツの推進 ・生涯学習については、大学において講師派遣事業を行っているところも多く、そのシステムを利用して、町民講座、職員研修に活用することをお勧めします。 東洋大学の講師派遣事業のHPです。 http://www.toyo.ac.jp/site/haken/	
76	4 重点施策	【その他のコメント】 1.総合計画（案）ですが、目標はよくわかるのですが、「何を」「いつまでに」「どの程度」を示すとよりわかりやすいかと思ひます。総合計画の本文とは別に作成しても良いかと思ひます。	
77	3 基本計画	【その他のコメント】 2.PDCAサイクルを回すと思ひますが、それぞれの基本目標によって実施期間が異なるかと思ひます。できるだけ早い検証ができるように仕組みを作るべきではないかと思ひます。基本目標によっては年度の途中での検証も考へてはいかげんでしょうか。予算の執行が効率よくできると考へます。	
78	4 重点施策	前に配られた総合計画(案)のP.22以降のまとめ方のほうがわかりやすい。重点施策の中に主な基本施策が書いてあることでイメージしやすいです。	
79	1 計画全般	第2次総合計画が来年度から始まるのと合わせ4月から総合計画の住民報告会&意見交換会を月1回やってほしい。住民と行政の協働が実感できる場になると思う。また、まちづくりに機会があれば参加したいと思っている多くの人たちとつながることもできるのではないかと思ひます。各地区ごとで『区長・班長さん他住民の方々への総合計画報告会&意見交換会』をやってほしい！ 行政が総合計画にもとづいた取り組みをやっている感を住民の方々には是非伝えてほしいです！	
80		審議会参加者全員の意見用紙を次回の会議前に資料として見ておきたいです。(名前はあつてもなくてもいいです)	区分けなし

No	区分け	意見等	備考
81	4 重点施策	<p>6-2 学校教育の充実</p> <p>中学校統合から数年経ち、順調な活動・生活が出来ていると思います。次は小学校の統合を積極的に推進すべきだと考えます。</p> <p>先月行われた「認定こども園」設立に向けた説明会の資料を読みましたが、数年後には、原町地区を除く地区が同級生10名程度になると記されていました。</p> <p>私も2歳の子を抱えていますので、小学校生活が不安になります。</p> <p>1、競争とは言えませんが、切磋琢磨する仲間が近くにいれば伸びると思います。</p> <p>少人数生活で得られるものも多いと思いますが、コミュニケーション能力や大規模な集団生活での適応力の低下が出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>2、近隣に近い世代が少なくなり、登校班が形成できないのではないかと思います。</p> <p>スクールバスの送迎コストがかさむ、といった意見もあるようですが、現在の中学校のルート・時間をそのまま利用すれば良いと思います。</p> <p>バス運転手の乗員把握の管理コストは増すとは思いますが、原町地区以外の地区のバス送迎コストと比較すればリーズナブルではないのでしょうか。</p> <p>また、JR沿線地域は鉄道利用も検討しては良いと思います。</p> <p>そうすることでJR吾妻線の利用促進にも繋がるかもしれません。</p> <p>中学生になる長男も、いろいろな趣味や考えをもった同級生が出来て、学校に行くのが楽しいと話しています。</p> <p>そこで、私は「学校教育の充実」の目標（指標）を、『小学校の統合』とし、目標を『平成34年度』にしたらどうかと提案します。</p> <p>また、小学校統合による効果は</p> <p>【基本施策 5-6】子育て支援の充実</p> <p>【基本施策 2-3】公共交通体系の強化</p> <p>にも大きく寄与する事項と考えます。</p>	
82	5 分野別計画	<p>1-2 情報公開・情報共有の推進</p> <p>全般的に必要と思われますが、町としてのブランディングがまず大切ではないかと思います。広報・HP・名刺・チラシ・看板・観光・産業などなどについて、一貫したブランディングをつくることを行政と住民、そして、専門家で行っていただきたいです。(分かりやすく中之条のように)町外の人から好感が得られ、しかも、オリジナリティのあるものがいいなあ。</p>	
83	5 分野別計画	<p>4-3 商工業の振興</p> <p>4-4 新産業の創出と雇用の促進</p> <p>IT、ベンチャー、創業、起業、地域課題解決、医療、福祉・・・などについての人材育成・開発に力を入れてほしい。学校教育・社会教育分野を含めて、若い世代から企(起)業家精神のあふれる町とし、将来の町の企業を創出する人材づくりから始めないと真の商工業振興にはつながりません。</p>	

No	区分け	意見等	備考
84	5 分野別計画	<p>4-4 新産業の創出と雇用の促進 基幹産業は「農林業」ではあるが、この地域の全国的にも類は少ないと思われる面を新しいチャンスととらえるべき。理工系産業(教育も)の産業育成を行ってほしい。 =STEM=Science Technology Engineering Mathematics 火山、温泉、ダム、酸性河川、コンパクトシティ、橋梁、バイオマス、水力発電、パナソニック、リンテック、サンワなどなど理工系研究などを行うのに全国まれに見る切り口の多さをもっている。それに加えて医療・産業なども加えると非常に魅力的。教育でも産業でもIターンを創出できる潜在能力をもっている。 前橋工科大、東洋大とも連携がとれる環境もある。 50年後にノーベル賞の人材を出すことも夢ではない！</p>	
85	5 分野別計画	<p>5 保健・医療・福祉の充実 全ての項目において、お金と人材がカギ!! 日赤病院や群馬大学、群馬県をたよっていい返事まちをしていても無理にきまっているので、人材は地域の中で育てるしかありません。そうすることで、その道を目指す優秀な人材がIターンで集まります。また、医療費を削減するために、行政でレセプトを監査できる人材を育てるべきと思います。</p>	
86	4 重点施策	<p>6-2 学校教育の充実 「町独自の教育システム」の中で「医療・福祉」の人材育成(公的学習塾など)をどれだけやれるかが、この町の将来のカギと思っています。これを本気でやれば重点施策の①②③④⑤⑥において、大きな成果と全国的な実績をつくることができると信じています。信じて疑いません！</p>	
87	5 分野別計画	<p>4-2 観光基盤・ネットワークの整備 6-4 地域間・世代間交流の推進 ズバリ、「台湾」をキーワードに入れましょう。 観光・産業・文化・交流など多岐にわたるインバウンドに挑戦しましょう！</p>	
88	5 分野別計画	<p>4-4 新産業の創出と雇用の促進 人口の将来展望が推計値より現状が悪化してきている、人口減を少しでも防止するには、若者が町で安心して定住できる環境が必要と考える。安心して暮らせるにはそれなりの収入が確保できる働き場所が必要。新産業の創出による雇用促進で人口減を防止できたらと思う。人口減対策が一番かと思います</p>	
89	5 分野別計画	<p>6-2 学校教育の充実 給食センターの運営・無料化へ移行推進 ・無料化は賛成ですがそれにより給食の質は落ちる様な事の無いようにしていただきたいです。 幼稚園の認定こどもへ移行・充実 ・10年後の町内の人口減少が予測されているのに何故5園そのまま残すのか？子供の為の教育のはずです、子供の事を考えて進めて頂きたいです。今の状況でも園児の少ない状況で、集団での活動(運動会、発表会等)はとても充実したものとは言えないと思います。小学校においても同じことがいえると思います。 幼小の合併の考えが無いのなら、自らが選択して町内の幼稚園、小学校を通える様にして頂きたいです。ただその為には、交通機関の充実も必要になってきます。最重要事項にあげた施策をきちんと進めて頂きたいです。</p>	

No	区分け	意見等	備考
90	5 分野別計画	<p>1-1 住民と行政の協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町政懇談会の開催方法ですが、具体的に年齢層を区切って、町から無作為に座談会形式などで集めて意見を聞いたり、テーマを決めて(例：子育て支援について、福祉医療について)そのテーマについて意見交換をするなど、もっと参加する側も明確に集まりやすい方法、手段を検討してみたいかがでしょうか？ 	
91	5 分野別計画	<p>1-2 情報公開・情報共有の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者世代や移住をしようかと考えている人はまず見るのがホームページです。トップページの順番を見やすく整理(項目は下でよいと思います)し、観光に行こうという人、暮らし移住を考えている人、ワンクリックでまとめて読めるページを大きく見やすくしたほうがよいと思います。 ・町職員がこまめにお知らせ、情報をアップするべき。若者世代はスマホ、パソコンでなんでも検索するので、町の広報、お知らせで配布した案内も連動してアップしたほうがよい。 ・SNSを町も活用して観光や移住アピール。Facebook、インスタグラム、ブログなど 	
92	5 分野別計画	<p>2-2 住環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べる遊具や公園が少ないという意見が確かに多いが、実際遊具や公園はあることにはあるが、広報アピールが足りない。公園マップなどを作ったり、ホームページにも掲載案内したほうが良いと思います。 ・また、自然の空き空間が多いので、いまキッズに流行っているキッズバイク(ストライダー)コースを作りませんか？子供だけでなく、普段はMTBコースとして使用できるものがベストです。また出来ればキャンプなどの宿泊施設に併設、近いところだと全国から集客できて大会開催もできます。(参考までに、群馬だとストライダーコースが榛東村のキャンプ場か水上高原のホテル敷地併設コースぐらいしかなく、吾妻郡にはないため、とてもよい機会だと思います。実際大会を開催すると全国からキッズが集まります。 	
93	5 分野別計画	<p>5-6 子育て支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大前提であるこの町の人口減少を防ぐため、この子育て支援はもっと手厚く制度や金額など支援に力を入れるべきです。この層が人口増に貢献するわけですし、社会環境の変化で子供を産みたくても産めない人たちへの支援ももちろんです。 ・妊婦健診の受診券でまかないきれない支払った医療費も全額補助でよいと思います。後日領収書添付で申請するなど。 	
94	1 計画全般	<p>全体的な意見として</p> <p>計画の文章の文言が「推進」という言葉が多く、これはある意味都合のよい解釈にとらえられると思いますので、重点施策もそうですが、実現・実行というしっかりとした明記区別が必要に感じます。</p> <p>これを町民のみなさんが読んだとき、本当にやるのかな？できるのかな？と疑問に感じると思います。</p>	

No	区分け	意見等	備考
95	5 分野別計画	1-2 情報公開・情報共有の推進 広報誌・ホームページの充実 第2次総合計画は今後各課でそれぞれ担当して計画実施していくものと思われるが、そのタイムスケジュールの進捗状況を「広報ひがしあがつま」又はホームページで定期的(少なくとも年1回)に情報提供をする。	
96	5 分野別計画	2-1 道路交通網の整備 上信自動車道への対応の推進 上信自動車道完成後、東吾妻町が通過点となり東吾妻町が寂れることのないような施策を考える。 たとえば、原町駅北の商店街へスムーズに車を誘導できるような道路を整備する。	
97	5 分野別計画	5-2 地域医療体制の充実原町赤十字病院の機能充実に向けた働きかけの推進原町赤十字病院は吾妻地域の拠点病院であるということを十分認識し、吾妻郡全体の過疎化の防止との観点からも吾妻郡6町村が共同して各方面に強力に働きかけを行う。	
98	5 分野別計画	5-5 地域福祉の推進 関係機関・団体との連携強化 福祉活動を維持していくための人材には、東吾妻町役場職員OB又は民生委員児童委員OBも対象にし、ボランティアに協力できるOBを組織化して協力体制を作り、年齢に合った活動内容を依頼する。	
99	1 計画全般	全体を通して、2点の検討をお願いします。 ①審議会のメンバーに公募委員を入れ、町民アンケートや住民ワークショップで意見を聴取したのだから、今後の東吾妻町の将来像とそれに向かって何をするかを重点施策に入れた方がよいと思います。(重点施策は以前の方がわかりやすかった気がします。) 「(仮称)まちづくり参加条例」の制定、都市計画マスタープランを策定、景観条例の制定等がありますが、住民が納得し、運用していかなければ絵に描いた餅になってしまいます。 「～東吾妻 きみと あなたと～」は、協働のためのキャッチフレーズだと思います。	
100	3 基本計画	②基本目標ごとに目標を策定した方が5年後の東吾妻町をイメージすることができると思います。	
101	5 分野別計画	4-2 観光基盤・ネットワークの整備 本町の観光入込数は平成27年は約70万人と急増したとされています。これはNHK大河ドラマ「真田丸」効果によるところが大と思われるが、今後長期的な視点で本町の観光基盤を考えると非常に不安に思うのである。 不安要素を2点だけ挙げる。 (1) 本町の観光基盤が極めて脆弱であると思われる。 (2) 上信道の開通を想定した施策が記載されていない。 特に(2)に付いては近い将来開通すると、ストロー現象が発生するのではないかとと思われる。このような事から観光基盤の観点からだけでは無く、広く関係方面と連携し上信道開通を見越した総合的な専門プロジェクトチームを立ち上げたらと思います。	

No	区分け	意見等	備考
102	5 分野別計画	<p>5-3 高齢者福祉の充実</p> <p>①認知症の方の把握</p> <p>②独居、高齢夫婦世帯の把握</p> <p>③①と②の現状をしっかりと確認把握し、民生委員、区長、ケアマネージャー、認知症サポーター、町の担当課を中心に年3回程度の集まりを開催</p> <p>④認知症の方の行方不明時のマニュアル作成</p> <p>⑤認知症サポーターの増員活動（認知症を知る）専門の方の勉強会など行う。</p> <p>⑥上記①～⑤を行い、それぞれの現状把握と日常的に安否確認が出来る体制を整える。</p>	
103	5 分野別計画	<p>4-1 農林水産業の振興とブランド化の推進</p> <p>農業振興について、町内農地の基盤整備が進む中で、町外の農業者が優良農地を利用していく傾向にあるが、出来るだけ町内の農業者が利用していけるよう、農地中間管理機構など含めた体制整備が必要に思う。</p>	4回～5回と欠席のため、事務局が電話で聞き取り集約
104	5 分野別計画	<p>4-1 農林水産業の振興とブランド化の推進</p> <p>町農研連が解散したことで、農業者と町行政のパイプがなくなり、情報交換なども行いにくい環境になっている。</p>	4回～5回と欠席のため、事務局が電話で聞き取り集約
105	5 分野別計画	<p>4-1 農林水産業の振興とブランド化の推進</p> <p>農畜産物のブランド化について、取り組みが弱いと感じている。また、JAと町行政の連携も弱い。先進的なJAと行政は、6次産業化に向けた専門部署を設置するなど連携強化を進めている。</p>	4回～5回と欠席のため、事務局が電話で聞き取り集約
106	4 重点施策	<p>重点施策（案）の冒頭に『人口減少社会』へ対応するためとあるが、実際、人口減少は避けられないと思う。人口を維持するというだけでなく、人口減少が進む中でやるべきことを具体的に記載できるとよいと思う。</p>	
107	1 計画全般	<p>文章全体について。もっとシンプルにできないか。PDCAなど専門用語は一般の住民には理解しにくいと思う。協働についても、住民目線の書き込みが少ないように感じる。要するに文章表現が硬いと思う。</p>	
108	4 重点施策	<p>重点施策（案）の内容そのものは、さまざまな内容が網羅されていてよいと思う。</p>	
109	4 重点施策	<p>重点施策（案）の内容はまさにそのとおりであり、行政として受け止める姿勢が見られて心強く感じた。今後は、住民がどこまで関与できるかも重要だと思う。意識や姿勢の面で、現段階では住民と行政や議会とのギャップが大きく、住民は行政や議会に何か働きかけても仕方ないとあきらめている部分があると思う。また、「住民」と「町民」は違うと思う。この町に住んでいる住民が誇りを持ってこの町で暮らすことが最も重要だと思う。</p>	
110	5 分野別計画	<p>庁内の横のつながりをしっかりと確保してほしい。例えば介護分野について。健康増進センターで高齢者を対象に介護予防事業を行うとして、センターを利用する高齢者は買い物へのニーズが高い。そういう場面で商業者が買い物の手伝いをしてくれたら、健康チェックと買い物を一体化することにより、さまざまな無駄を減らすことができると思う。そういう、分野を超えた横のつながりが重要だと思う。</p>	

No	区分け	意見等	備考
111	1 計画全般	もっと町民の意見を聞く機会があるとよいと思う。アイデアを持つ町民はたくさんいると思う。	
112	5 分野別計画	町内の産業を見ると、仕事はあるがマンパワーが足りず、ニーズやインフラがあるのに対応できないという「歯がゆい」状態があるようだ。また、従業員が町内で住まいを確保できず、草津町や長野原町などから時間をかけて通勤している状況も見られる。この視点でも、住宅政策の充実により、移住・定住者を増やすことは可能だと思う。	
113	5 分野別計画	マンパワー不足については、福祉施設との仕事のマッチングができるとよいと思う。	
114	5 分野別計画	住環境について、アパートはもちろん、一軒家の需要もあると思う。しかし、不動産業者が少ないこともあり、そもそも住まい確保のための情報が少ない。	
115	4 重点施策	重点施策（案）はよくまとまっていると思う。抽象的な内容はやむを得ないと理解できるが、町民に分かりやすいようにもう少し具体的記載も検討してほしい。	
116	4 重点施策	重点施策2（若い世代の移住・定住を進める）について。空家調査を進めていると思うが、それを踏まえて今後どのように取り組むのか書き込めると町民にとって分かりやすいと思う。	
117	4 重点施策	重点施策3（中山間地域の特性を活かした産業を創出する）の指標⑤（企業誘致のためのプロモーション活動）について。企業誘致はなかなか難しいと思うので、「他県の企業との連携による雇用の創出」などの表現として、東京圏で不足しているマンパワーへの対応を図ることも有効だと思う。ハード（企業自体）を誘致するだけでなく、仕事だけを誘致するということだ。	
118	4 重点施策	重点施策4（住民と行政の協働により効率的な行財政運営を図る）の指標②（庁内横断的な取り組みにも対応する新たな組織体制整備）を特に進めてほしい。例えば公民館職員が庁内の他組織の取組を知らないという話を聞いたことがある。ぜひ、庁内の横のつながりを強化してほしい。また、住民アンケートの自由記述で役場職員の資質向上やリーダーシップに関する内容が見られたが、役場職員ができるだけ町のことを網羅し、対応できるようになれば、横のつながりがスムーズになり、町民からの相談などにも適切に対応できると思う。この計画も、どれほどよい内容のものをつくっても、扱う職員が理解していなければ成果は得られないと思う。指標②はすぐできることだと思うので、早急に行うしてほしい。	
119	4 重点施策	重点施策（案）は、前回示された案のほうが具体的だと思う。一方、今回の案のほうが、住民アンケート、ワークショップなどの成果が盛り込まれているので、その部分は分かりやすいと思う。他のページでもよいので、もう少し具体的な内容を示すことができると分かりやすくなると思う。	
120	4 重点施策	重点施策（案）について、確かに前回示された案のほうがシンプルで分かりやすいと思ったが、一方で、前回案の子ども園についての目標値の設定はおかしいと思った。	

No	区分け	意見等	備考
121	4 重点施策	住民がワクワクするような具体的な内容をシンプルに出せるとよいと思う。	
122	1 計画全般	この計画は、子育て中の若い世代、区長会などさまざまな方がそれぞれの立場でこの審議会に参加し、審議した成果だ。具体的な内容を確実に実行し、それを点検・評価していくことが重要だと思う。	
123	4 重点施策	確かにワクワク感は重要であり、重点施策の文章表現をシンプルにするだけでも変わってくると思う。	
124	3 基本計画	重点施策と分野別施策は一体となって取り組むことになると思うが、それぞれの項目をいつまでにするのか分かりにくいと思う。また、優先順位をつけることも重要だと思う。分野別施策の中には、早期に終了するものと長期にわたるものがあると思うので、限られた予算を有効活用する意味でも、早期に終了した施策は次の段階に進められるような仕組みがあるとよいと思う。検証は必ずしも一律同時ではなく、できる施策から検証し、予算が余れば他の施策に回すなどの柔軟な仕組みができるとよいと思う。	

6 町民アンケート調査報告書

調査の概要

1 調査の目的

東吾妻町のまちづくりに関する町民の意見や評価を把握し、「東吾妻町第2次総合計画」に反映することを目的としています。

2 調査の方法

調査の方法は以下のとおりです。

調査対象	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の町民1,800人 (平成29(2017)年6月1日時点)
調査方法	郵送による調査票の配布・回収
調査期間	平成29(2017)年6月16日～7月3日

3 調査の回収結果

調査の回収結果は以下のとおりです。

発送数	1,800件
回収数	876件
回収率	48.7%

4 集計結果の見方

- ① 集計結果の構成比率(%)は、小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- ② 各設問のタイトル末尾には、その設問の回答数にあわせて「1つに○」または「3つまで○」「5つまで○」と示しています。
- ③ 集計と分析は、主に調査回答者の性別、年代別、居住地区別について行っています。
- ④ 一部の設問では、それぞれの選択肢に点数を与え、その平均値(加重平均値)を各項目の評価点としています。

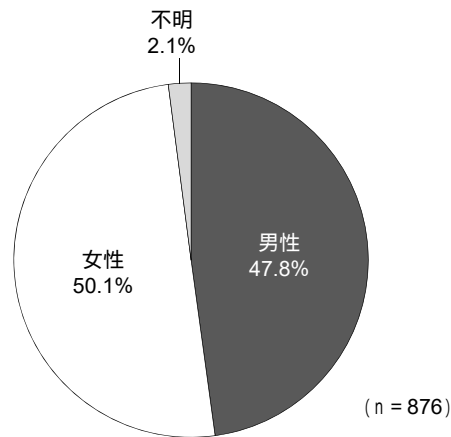
例えば「問3 町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度」では、5つの選択肢(重要・満足、どちらかといえば重要・満足、どちらともいえない、どちらかといえば重要ではない・どちらかといえば不満、重要ではない・不満)にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点の点数を与え、その平均値(加重平均値)を求めて評価点としています。そのため、評価点は2点から-2点の間に分布し、中間点の0.0点を境として、2点に近いほど重要度・満足度が高く、-2点に近いほど重要度・満足度が低いと考えられます。

調査結果

回答者の基本属性

性別

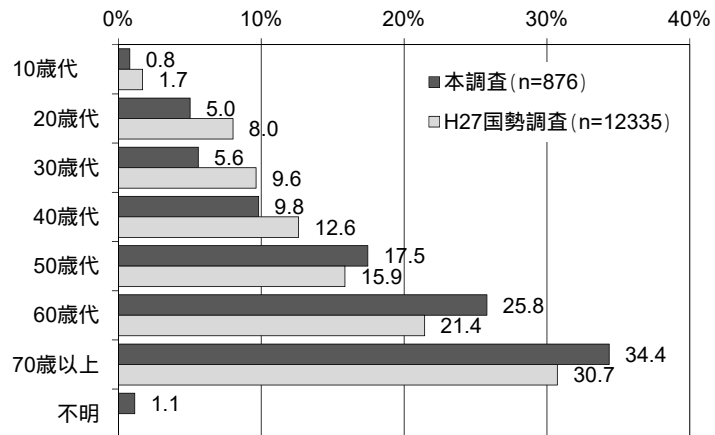
男性（47.8%）、女性（50.1%）がいずれも約 5 割で同程度となっています。



年代

70 歳以上（34.4%）が 3 割以上で最も多く、次いで 60 歳代（25.8%）、50 歳代（17.5%）となっています。

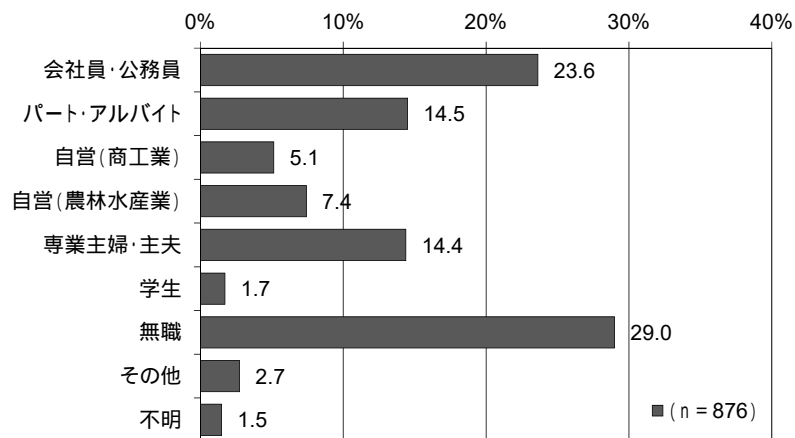
平成 27 年国勢調査における各年代の人口構成比（18 歳以上）と比較すると、おおむね同様の傾向となっていますが、本調査の回答者は、40 歳代以下の割合が低く、50 歳代以上の割合が高くなっています。



※10 歳代は本調査、国勢調査のいずれも 18・19 歳のみ
資料：群馬県の年齢別人口・平成 27 年国勢調査結果（群馬県統計課）

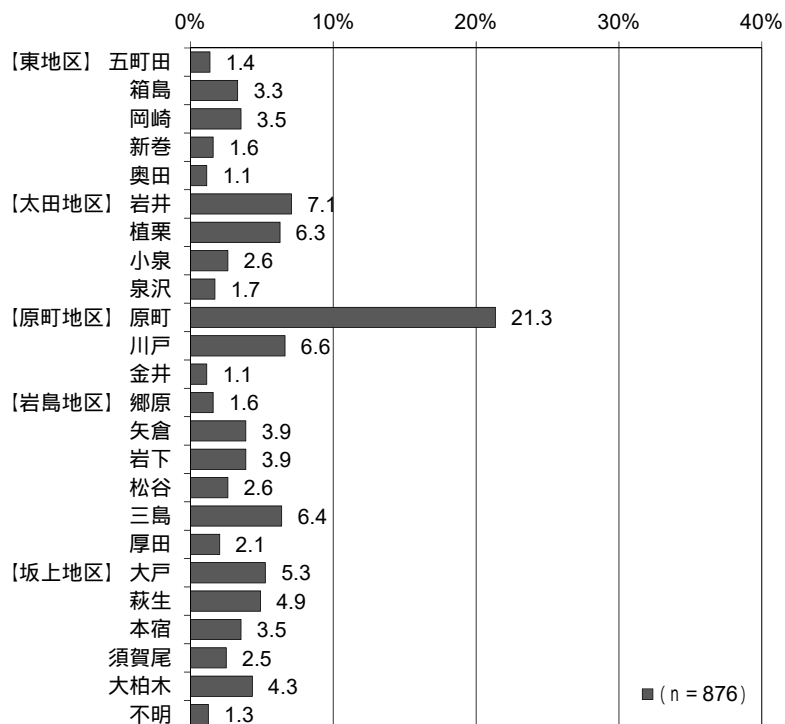
職業

無職（29.0%）が約3割で最も多く、次いで会社員・公務員（23.6%）、パート・アルバイト（14.5%）、専業主婦・主夫（14.4%）となっています。

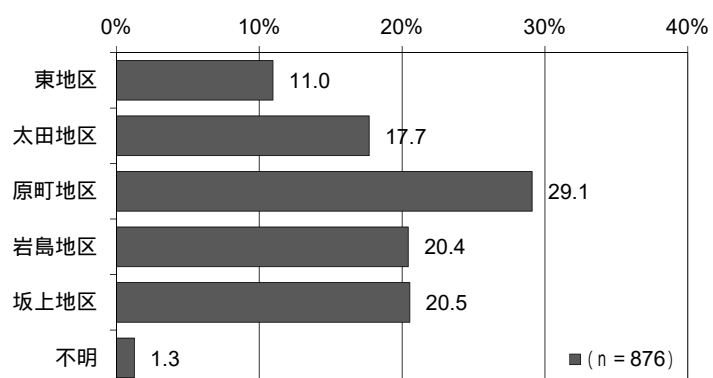


居住地区

原町（21.3%）が2割以上で特に多く、次いで岩井（7.1%）、川戸（6.6%）となっています。

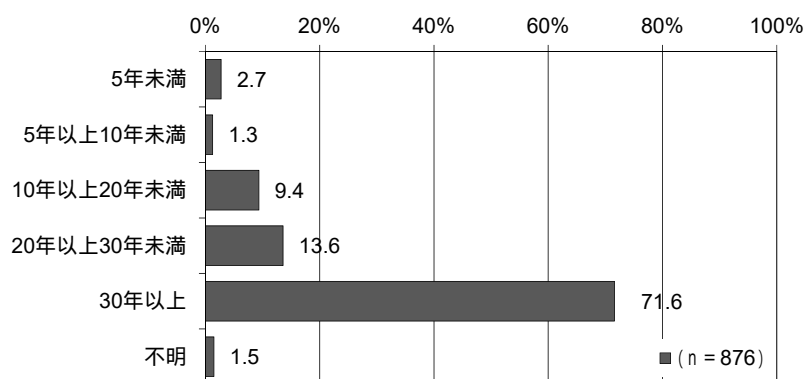


町内 5 地区に大別して見ると、原町地区（29.1%）が約 3 割で最も多く、次いで岩島地区（20.4%）、坂上地区（20.5%）が同程度に多くなっています。



居住年数

「30年以上」（71.6%）が 7 割以上で特に多くなっています。



1 東吾妻町の住みやすさについて

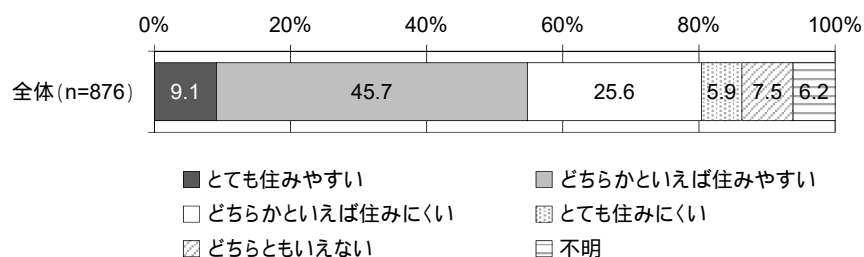
問1 東吾妻町は住みやすいか

あなたにとって、東吾妻町は住みやすいですか。(1つに)

「どちらかといえば住みやすい」が4割以上で最も高い
合計値『住みやすい』が5割以上、『住みにくい』が3割以上

「どちらかといえば住みやすい」(45.7%)が4割以上で最も高く、次いで「どちらかといえば住みにくい」(25.6%)が2割以上となっています。

「とても住みやすい」(9.1%)と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』(54.8%)は5割以上、「どちらかといえば住みにくい」と「とても住みにくい」(5.9%)を合わせた『住みにくい』(31.5%)は3割以上となっています。



【属性別】

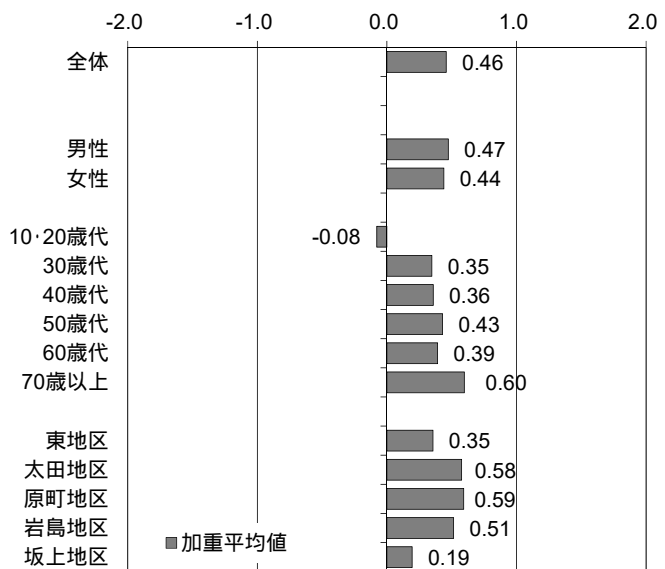
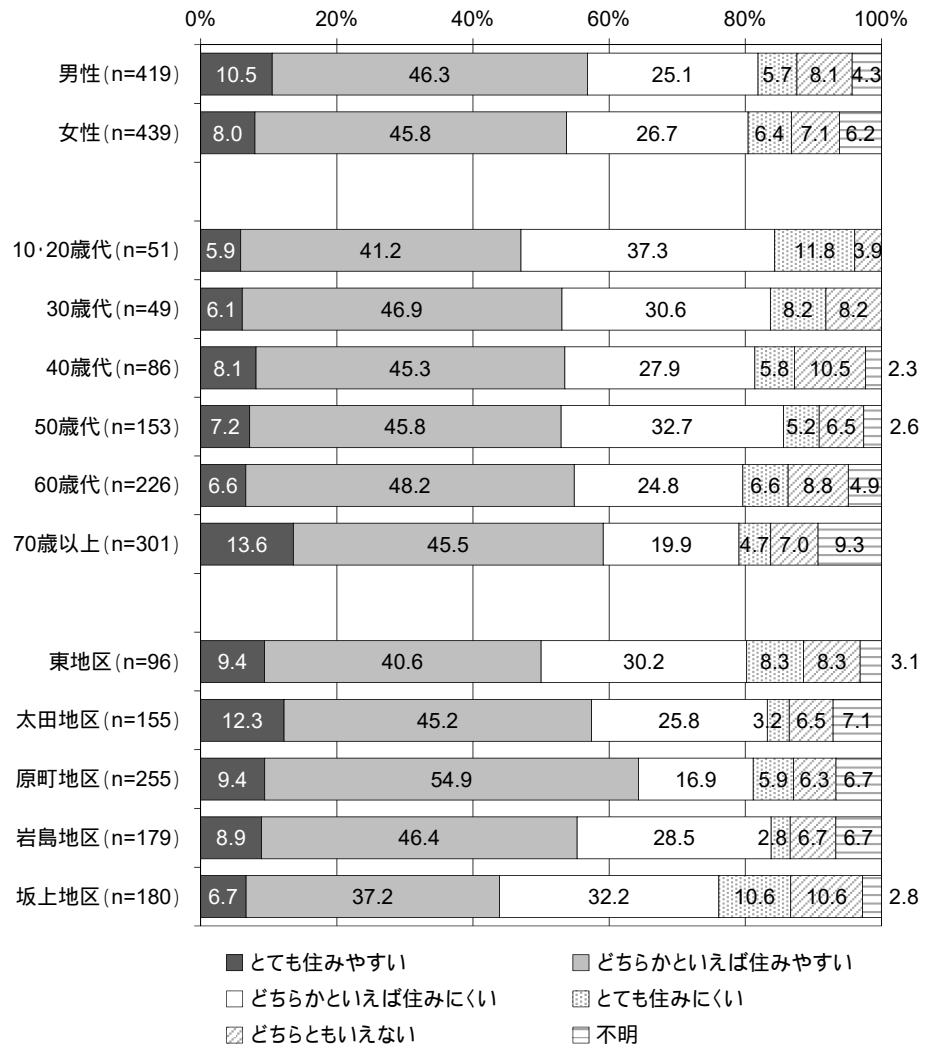
いずれの属性も「どちらかといえば住みやすい」が最も高い

10・20歳代は合計値『住みやすい』が『住みにくい』を下回る

いずれの属性も「どちらかといえば住みやすい」が最も高くなっています。

ほとんどの属性で「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が「どちらかといえば住みにくい」と「とても住みにくい」を合わせた『住みにくい』を上回っていますが、10・20歳代は『住みやすい』(47.1%)が『住みにくい』(49.1%)を若干下回っています。また、坂上地区は『住みやすい』(43.9%)と『住みにくい』(42.8%)が同程度となっています。

加重平均値*を見ると、年代別では70歳以上(0.60ポイント)、地区別では太田地区(0.58ポイント)、原町地区(0.59ポイント)などが高い一方、年代別では10・20歳代(-0.08ポイント)、地区別では坂上地区(0.19ポイント)が低く、特に10・20歳代はマイナス値となっています。



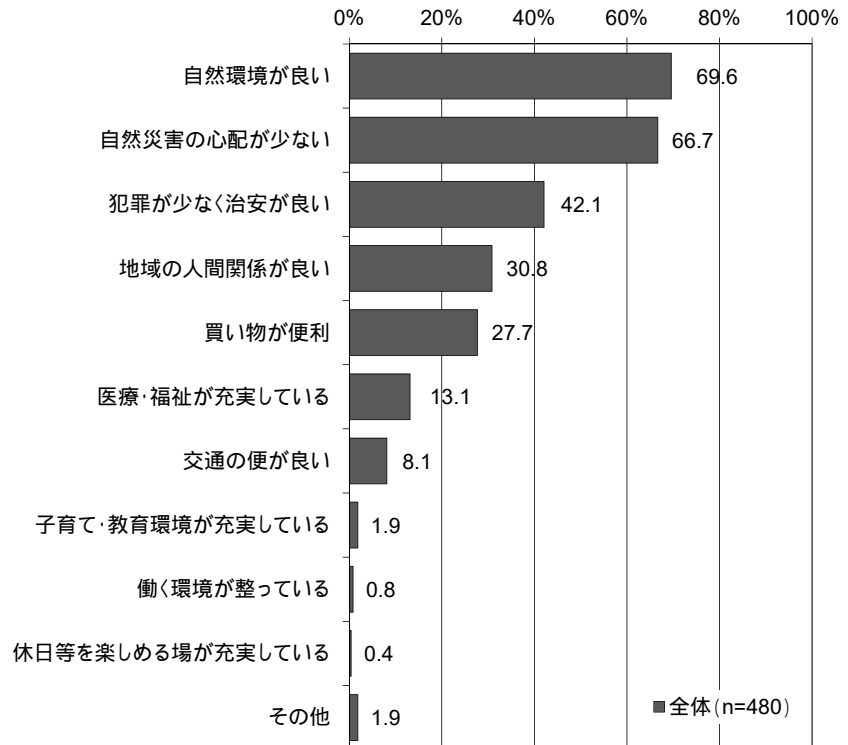
※加重平均値：「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」「どちらかといえば住みにくい」「とても住みにくい」にそれぞれ2点、1点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。プラス値が大きいほど「住みやすい」と認識されていると考えられる

問1 住みやすい理由

住みやすい理由に近いものをおしえてください。(3つまで)(「とても住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」の場合)

「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が約7割で特に高い

「自然環境が良い」(69.6%)、「自然災害の心配が少ない」(66.7%)の2項目が約7割で特に高く、次いで「犯罪が少なく治安が良い」(42.1%)が4割以上となっています。

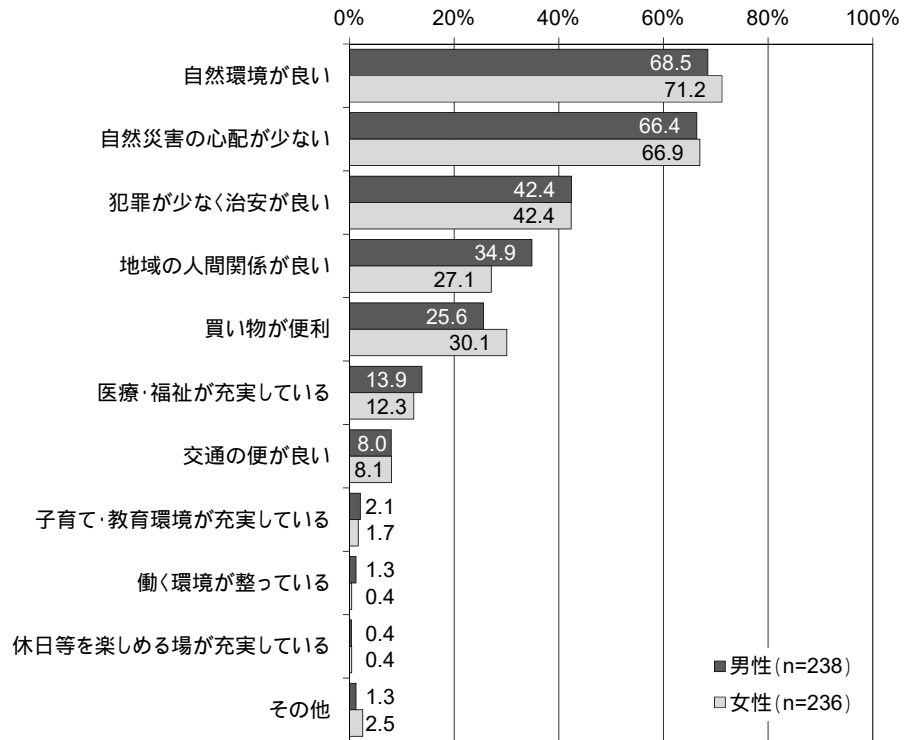


【属性別】

ほとんどの属性で「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が高い

原町地区は「買い物が便利」「自然災害の心配が少ない」の2項目が高い

ほとんどの属性で「自然環境が良い」「自然災害の心配が少ない」の2項目が高くなっています。その中で地区別では原町地区で「買い物が便利」(64.0%)が「自然災害の心配が少ない」と同値で最も高くなっています。



	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	24	26	46	81	124	178
自然環境が良い	91.7	76.9	67.4	76.5	69.4	62.9
自然災害の心配が少ない	25.0	42.3	54.3	75.3	76.6	68.5
犯罪が少なく治安が良い	58.3	42.3	43.5	44.4	42.7	38.2
地域の人間関係が良い	33.3	26.9	19.6	30.9	33.9	31.5
買い物が便利	16.7	26.9	32.6	25.9	30.6	27.0
医療・福祉が充実している	4.2	0.0	4.3	2.5	11.3	24.7
交通の便が良い	8.3	7.7	0.0	2.5	8.9	12.4
子育て・教育環境が充実している	0.0	7.7	2.2	1.2	0.8	2.2
働く環境が整っている	0.0	0.0	2.2	1.2	0.8	0.6
休日等を楽しめる場が充実している	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1
その他	4.2	3.8	4.3	2.5	1.6	0.6

	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
n	48	89	164	99	79
自然環境が良い	81.3	74.2	54.9	73.7	82.3
自然災害の心配が少ない	58.3	73.0	64.0	70.7	64.6
犯罪が少なく治安が良い	45.8	47.2	34.8	44.4	46.8
地域の人間関係が良い	39.6	36.0	16.5	36.4	41.8
買い物が便利	4.2	14.6	64.0	10.1	3.8
医療・福祉が充実している	6.3	10.1	14.6	17.2	12.7
交通の便が良い	0.0	3.4	13.4	13.1	1.3
子育て・教育環境が充実している	2.1	0.0	3.0	2.0	1.3
働く環境が整っている	0.0	1.1	1.8	0.0	0.0
休日等を楽しめる場が充実している	2.1	1.1	0.0	0.0	0.0
その他	8.3	1.1	0.6	2.0	1.3

単位：％
※網掛け数字は各属性で最も高い値を示す

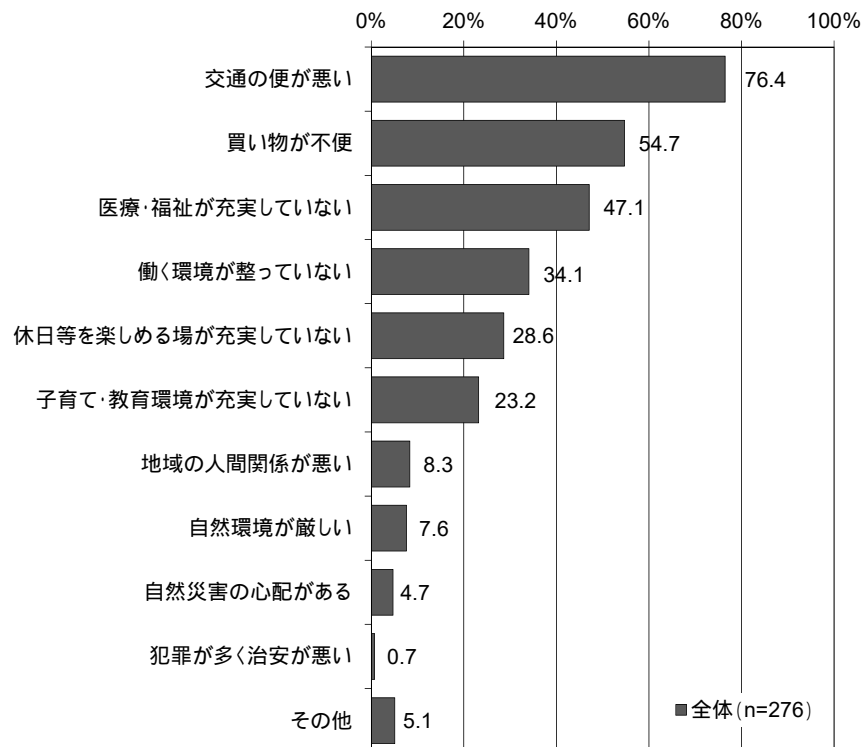
問1 住みにくい理由

住みにくい理由に近いものをおしえてください。(3つまで)(「とても住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」の場合)

「交通の便が悪い」が7割以上で特に高い

次いで「買い物が不便」が5割以上

「交通の便が悪い」(76.4%)が7割以上で特に高く、次いで「買い物が不便」(54.7%)が5割以上、「医療・福祉が充実していない」(47.1%)が約5割となっています。



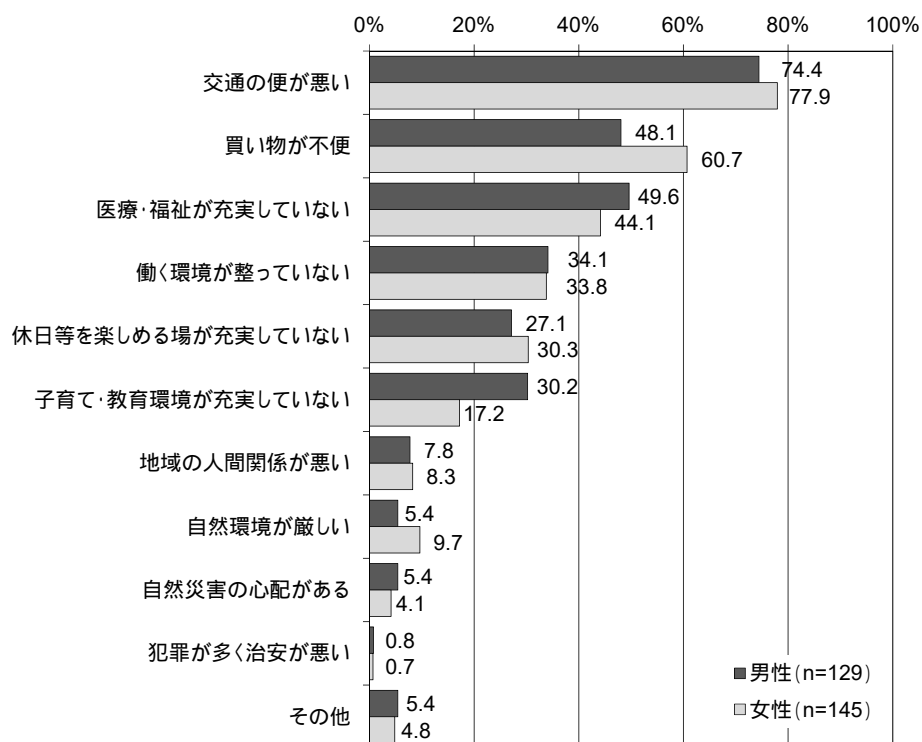
【属性別】

いずれの属性も「交通の便が悪い」が最も高い

次いで高い項目は属性により「買い物が不便」「医療・福祉が充実していない」のいずれか

いずれの属性も「交通の便が悪い」が最も高くなっています(年代別の40歳代は「買い物が不便」と同値で58.6%)。

次いで高い項目は、性別では女性、年代別では10・20・30歳代、70歳以上、地区別では東・岩島・坂上地区は「買い物が不便」、性別では男性、年代別では50・60歳代、地区別では太田・原町地区は「医療・福祉が充実していない」がそれぞれ高くなっています。



	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	25	19	29	58	71	74
交通の便が悪い	80.0	68.4	58.6	79.3	74.6	83.8
買い物が不便	60.0	57.9	58.6	41.4	45.1	70.3
医療・福祉が充実していない	28.0	42.1	41.4	56.9	56.3	40.5
働く環境が整っていない	40.0	15.8	27.6	43.1	31.0	35.1
休日等を楽しめる場が充実していない	52.0	42.1	41.4	39.7	21.1	10.8
子育て・教育環境が充実していない	16.0	47.4	37.9	27.6	16.9	16.2
地域の人間関係が悪い	0.0	10.5	6.9	1.7	12.7	12.2
自然環境が厳しい	4.0	5.3	6.9	5.2	12.7	6.8
自然災害の心配がある	0.0	5.3	3.4	3.4	5.6	6.8
犯罪が多く治安が悪い	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0
その他	0.0	5.3	13.8	1.7	5.6	5.4

	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
n	37	45	58	56	77
交通の便が悪い	81.1	80.0	67.2	66.1	87.0
買い物が不便	73.0	46.7	24.1	53.6	75.3
医療・福祉が充実していない	24.3	51.1	62.1	46.4	42.9
働く環境が整っていない	27.0	26.7	32.8	35.7	41.6
休日等を楽しめる場が充実していない	35.1	13.3	41.4	35.7	19.5
子育て・教育環境が充実していない	40.5	15.6	24.1	21.4	19.5
地域の人間関係が悪い	2.7	6.7	19.0	7.1	5.2
自然環境が厳しい	13.5	11.1	8.6	0.0	7.8
自然災害の心配がある	10.8	6.7	3.4	1.8	3.9
犯罪が多く治安が悪い	0.0	2.2	1.7	0.0	0.0
その他	2.7	4.4	10.3	3.6	3.9

単位：％
 ※網掛け数字は各属性で最も高い値を示す

問2 定住意向

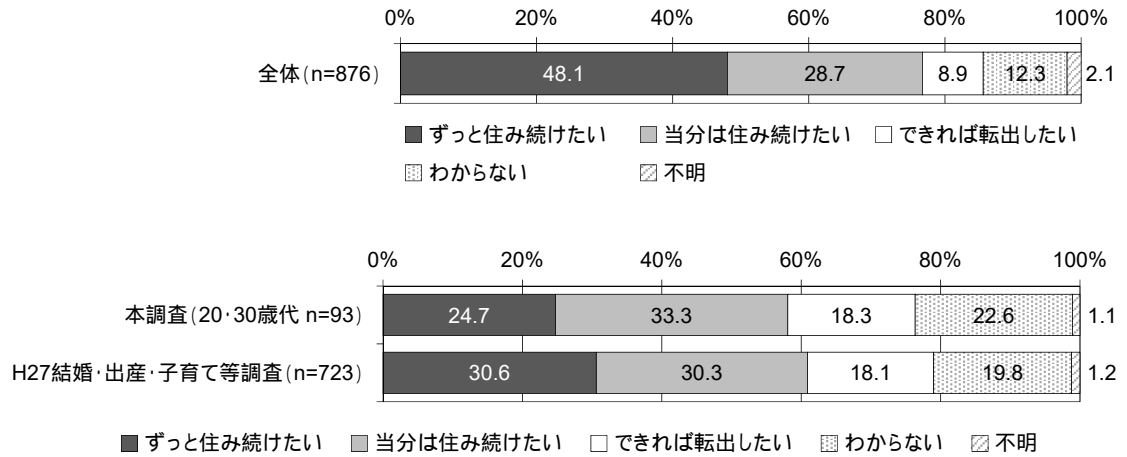
あなたは、これからも東吾妻町に住み続けたいと思いますか。(1つに)

「ずっと住み続けたい」が約5割で特に高く、次いで高い「当分は住み続けたい」との合計値『住み続けたい』は約8割

H27年度調査との大きな差は見られない

「ずっと住み続けたい」(48.1%)が約5割で特に高く、次いで高い「当分は住み続けたい」(28.7%)を合わせた『住み続けたい』(76.8%)は約8割となっています。

平成27年に実施した「結婚・出産・子育て等に関する調査※」と対象年齢である20～39歳について比較すると、「ずっと住み続けたい」(本調査24.7%、H27調査30.6%)が若干低いものの、大きな差は見られません。



※調査対象：無作為抽出した20～39歳までの町民1,800人。回収率40.2%

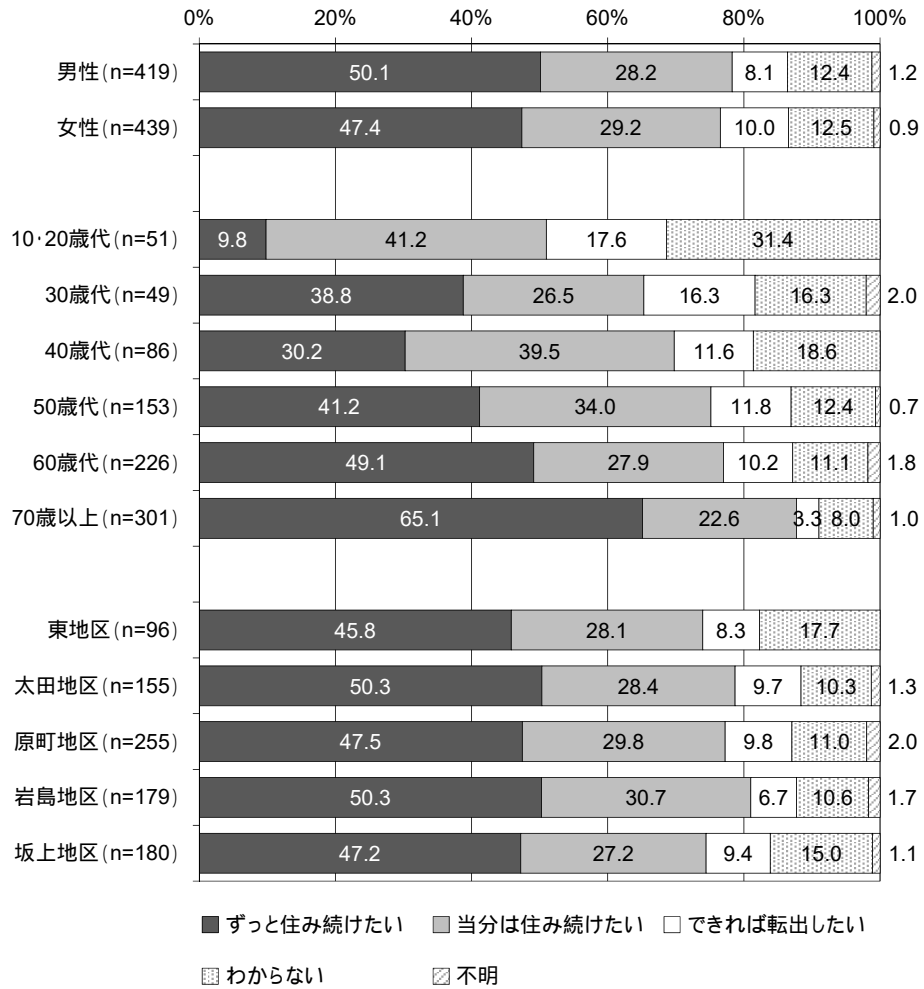
【属性別】

ほとんどの属性で「ずっと住み続けたい」が最も高く、高い年代ほど値が高い

10・20歳代、40歳代は「当分は住み続けたい」が最も高い

ほとんどの属性で「ずっと住み続けたい」が最も高く、特に年代別では70歳以上(65.1%)が6割以上となっており、おおむね高い年代ほど値が高い傾向が見られます。

年代別における10・20歳代、40歳代は「当分は住み続けたい」(それぞれ41.2%、39.5%)が約4割で最も高くなっています。



2 まちづくり施策の評価について

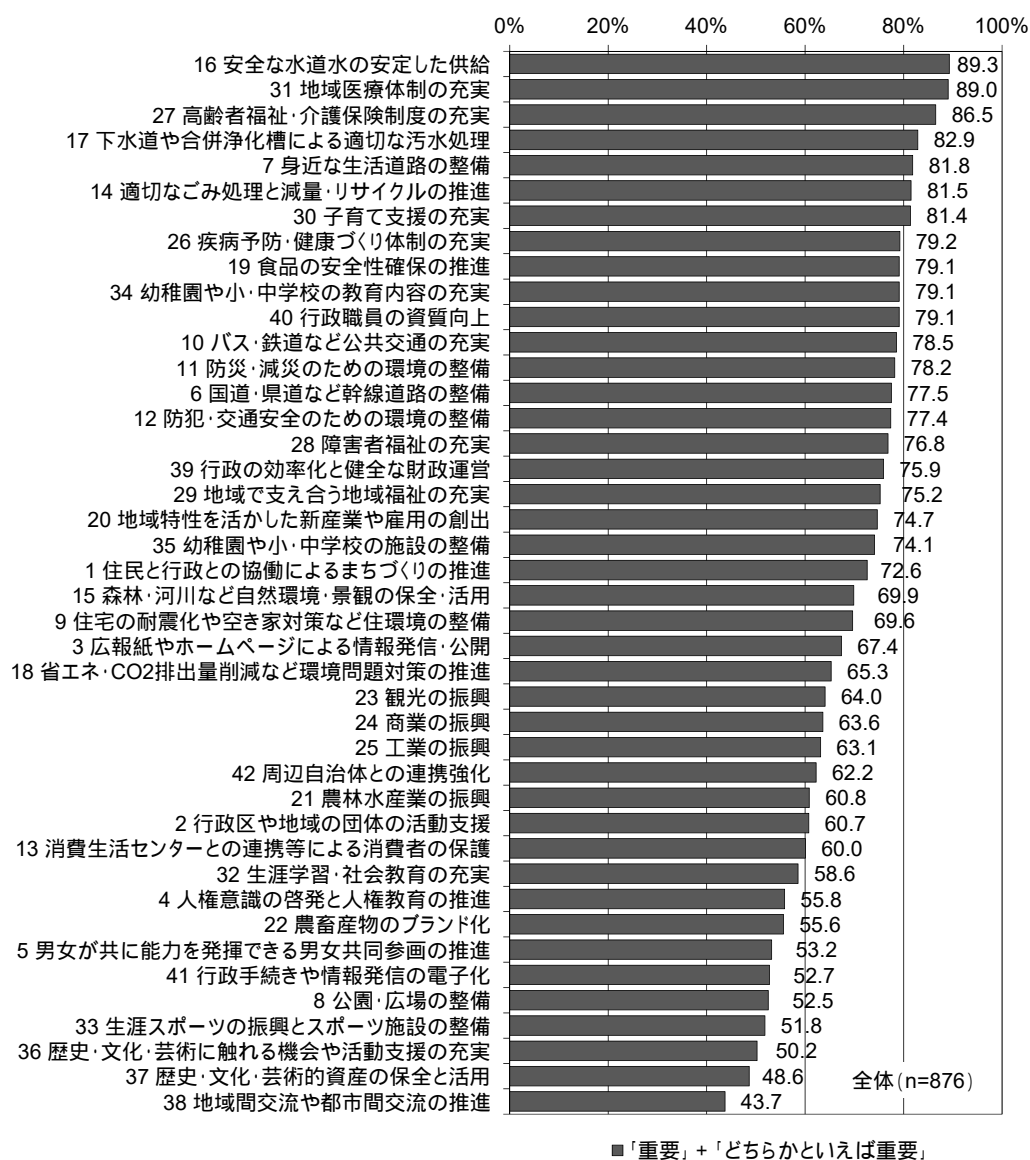
問3 町が現在取り組んでいるまちづくりの施策の重要度・満足度

施策項目ごとに「(1)重要度」「(2)満足度」について5段階でお答えください。(42項目それぞれ1つに)

(1) 重要度

「安全な水道水の安定供給」「地域医療体制の充実」「高齢者福祉・介護保険制度の充実」の3項目が約9割で高い

「重要」と「どちらかといえば重要」の合計値を見ると、「16 安全な水道水の安定した供給」(89.3%)、「31 地域医療体制の充実」(89.0%)、「27 高齢者福祉・介護保険制度の充実」(86.5%)の3項目が約9割で同程度に高く、次いで「17 下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理」(82.9%)など4項目が8割以上となっています。

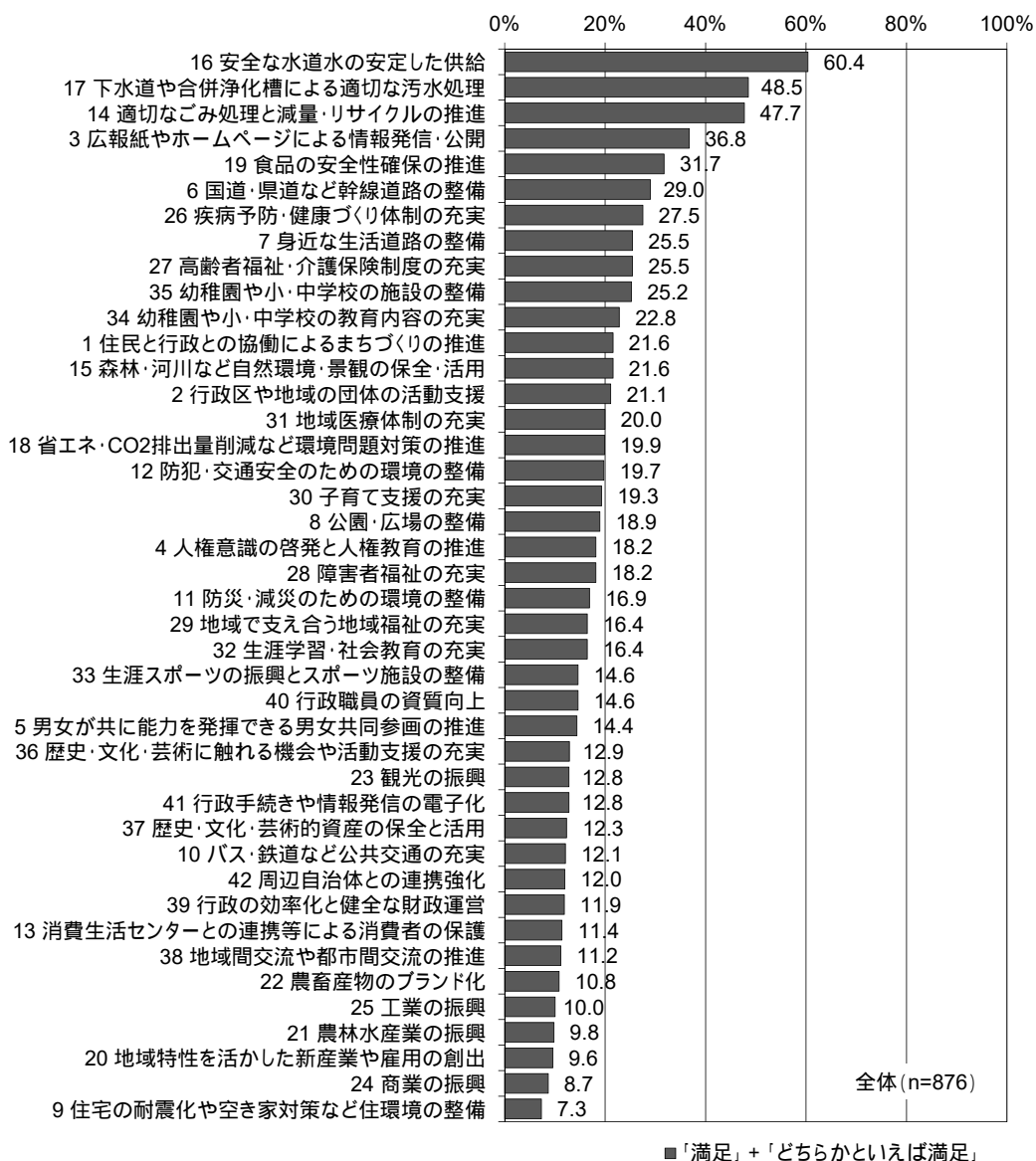


(2) 満足度

「安全な水道水の安定供給」が6割以上で最も高い

次いで「下水道・合併浄化槽による適切な汚水処理」「適切なおみ処理と減量・リサイクルの推進」の2項目が約5割

「満足」と「どちらかといえば満足」の合計値を見ると、「安全な水道水の安定した供給」(60.4%)が6割以上で最も高く、次いで「下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理」(48.5%)、「適切なおみ処理と減量・リサイクルの推進」(47.7%)の2項目が約5割で同程度となっています。



(3) 施策分野別 重要度・満足度

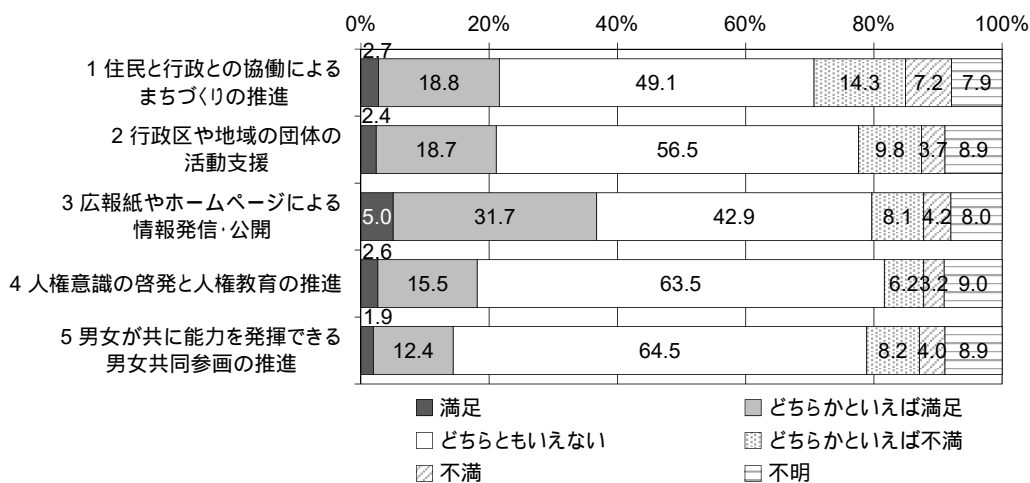
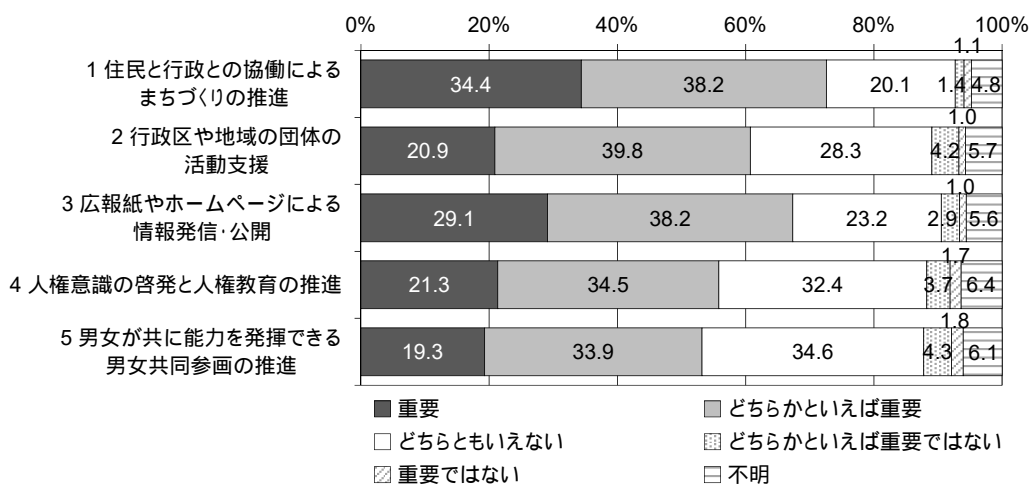
住民と行政の協働

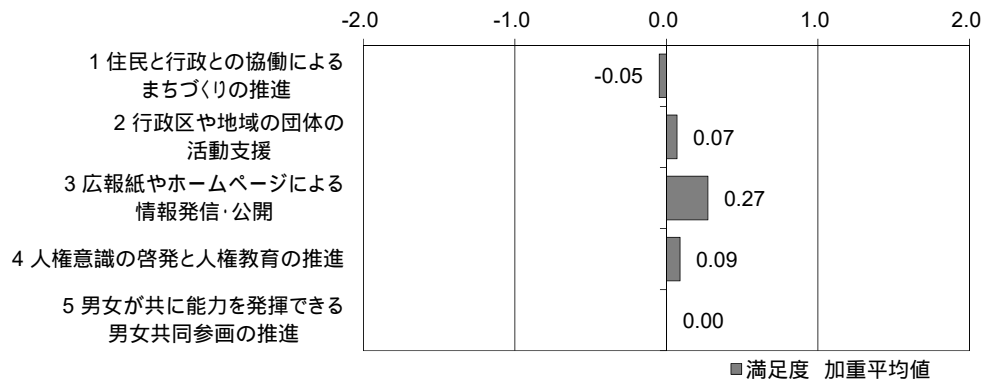
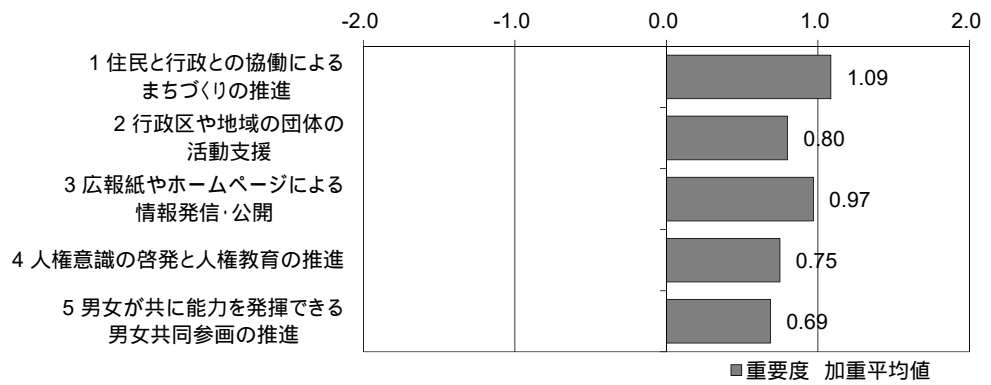
重要度は「住民と行政との協働」「情報発信・公開」が高い

満足度は「住民と行政との協働」が低い

重要度について、「重要」は「1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進」(34.4%)が最も高くなっています。加重平均値*を見ると、「1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進」(1.09ポイント)、「3 広報紙やホームページによる情報発信・公開」(0.97ポイント)が高くなっています。

満足度について、「満足」は「3 広報紙やホームページによる情報発信・公開」(5.0%)が最も高くなっています。加重平均値を見ると、「3 広報紙やホームページによる情報発信・公開」(0.27ポイント)が最も高い一方、「1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進」(-0.05ポイント)はマイナス値となっています。





※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいかほど重要度・満足度が高いと考えられる

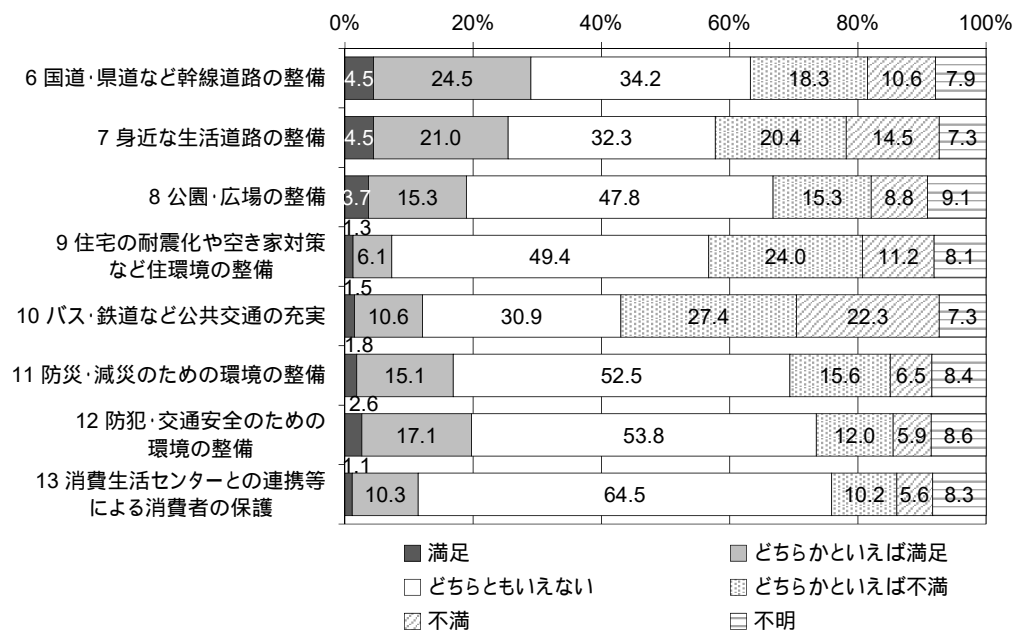
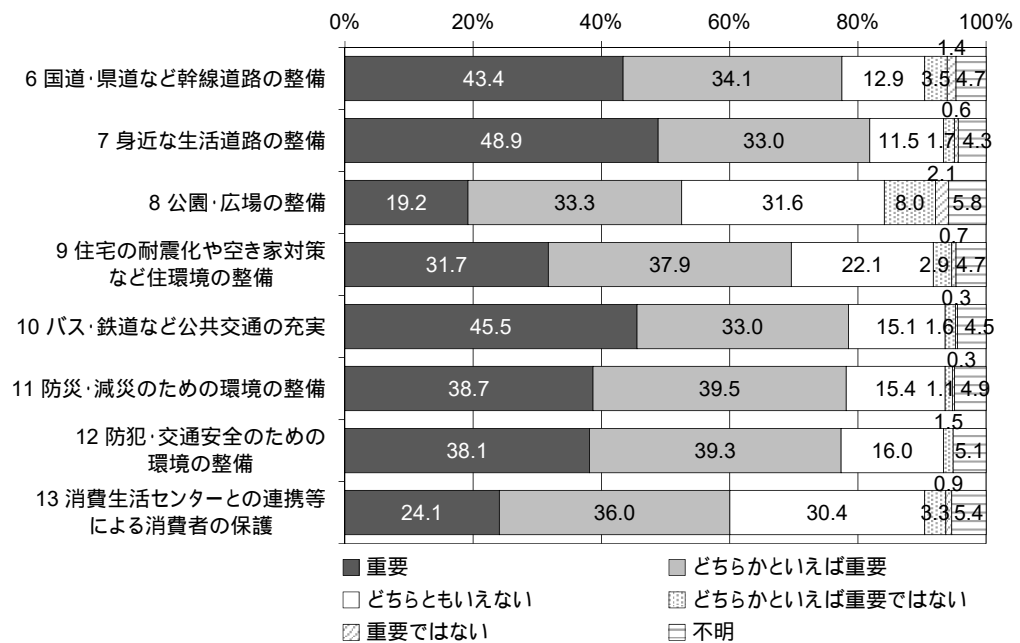
社会基盤の整備

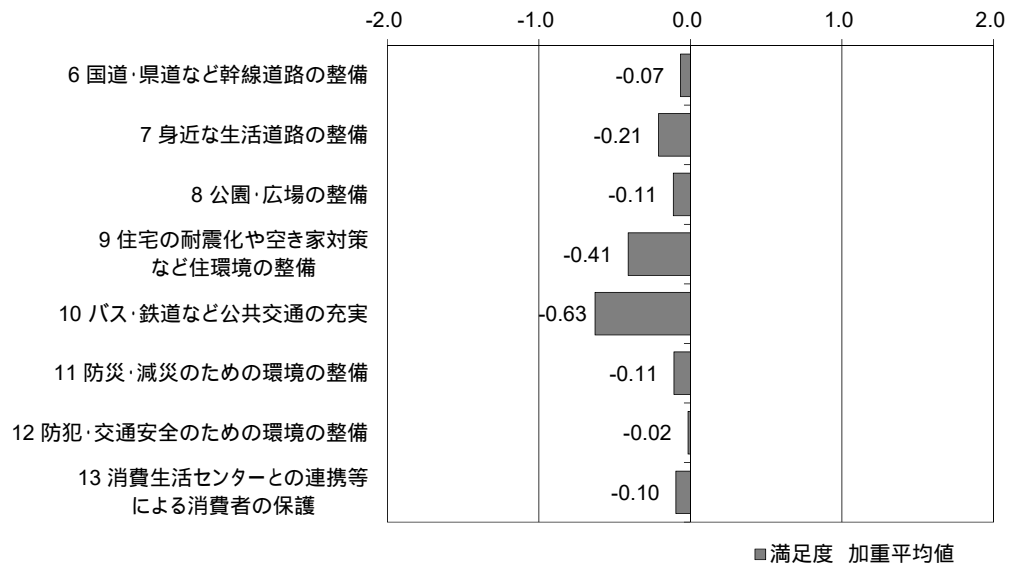
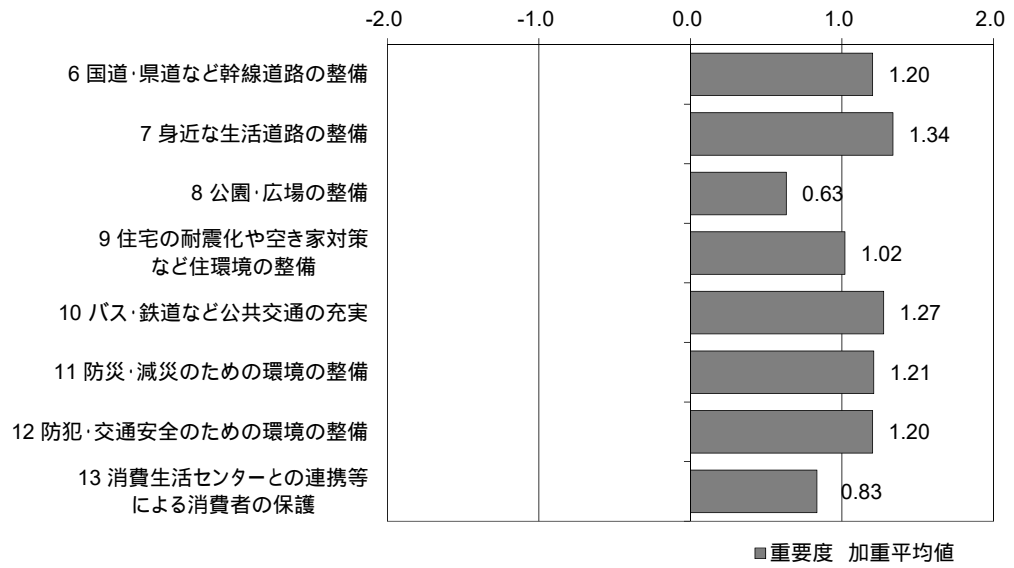
重要度は「公園・広場の整備」が低い

満足度は「公共交通の充実」が特に低い

重要度について、「重要」は「7 身近な生活道路の整備」(48.9%)が最も高くなっています。加重平均値※を見ると、ほとんどの項目が1.0ポイント以上となっている中、「8 公園・広場の整備」(0.63ポイント)が低くなっています。

満足度について、「満足」は「6 国道・県道など幹線道路の整備」「7 身近な生活道路の整備」(4.5%で同値)が最も高くなっています。加重平均値を見ると、いずれの項目もマイナス値となっており、その中で「10 バス・鉄道など公共交通の充実」(-0.63ポイント)が最も低くなっています。





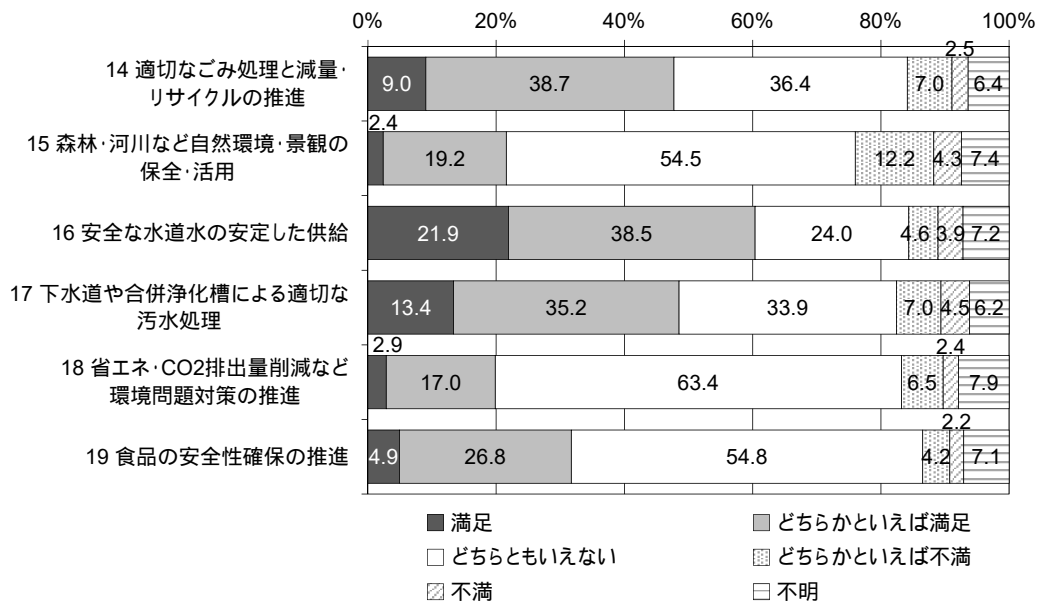
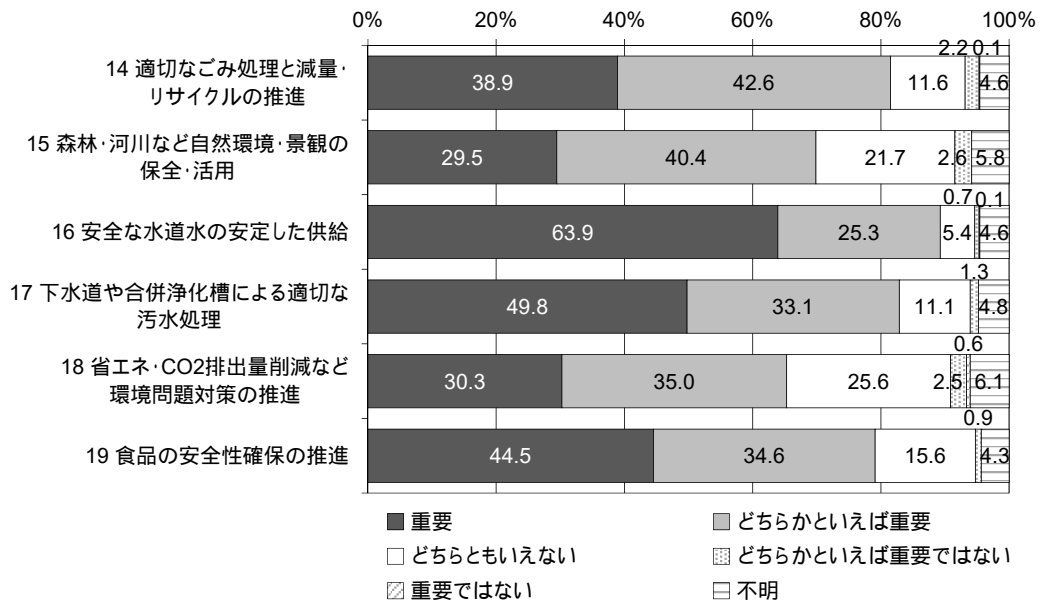
※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

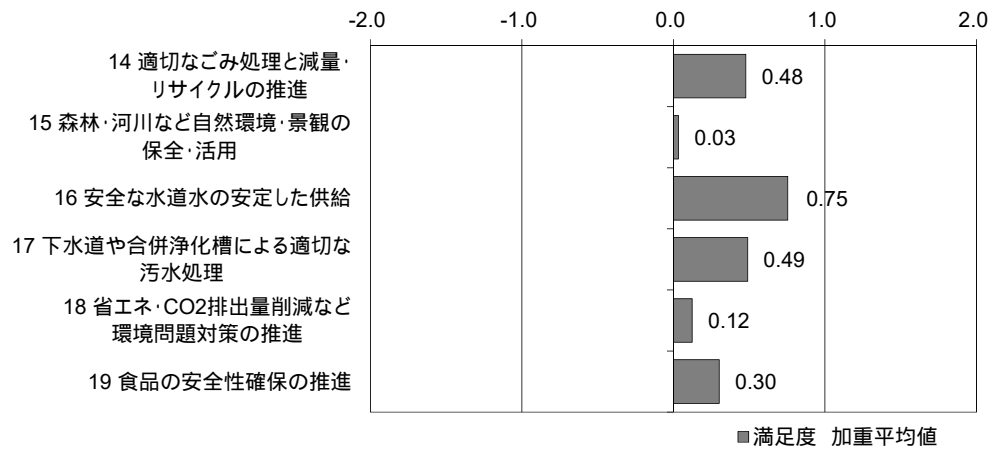
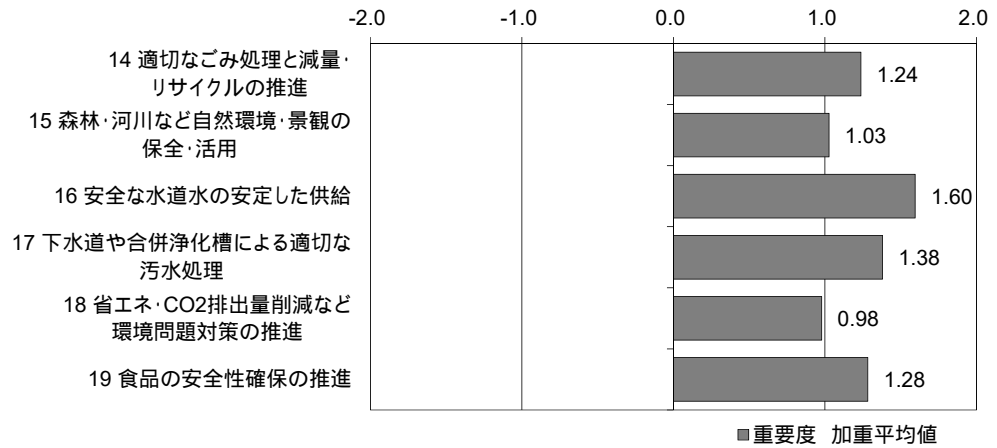
生活環境の向上

重要度・満足度ともに「安全な水道水の安定供給」が高い

重要度について、「重要」は「16 安全な水道水の安定した供給」(63.9%)が最も高くなっています。加重平均値*を見ると、ほとんどの項目が1.0ポイント以上となっている中、「16 安全な水道水の安定した供給」(1.60ポイント)が特に高くなっています。

満足度について、「満足」は「16 安全な水道水の安定した供給」(21.9%)が最も高く、加重平均値でも「16 安全な水道水の安定した供給」(0.75ポイント)が最も高くなっています。





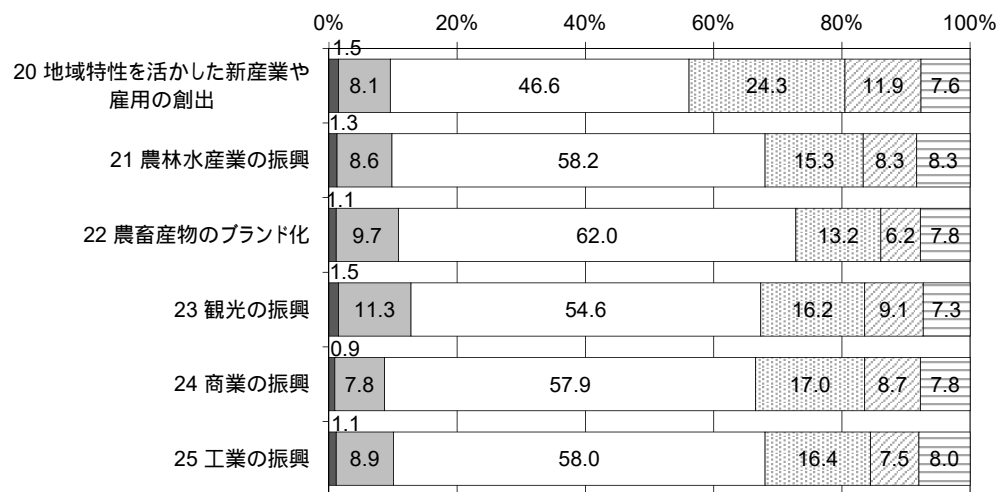
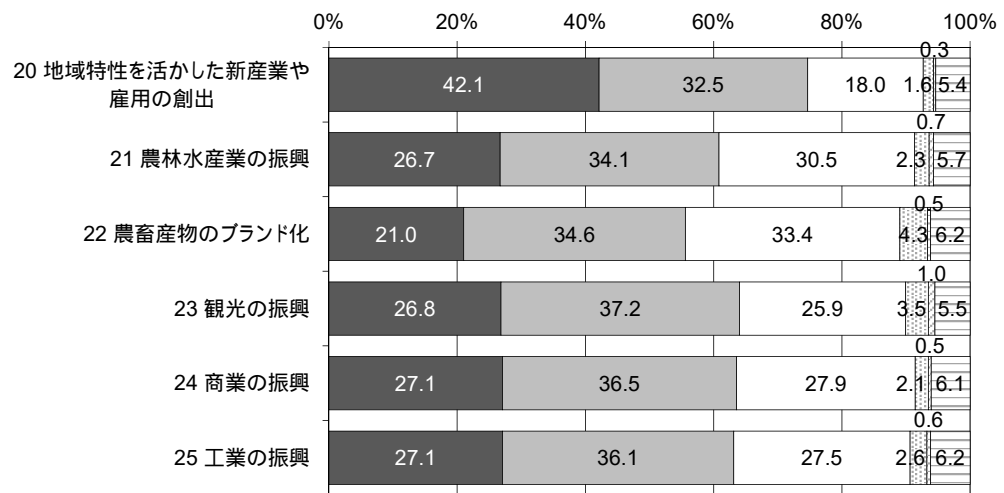
※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいかほど重要度・満足度が高いと考えられる

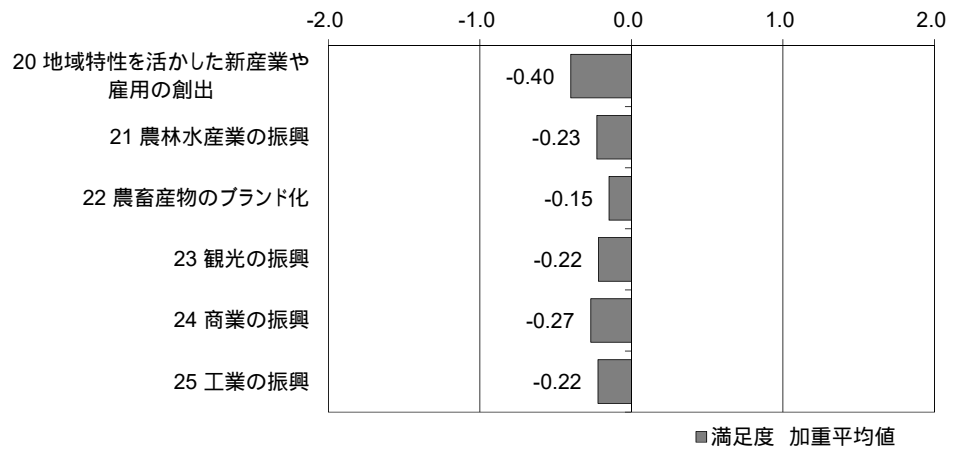
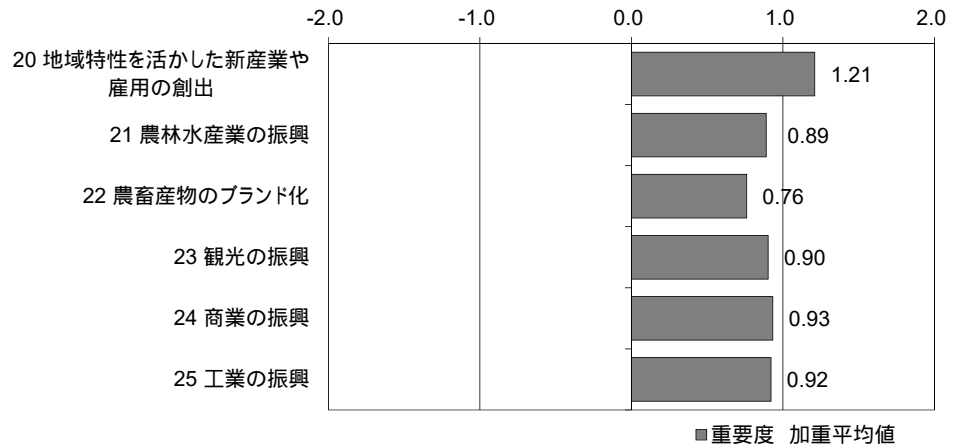
産業の振興

「地域特性を活かした新産業・雇用創出」は重要度が最も高く、満足度が最も低い

重要度について、「重要」は「20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出」（42.1％）が最も高く、加重平均値※でも「20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出」（1.21 ポイント）が最も高くなっています。

満足度について、「満足」はいずれの項目もほとんど見られません。加重平均値を見ると、いずれの項目もマイナス値となっており、その中で「20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出」（-0.40 ポイント）が最も低くなっています。





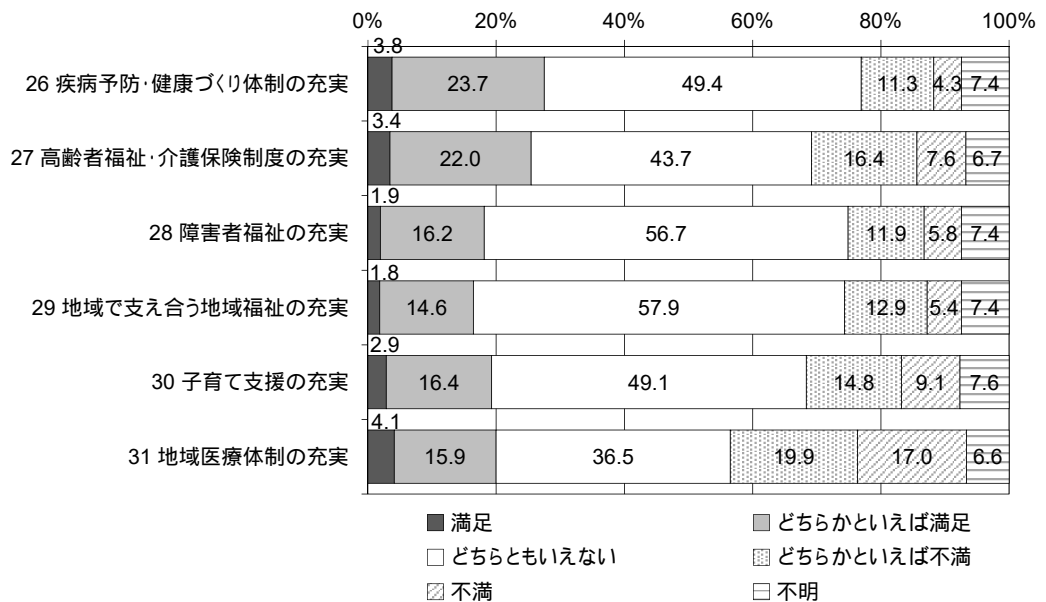
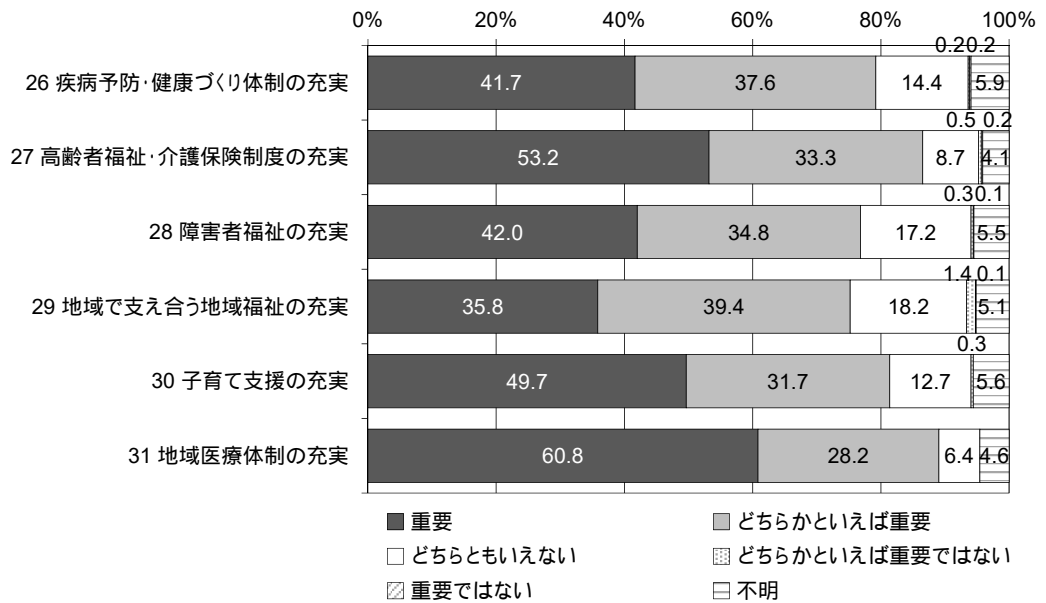
※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいかほど重要度・満足度が高いと考えられる

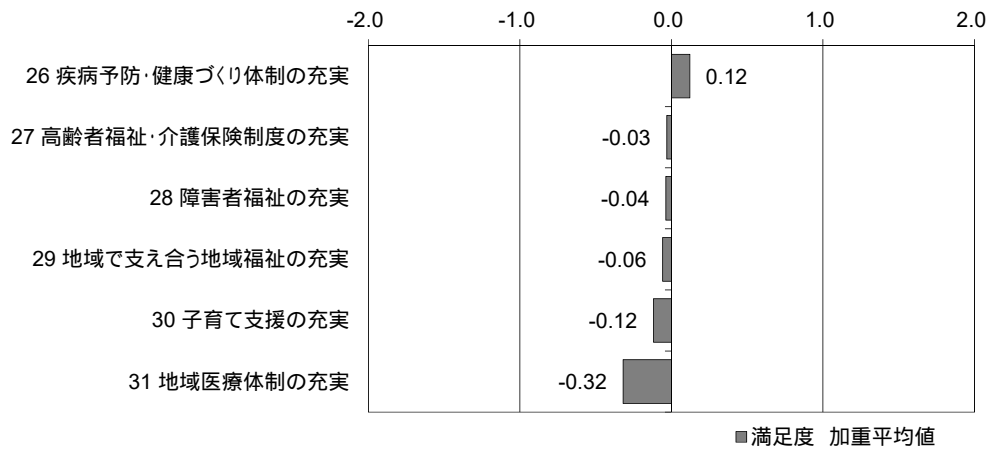
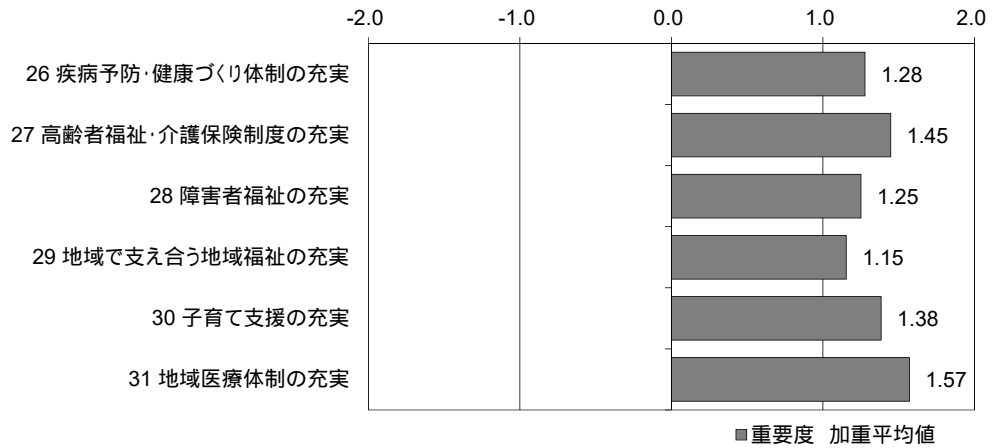
保健・医療・福祉の充実

「地域医療体制の充実」は重要度が最も高く、満足度が最も低い

重要度について、「重要」は「31 地域医療体制の充実」(60.8%)が最も高くなっています。加重平均値*を見ると、いずれの項目も1.0ポイント以上となっている中、「31 地域医療体制の充実」(1.57ポイント)が最も高くなっています。

満足度について、「満足」はいずれの項目もほとんど見られません。加重平均値を見ると、「26 疾病予防・健康づくり体制の充実」(0.12ポイント)を除きマイナス値となっており、その中で「31 地域医療体制の充実」(-0.32ポイント)が最も低くなっています。





※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいかほど重要度・満足度が高いと考えられる

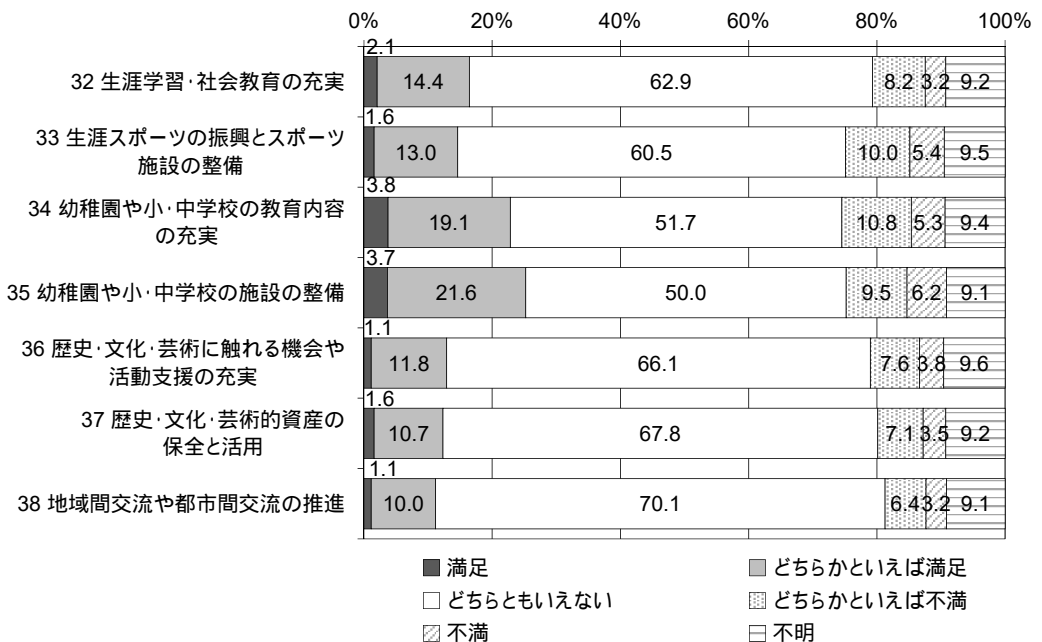
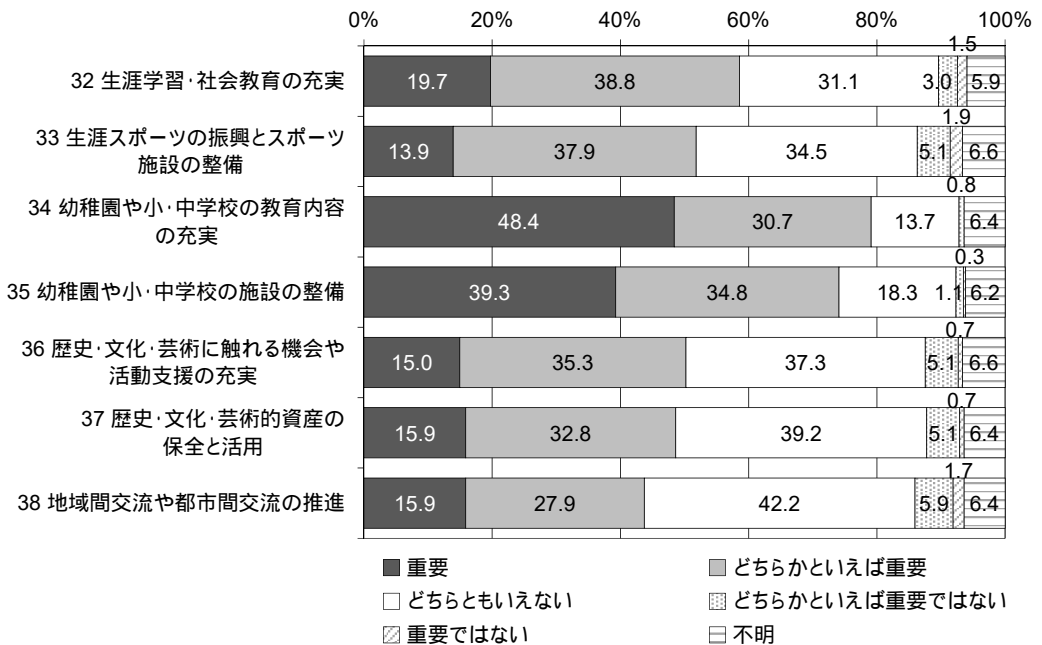
教育・文化の充実

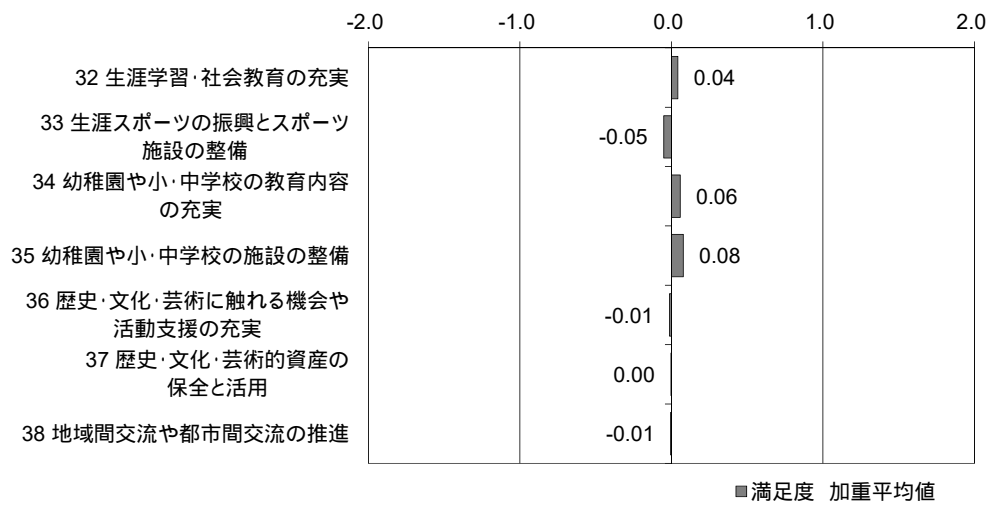
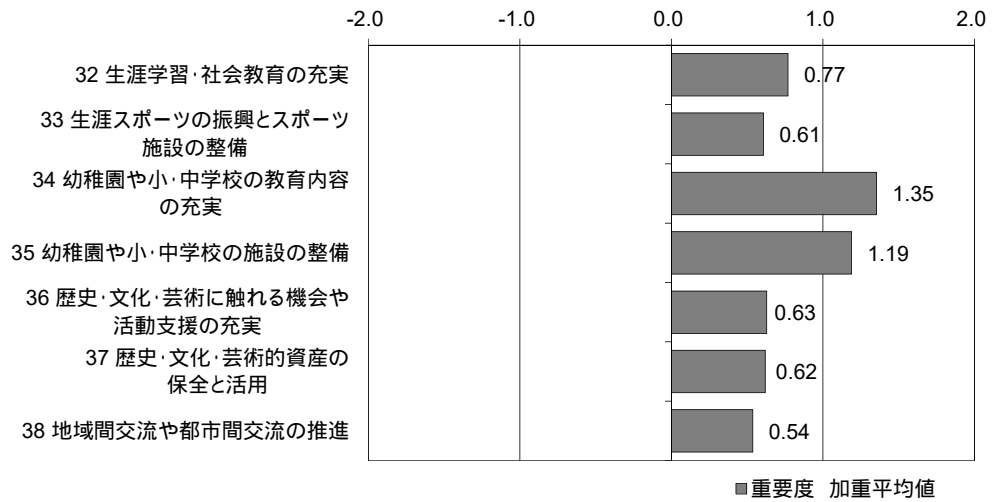
重要度は幼稚園、小・中学校の「教育内容の充実」「施設の整備」が高い

満足度はいずれの項目も「どちらともいえない」が特に高く、大きな差は見られない

重要度について、「重要」は「34 幼稚園や小・中学校の教育内容の充実」(48.4%)が最も高くなっています。加重平均値*でも「34 幼稚園や小・中学校の教育内容の充実」(1.35ポイント)が最も高く、次いで「35 幼稚園や小・中学校の施設の整備」(1.19ポイント)も高くなっています。

満足度について、いずれの項目も「どちらともいえない」が特に高く、「満足」はほとんど見られません。加重平均値を見ると、いずれの項目も0に近い値となっており、大きな差は見られません。





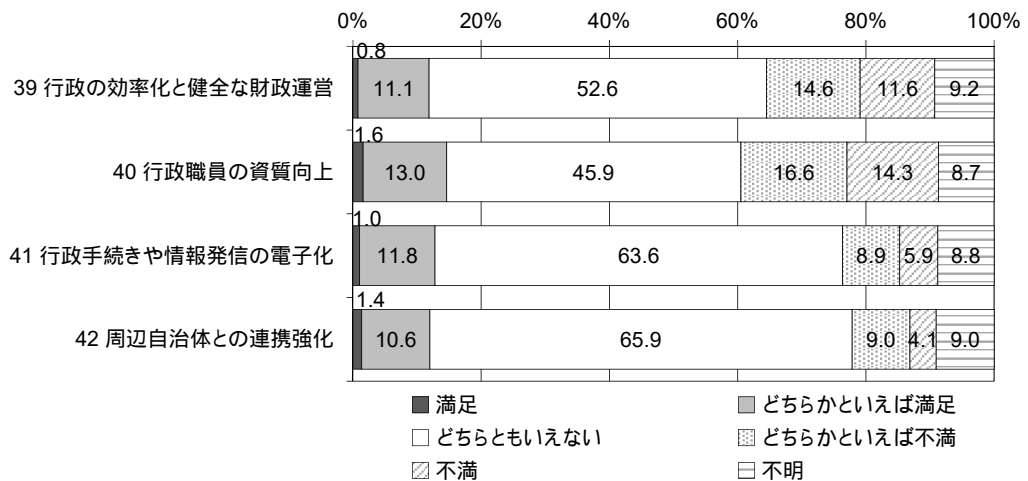
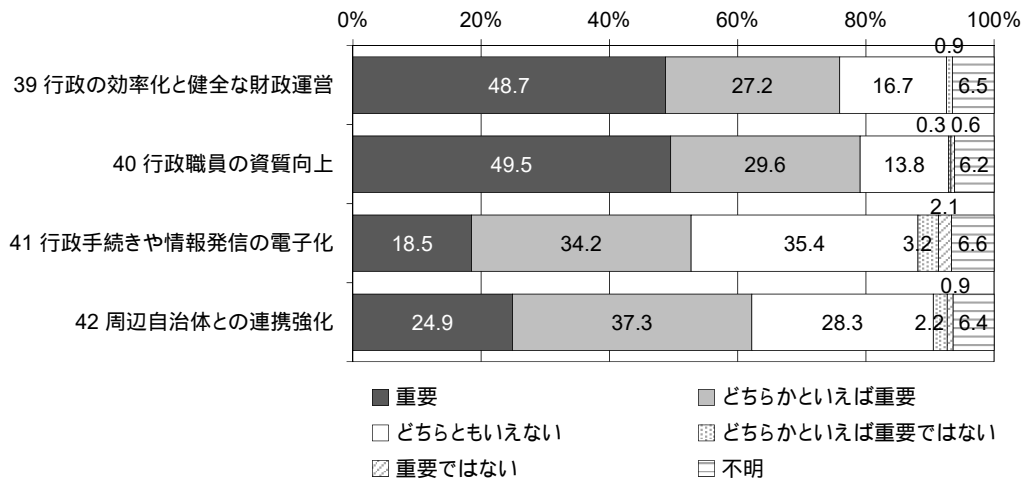
※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいほど重要度・満足度が高いと考えられる

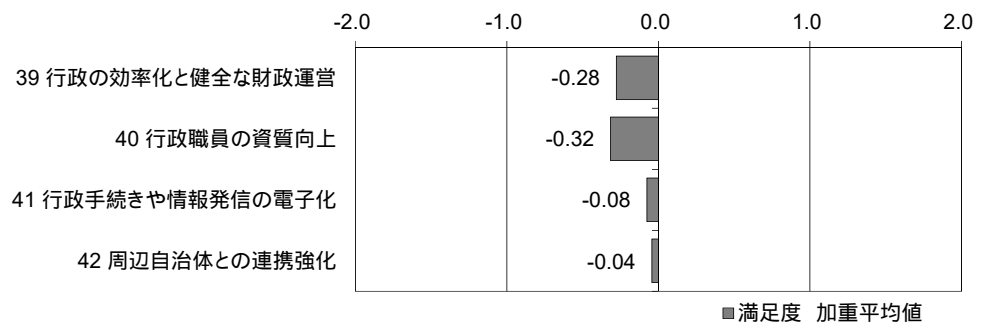
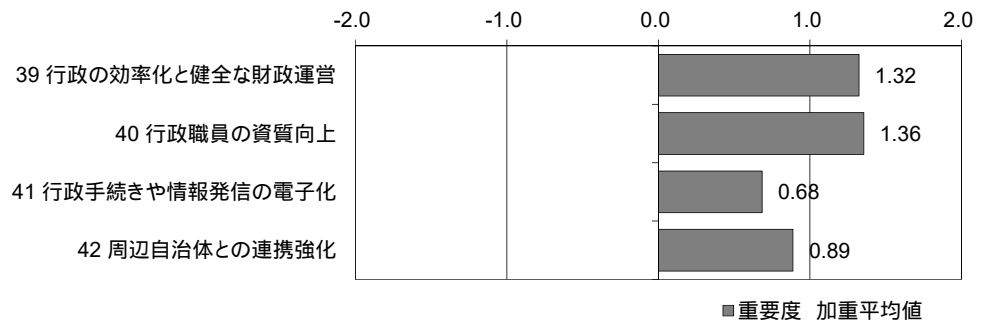
行財政改革の推進

「行政の効率化と健全な財政運営」「行政職員の資質向上」は重要度が高く、満足度が低い

重要度について、「重要」は「39 行政の効率化と健全な財政運営」(48.7%)、「40 行政職員の資質向上」(49.5%)が同程度で高くなっています。加重平均値*でも「39 行政の効率化と健全な財政運営」(1.32 ポイント)、「40 行政職員の資質向上」(1.36 ポイント)が同程度で高くなっています。

満足度について、「満足」はいずれの項目もほとんど見られません。加重平均値を見ると、いずれの項目もマイナス値となっており、その中で「39 行政の効率化と健全な財政運営」(-0.28 ポイント)、「40 行政職員の資質向上」(-0.32 ポイント)が同程度で低くなっています。





※加重平均値：「重要」・「満足」、「どちらかといえば重要」・「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要ではない」・「どちらかといえば不満」、「重要ではない」・「不満」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいかほど重要度・満足度が高いと考えられる

(4) 重要度・満足度の関係

「地域医療体制の充実」「公共交通の充実」は早急な見直しが求められている

各項目の重要度と満足度の加重平均値をプロット図で示し、重要度及び満足度の全項目平均値を基準として、全項目の中での相対的な位置について4つの象限で見ると、概ね以下のブロックに分類できます。

安定・拡充ブロック

重要度・満足度ともに高く、施策の方向性と成果が住民の需要と合致していると考えられる分野です。現状の安定的な維持とともに、さらなる拡充が求められています。

この分野の特徴的な項目として「16 安全な水道水の安定した供給」があげられます。この施策は、重要度・満足度がともに突出して高くなっています。また、「14 適切なおみ処理と減量・リサイクルの推進」「17 下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理」「19 食品の安全性確保の推進」の3項目も重要度・満足度がともに高くなっており、これらはいずれも施策分野「生活環境の向上」に該当しています。

早期見直しブロック

重要度が高い一方、満足度が低く、施策対応の緊急性が最も高いと考えられる分野です。低い満足度の要因の分析とそれに基づく早急な施策の見直しが求められています。

この分野の特徴的な項目として「31 地域医療体制の充実」があげられます。また、「10 バス・鉄道など公共交通の充実」は、重要度が比較的高く、満足度は最も低くなっており、施策の必要性や町としての方向性の周知と、事業展開の見直しが必要であることがうかがえます。

現状維持ブロック

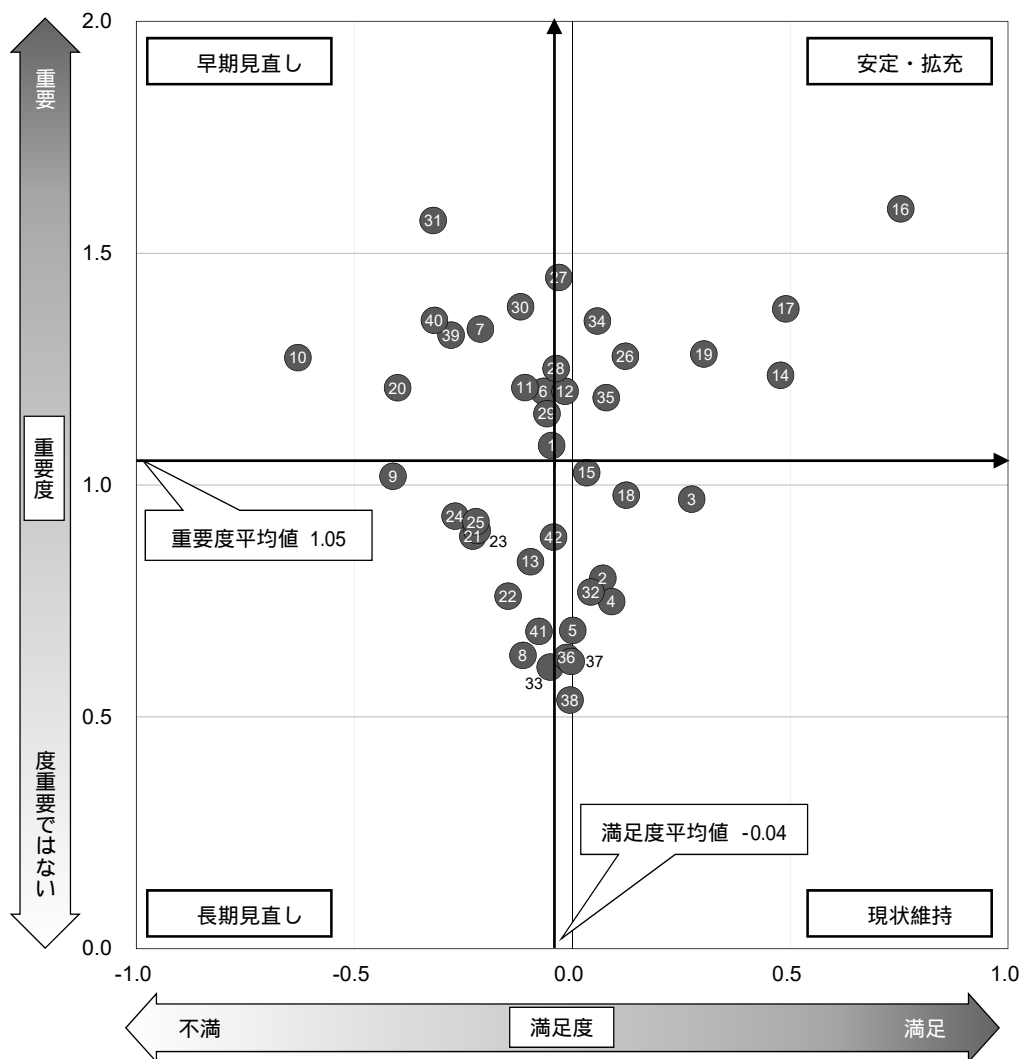
重要度が低い一方、満足度が高く、施策の成果が浸透してきており、現状の水準の維持が求められていると考えられる分野です。一方、新たな視点での施策推進や拡充を進める必要がある場合には、その必要性が認識されにくい分野であると考えられ、その必要性の周知や、認識の共有を図ることが必要と考えられます。

この分野では特徴的な項目は見られませんが、その中で「38 地域間交流や都市間交流の推進」は、重要度が最も低くなっています。また、「36 歴史・文化・芸術に触れる機会や活動支援の充実」「37 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用」「4 人権意識の啓発と人権教育の推進」「5 男女が共に能力を発揮できる男女共同参画の推進」など、生活の必需項目とは別の視点でとらえられることが多い施策が見られます。

長期見直しブロック

重要度・満足度ともに低く、住民に施策の必要性や、町としての具体的な方向性があまり認識されていないと考えられる分野です。施策の必要性と町としての方向性、位置づけについて、住民への説明や情報提供に努めることが必要と考えられます。

この分野では特徴的な項目は見られませんが、施策分野「産業の振興」のうち「20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出」を除くすべての施策が該当します。



- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進 | 22 農畜産物のブランド化 |
| 2 行政区や地域の団体の活動支援 | 23 観光の振興 |
| 3 広報紙やホームページによる情報発信・公開 | 24 商業の振興 |
| 4 人権意識の啓発と人権教育の推進 | 25 工業の振興 |
| 5 男女が共に能力を發揮できる男女共同参画の推進 | 26 疾病予防・健康づくり体制の充実 |
| 6 国道・県道など幹線道路の整備 | 27 高齢者福祉・介護保険制度の充実 |
| 7 身近な生活道路の整備 | 28 障害者福祉の充実 |
| 8 公園・広場の整備 | 29 地域で支え合う地域福祉の充実 |
| 9 住宅の耐震化や空き家対策など住環境の整備 | 30 子育て支援の充実 |
| 10 バス・鉄道など公共交通の充実 | 31 地域医療体制の充実 |
| 11 防災・減災のための環境の整備 | 32 生涯学習・社会教育の充実 |
| 12 防犯・交通安全のための環境の整備 | 33 生涯スポーツの振興とスポーツ施設の整備 |
| 13 消費生活センターとの連携等による消費者の保護 | 34 幼稚園や小・中学校の教育内容の充実 |
| 14 適切なごみ処理と減量・リサイクルの推進 | 35 幼稚園や小・中学校の施設の整備 |
| 15 森林・河川など自然環境・景観の保全・活用 | 36 歴史・文化・芸術に触れる機会や活動支援の充実 |
| 16 安全な水道水の安定した供給 | 37 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用 |
| 17 下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理 | 38 地域間交流や都市間交流の推進 |
| 18 省エネ・CO2 排出量削減など環境問題対策の推進 | 39 行政の効率化と健全な財政運営 |
| 19 食品の安全性確保の推進 | 40 行政職員の資質向上 |
| 20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出 | 41 行政手続きや情報発信の電子化 |
| 21 農林水産業の振興 | 42 周辺自治体との連携強化 |

【属性別】(加重平均値)

重要度は、ほとんどの属性で「安全な水道水の安定供給」が最も高い

30歳代は「子育て支援」、30・40・50歳代、原町・坂上地区は「地域医療体制の充実」の重要度が最も高い(同値を含む)

満足度は、いずれの属性も「安全な水道水の安定供給」が最も高い

70歳以上を除き「公共交通の充実」の満足度が最も低く、70歳以上は「住環境の整備」の満足度が最も低い

重要度について加重平均値を見ると、ほとんどの属性で「16 安全な水道水の安定した供給」が最も高くなっています。

その中で年代別では、30歳代は「30 子育て支援の充実」「31 地域医療体制の充実」(1.55ポイントで同値)が最も高くなっています。「31 地域医療体制の充実」は、年代別では40歳代(1.60ポイント)、50歳代(「16 安全な水道水の安定した供給」と同値で1.57ポイント)、地区別では原町地区(「16 安全な水道水の安定した供給」と同値で1.58ポイント)、坂上地区(1.60ポイント)でも最も高くなっています。

また、ほとんどの属性で「38 地域間交流や都市間交流の推進」が最も低くなっています。

その中で年代別では10・20歳代、70歳以上は「8 公園・広場の整備」(それぞれ0.64ポイント、0.61ポイント)、30歳代は「37 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用」(0.53ポイント)、地区別では坂上地区は「33 生涯スポーツの振興とスポーツ施設の整備」(0.43ポイント)が最も低くなっています。

満足度について加重平均値を見ると、いずれの属性も「16 安全な水道水の安定した供給」が最も高くなっています。

また、年代別における70歳以上を除き、「10 バス・鉄道など公共交通の充実」が最も低くなっています。70歳以上は「9 住宅の耐震化や空き家対策など住環境の整備」(-0.39ポイント)が最も低く、次いで「10 バス・鉄道など公共交通の充実」(-0.37ポイント)も同程度に低くなっています。

重要度（加重平均値）

重要度（加重平均値）	全体	男性	女性	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進	1.09	1.06	1.09	0.88	1.08	1.02	1.08	1.07	1.14	1.09	1.01	1.15	1.12	1.02
2 行政区や地域の団体の活動支援	0.80	0.83	0.75	0.78	0.82	0.59	0.72	0.82	0.88	0.86	0.72	0.76	0.85	0.83
3 広報紙やホームページによる情報発信・公開	0.97	0.94	0.99	0.94	1.00	0.79	0.92	0.99	1.03	0.96	0.87	0.98	1.11	0.90
4 人権意識の啓発と人権教育の推進	0.75	0.71	0.79	0.65	0.71	0.62	0.68	0.76	0.86	0.81	0.75	0.75	0.83	0.67
5 男女が共に能力を発揮できる男女共同参画の推進	0.69	0.67	0.70	0.75	0.81	0.55	0.64	0.71	0.71	0.72	0.70	0.64	0.78	0.66
6 国道・県道など幹線道路の整備	1.20	1.23	1.19	1.27	1.35	1.07	1.30	1.15	1.19	1.14	1.27	1.13	1.24	1.25
7 身近な生活道路の整備	1.34	1.34	1.33	1.24	1.29	1.22	1.34	1.34	1.41	1.23	1.34	1.29	1.36	1.43
8 公園・広場の整備	0.63	0.59	0.68	0.64	1.04	0.52	0.63	0.62	0.61	0.71	0.68	0.63	0.69	0.51
9 住宅の耐震化や空き家対策など住環境の整備	1.02	0.96	1.09	1.04	0.98	0.86	0.98	1.03	1.09	1.06	0.99	0.97	0.95	1.18
10 バス・鉄道など公共交通の充実	1.27	1.16	1.38	1.24	1.18	1.20	1.30	1.32	1.27	1.15	1.24	1.18	1.37	1.43
11 防災・減災のための環境の整備	1.21	1.14	1.28	1.14	1.10	1.21	1.26	1.20	1.24	1.19	1.26	1.20	1.27	1.15
12 防犯・交通安全のための環境の整備	1.20	1.13	1.27	1.16	1.18	1.22	1.20	1.19	1.23	1.13	1.29	1.23	1.27	1.07
13 消費生活センターとの連携等による消費者の保護	0.83	0.75	0.91	0.66	0.82	0.64	0.79	0.85	0.95	0.81	0.90	0.84	0.88	0.76
14 適切なおみ処理と減量・リサイクルの推進	1.24	1.16	1.30	1.06	1.06	1.09	1.21	1.23	1.37	1.20	1.25	1.20	1.33	1.19
15 森林・河川など自然環境・景観の保全・活用	1.03	1.02	1.02	1.06	1.00	0.95	0.97	1.05	1.06	1.02	0.97	1.07	1.11	0.92
16 安全な水道水の安定した供給	1.60	1.54	1.65	1.46	1.31	1.51	1.57	1.67	1.66	1.58	1.60	1.58	1.66	1.56
17 下水道や合併浄化槽による適切な污水处理	1.38	1.31	1.44	1.28	1.20	1.36	1.30	1.40	1.46	1.35	1.36	1.41	1.50	1.25
18 省エネ・CO2 排出量削減など環境問題対策の推進	0.98	0.88	1.08	1.08	0.90	0.93	0.82	0.97	1.09	0.98	1.01	1.01	1.05	0.83
19 食品の安全性確保の推進	1.28	1.17	1.38	1.33	1.12	1.19	1.21	1.27	1.38	1.22	1.25	1.31	1.31	1.29
20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出	1.21	1.21	1.20	1.10	1.00	1.06	1.15	1.27	1.30	1.13	1.17	1.13	1.35	1.29
21 農林水産業の振興	0.89	0.92	0.84	0.92	0.76	0.51	0.78	0.91	1.08	0.85	0.82	0.81	0.89	1.10
22 農畜産物のブランド化	0.76	0.78	0.74	0.94	0.80	0.55	0.69	0.76	0.84	0.84	0.72	0.74	0.75	0.80
23 観光の振興	0.90	0.91	0.89	0.98	0.94	0.79	0.89	0.88	0.94	0.88	0.79	0.86	1.05	0.94
24 商業の振興	0.93	0.93	0.94	0.94	0.94	0.79	0.89	0.94	1.00	0.83	0.84	0.98	1.00	0.98
25 工業の振興	0.92	0.96	0.87	0.71	0.80	0.71	0.85	0.97	1.05	0.70	0.85	0.90	1.04	1.02
26 疾病予防・健康づくり体制の充実	1.28	1.22	1.33	1.24	1.20	1.09	1.21	1.29	1.40	1.20	1.25	1.24	1.36	1.33
27 高齢者福祉・介護保険制度の充実	1.45	1.40	1.49	1.27	1.33	1.29	1.47	1.44	1.56	1.35	1.46	1.41	1.49	1.52
28 障害者福祉の充実	1.25	1.17	1.34	1.20	1.24	1.12	1.19	1.28	1.33	1.27	1.28	1.20	1.23	1.33
29 地域で支え合う地域福祉の充実	1.15	1.02	1.28	1.12	1.20	0.98	1.11	1.16	1.24	1.27	1.16	1.12	1.12	1.19
30 子育て支援の充実	1.38	1.34	1.42	1.35	1.55	1.30	1.37	1.37	1.42	1.45	1.40	1.31	1.38	1.47
31 地域医療体制の充実	1.57	1.53	1.60	1.45	1.55	1.60	1.57	1.54	1.61	1.55	1.56	1.58	1.54	1.60
32 生涯学習・社会教育の充実	0.77	0.69	0.85	0.92	0.77	0.78	0.58	0.75	0.86	0.90	0.76	0.73	0.90	0.66
33 生涯スポーツの振興とスポーツ施設の整備	0.61	0.55	0.66	0.64	0.82	0.48	0.52	0.54	0.71	0.83	0.51	0.61	0.77	0.43
34 幼稚園や小・中学校の教育内容の充実	1.35	1.28	1.42	1.31	1.45	1.30	1.26	1.37	1.40	1.38	1.29	1.37	1.35	1.41
35 幼稚園や小・中学校の施設の整備	1.19	1.15	1.23	1.27	1.41	1.24	1.07	1.19	1.19	1.29	1.08	1.21	1.21	1.19
36 歴史・文化・芸術に触れる機会や活動支援の充実	0.63	0.60	0.65	0.80	0.59	0.52	0.53	0.67	0.67	0.73	0.56	0.62	0.69	0.60
37 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用	0.62	0.61	0.62	0.82	0.53	0.52	0.54	0.59	0.70	0.63	0.58	0.59	0.70	0.63
38 地域間交流や都市間交流の推進	0.54	0.50	0.57	0.70	0.55	0.44	0.40	0.49	0.65	0.61	0.41	0.54	0.64	0.53
39 行政の効率化と健全な財政運営	1.32	1.33	1.31	1.18	1.04	1.19	1.30	1.35	1.43	1.28	1.30	1.31	1.33	1.37
40 行政職員の資質向上	1.36	1.35	1.35	1.12	1.29	1.19	1.30	1.45	1.42	1.31	1.31	1.33	1.44	1.40
41 行政手続きや情報発信の電子化	0.68	0.74	0.63	0.76	0.92	0.63	0.64	0.64	0.71	0.79	0.66	0.66	0.76	0.62
42 周辺自治体との連携強化	0.89	0.86	0.91	1.02	0.83	0.66	0.75	0.90	1.03	0.99	0.87	0.87	1.03	0.77

※濃色網掛け白数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け黒数字は最も低い値を示す

満足度（加重平均値）

満足度(加重平均値)	全体	男性	女性	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進	-0.05	-0.04	-0.03	0.06	-0.15	-0.18	-0.19	-0.23	0.25	0.01	0.01	-0.13	0.05	-0.09
2 行政区や地域の団体の活動支援	0.07	0.04	0.12	0.14	0.02	0.05	-0.09	-0.01	0.25	0.09	0.15	0.00	0.16	0.01
3 広報紙やホームページによる情報発信・公開	0.27	0.25	0.32	0.22	0.15	0.12	0.25	0.22	0.42	0.25	0.27	0.24	0.33	0.33
4 人権意識の啓発と人権教育の推進	0.09	0.06	0.13	0.22	0.21	-0.01	0.09	0.00	0.17	0.07	0.16	0.01	0.18	0.07
5 男女が共に能力を発揮できる男女共同参画の推進	0.00	-0.01	0.01	0.16	0.04	-0.13	-0.12	-0.09	0.15	0.03	0.05	-0.09	0.05	0.01
6 国道・県道など幹線道路の整備	-0.07	-0.14	0.02	0.02	-0.09	-0.28	-0.22	-0.09	0.12	0.12	-0.10	-0.11	0.07	-0.17
7 身近な生活道路の整備	-0.21	-0.26	-0.15	0.10	-0.17	-0.39	-0.38	-0.30	-0.04	0.01	-0.19	-0.31	-0.11	-0.29
8 公園・広場の整備	-0.11	-0.12	-0.10	0.14	-0.34	-0.31	-0.13	-0.14	-0.03	-0.10	-0.12	-0.05	-0.12	-0.17
9 住宅の耐震化や空き家対策など住環境の整備	-0.41	-0.41	-0.41	-0.12	-0.26	-0.45	-0.40	-0.53	-0.39	-0.40	-0.31	-0.36	-0.44	-0.55
10 バス・鉄道など公共交通の充実	-0.63	-0.59	-0.65	-0.86	-0.67	-0.81	-0.89	-0.60	-0.37	-0.60	-0.52	-0.70	-0.50	-0.75
11 防災・減災のための環境の整備	-0.11	-0.11	-0.10	0.25	-0.04	-0.13	-0.16	-0.20	-0.07	-0.12	-0.08	-0.13	-0.01	-0.17
12 防犯・交通安全のための環境の整備	-0.02	0.00	-0.01	0.20	0.02	-0.08	-0.10	-0.10	0.09	0.03	0.03	-0.06	0.01	-0.02
13 消費生活センターとの連携等による消費者の保護	-0.10	-0.09	-0.08	0.12	0.06	-0.18	-0.20	-0.14	-0.04	-0.18	-0.07	-0.09	-0.07	-0.10
14 適切なおみ処理と減量・リサイクルの推進	0.48	0.48	0.48	0.39	0.38	0.13	0.54	0.40	0.66	0.42	0.36	0.45	0.58	0.57
15 森林・河川など自然環境・景観の保全・活用	0.03	0.03	0.05	0.37	0.31	-0.05	0.03	-0.08	0.05	0.12	0.06	0.03	0.01	0.01
16 安全な水道水の安定した供給	0.75	0.74	0.76	0.90	0.65	0.49	0.71	0.60	0.98	0.73	0.66	0.83	0.89	0.63
17 下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理	0.49	0.47	0.52	0.51	0.45	0.32	0.38	0.36	0.73	0.62	0.35	0.43	0.74	0.42
18 省エネ・CO2 排出量削減など環境問題対策の推進	0.12	0.11	0.14	0.43	0.12	0.11	0.05	0.00	0.22	0.10	0.19	0.02	0.14	0.22
19 食品の安全性確保の推進	0.30	0.29	0.33	0.57	0.29	0.26	0.21	0.18	0.43	0.33	0.26	0.26	0.34	0.36
20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出	-0.40	-0.49	-0.31	-0.25	-0.22	-0.38	-0.57	-0.54	-0.24	-0.33	-0.33	-0.41	-0.39	-0.49
21 農林水産業の振興	-0.23	-0.28	-0.17	-0.02	0.00	-0.06	-0.32	-0.35	-0.20	-0.23	-0.17	-0.10	-0.25	-0.43
22 農畜産物のブランド化	-0.15	-0.21	-0.08	-0.04	-0.24	-0.15	-0.19	-0.23	-0.05	-0.11	-0.11	-0.08	-0.16	-0.27
23 観光の振興	-0.22	-0.24	-0.20	-0.18	-0.24	-0.39	-0.36	-0.26	-0.04	-0.23	-0.16	-0.21	-0.21	-0.26
24 商業の振興	-0.27	-0.31	-0.24	-0.25	-0.20	-0.35	-0.38	-0.30	-0.16	-0.28	-0.17	-0.24	-0.33	-0.33
25 工業の振興	-0.22	-0.28	-0.17	-0.14	-0.18	-0.25	-0.27	-0.31	-0.12	-0.23	-0.19	-0.10	-0.28	-0.35
26 疾病予防・健康づくり体制の充実	0.12	0.04	0.21	0.10	0.08	-0.05	0.08	0.06	0.27	0.15	0.16	0.10	0.13	0.11
27 高齢者福祉・介護保険制度の充実	-0.03	-0.07	0.02	0.24	-0.16	-0.15	-0.17	-0.10	0.12	0.03	-0.11	-0.01	0.10	-0.14
28 障害者福祉の充実	-0.04	-0.11	0.05	0.06	-0.14	-0.16	-0.11	-0.10	0.11	-0.04	-0.07	-0.02	0.01	-0.07
29 地域で支え合う地域福祉の充実	-0.06	-0.12	0.01	0.02	-0.06	-0.08	-0.19	-0.06	0.03	0.07	-0.01	-0.11	-0.04	-0.10
30 子育て支援の充実	-0.12	-0.18	-0.06	-0.10	-0.49	-0.34	-0.19	-0.13	0.07	-0.12	-0.10	-0.19	-0.05	-0.11
31 地域医療体制の充実	-0.32	-0.34	-0.28	-0.24	-0.59	-0.54	-0.63	-0.42	0.05	-0.24	-0.37	-0.32	-0.17	-0.46
32 生涯学習・社会教育の充実	0.04	0.02	0.07	0.22	-0.02	-0.14	0.01	0.00	0.13	-0.02	0.07	0.05	0.05	0.04
33 生涯スポーツの振興とスポーツ施設の整備	-0.05	-0.09	-0.01	0.08	-0.35	-0.24	-0.11	-0.07	0.10	0.02	0.00	-0.06	-0.11	-0.05
34 幼稚園や小・中学校の教育内容の充実	0.06	0.01	0.11	0.27	-0.16	-0.12	-0.07	-0.01	0.27	-0.06	0.05	0.12	0.05	0.05
35 幼稚園や小・中学校の施設の整備	0.08	0.05	0.10	0.22	-0.16	-0.21	0.04	0.07	0.23	-0.08	0.09	0.15	0.13	0.01
36 歴史・文化・芸術に触れる機会や活動支援の充実	-0.01	-0.04	0.02	0.06	-0.20	-0.07	-0.12	0.00	0.09	0.03	0.01	-0.07	0.04	-0.03
37 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用	0.00	-0.03	0.03	0.20	-0.16	-0.11	-0.05	-0.03	0.09	0.09	0.05	-0.02	-0.07	-0.03
38 地域間交流や都市間交流の推進	-0.01	-0.04	0.03	0.14	-0.10	-0.08	-0.07	-0.02	0.07	-0.01	0.01	-0.03	0.04	-0.03
39 行政の効率化と健全な財政運営	-0.28	-0.30	-0.23	-0.16	-0.27	-0.41	-0.36	-0.39	-0.09	-0.15	-0.36	-0.26	-0.20	-0.35
40 行政職員の資質向上	-0.32	-0.34	-0.27	-0.18	-0.54	-0.42	-0.34	-0.43	-0.13	-0.27	-0.36	-0.31	-0.22	-0.38
41 行政手続きや情報発信の電子化	-0.08	-0.10	-0.05	-0.06	-0.19	-0.31	-0.18	-0.09	0.11	-0.13	-0.07	-0.09	0.01	-0.08
42 周辺自治体との連携強化	-0.04	-0.08	0.00	0.02	-0.06	-0.15	-0.13	-0.09	0.09	-0.04	-0.03	-0.08	-0.04	0.01

※濃色網掛け白数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け黒数字は最も低い値を示す

3 町村合併の効果について

問4 町村合併による効果の評価

あなたは、町村合併前と比較して、現在の東吾妻町の状況についてどう思いますか。6段階でお答えください。(それぞれ1つに)

いずれの項目も「どちらともいえない」が最も高い

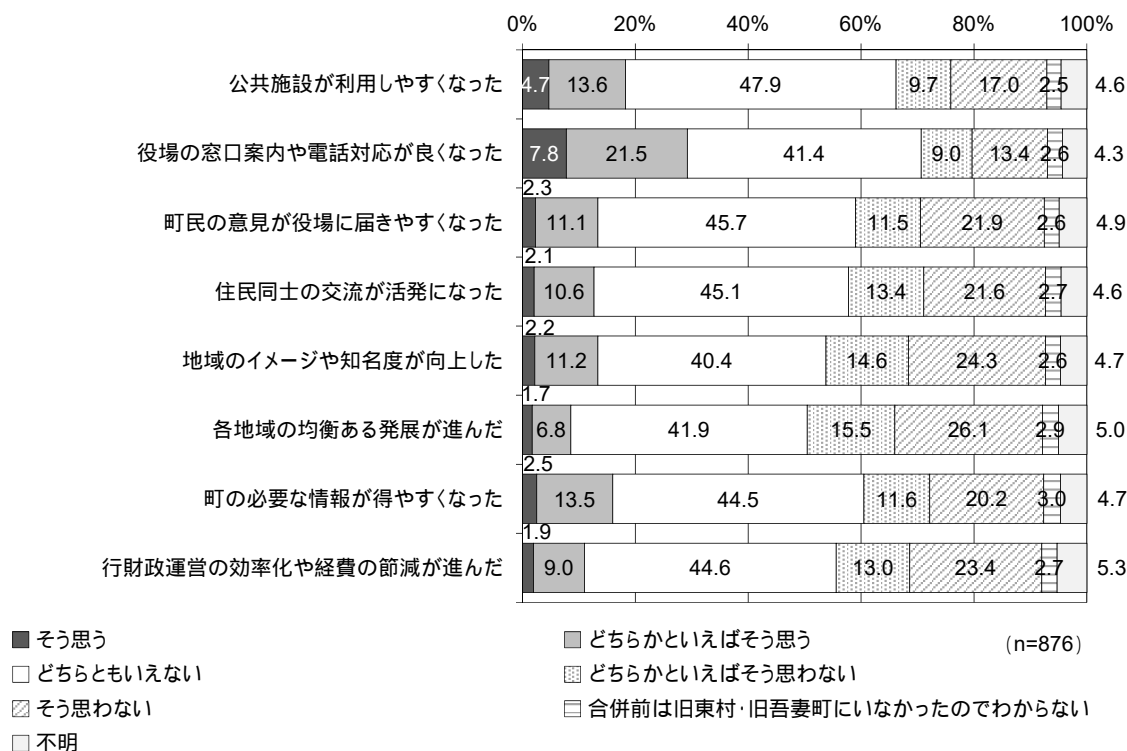
「役場の窓口案内・電話対応」の評価が最も高く、「各地域の均衡ある発展」の評価が最も低い

いずれの項目も「どちらともいえない」が最も高くなっています。

「そう思う」は「役場の窓口案内や電話対応が良くなった」(7.8%)が約1割で最も高く、「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』(29.3%)は約3割で最も高くなっています。

一方、「そう思わない」は「各地域の均衡ある発展が進んだ」(26.1%)が最も高く、「どちらかといえばそう思わない」(15.5%)を合わせた『そう思わない』(41.6%)は4割以上で最も高くなっています。

加重平均値*を見ると、「役場の窓口案内や電話対応が良くなった」(0.01ポイント)を除くいずれの項目もマイナス値となっており、その中で「各地域の均衡ある発展が進んだ」(-0.62ポイント)が最も低くなっています。



※加重平均値：「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらともいえない」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」にそれぞれ2点、1点、0点、-1点、-2点を与えて求めた平均値（「合併前は旧東村・旧吾妻町にいなかったのわからない」は除く）。値が大きいほど肯定されていると考えられる

【属性別】(加重平均値)

10・20歳代、30歳代を除き「役場の窓口案内・電話対応」の評価が最も高く、「各地域の均衡ある発展」の評価が最も低い

10・20歳代、30歳代は「公共施設が利用しやすくなった」の評価が最も高く、10・20歳代は「地域のイメージ・知名度向上」、30歳代は「町民の意見が役場に届きやすくなった」の評価が最も低い

加重平均値を見ると、年代別の10・20歳代、30歳代を除き、「役場の窓口案内や電話対応が良くなった」が最も高く、特に70歳以上(0.46ポイント)が高くなっています。10・20歳代、30歳代は「公共施設が利用しやすくなった」(それぞれ-0.16ポイント、-0.48ポイント)が最も高くなっていますが、値はマイナス値となっています。

一方、年代別の10・20歳代、30歳代を除き、「各地域の均衡ある発展が進んだ」が最も低く、いずれの属性もマイナス値となっています。10・20歳代は「地域のイメージや知名度が向上した」(-0.47ポイント)、30歳代は「町民の意見が役場に届きやすくなった」(-0.89ポイント)が最も低くなっています。

評価(加重平均値)	全体	男性	女性	10・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	東地区	太田地区	原町地区	岩島地区	坂上地区
公共施設が利用しやすくなった	-0.22	-0.26	-0.17	-0.16	-0.48	-0.48	-0.40	-0.34	0.07	-0.44	-0.21	-0.17	-0.05	-0.31
役場の窓口案内や電話対応が良くなった	0.01	-0.05	0.09	-0.22	-0.52	-0.39	-0.18	-0.10	0.46	-0.18	0.12	0.02	0.09	-0.02
町民の意見が役場に届きやすくなった	-0.43	-0.46	-0.39	-0.45	-0.89	-0.69	-0.59	-0.55	-0.08	-0.61	-0.34	-0.39	-0.42	-0.43
住民同士の交流が活発になった	-0.45	-0.51	-0.38	-0.33	-0.68	-0.50	-0.54	-0.54	-0.29	-0.27	-0.38	-0.51	-0.46	-0.48
地域のイメージや知名度が向上した	-0.51	-0.58	-0.44	-0.47	-0.73	-0.63	-0.56	-0.69	-0.27	-0.57	-0.49	-0.54	-0.46	-0.48
各地域の均衡ある発展が進んだ	-0.62	-0.65	-0.59	-0.35	-0.68	-0.75	-0.65	-0.81	-0.46	-0.66	-0.56	-0.59	-0.63	-0.67
町の必要な情報が得やすくなった	-0.36	-0.42	-0.30	-0.20	-0.57	-0.65	-0.42	-0.60	-0.04	-0.56	-0.35	-0.34	-0.31	-0.33
行財政運営の効率化や経費の節減が進んだ	-0.51	-0.54	-0.48	-0.27	-0.75	-0.63	-0.62	-0.70	-0.26	-0.58	-0.43	-0.41	-0.55	-0.62

※濃色網掛け白数字は各属性で最も高い値、淡色網掛け黒数字は最も低い値を示す

4 これからのまちづくりについて

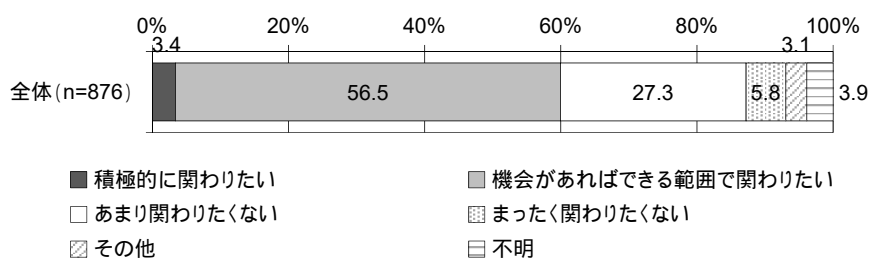
問5 まちづくりへの関与意向

あなたは、自分の持つ知識や経験、時間的なゆとりなどを活かして、東吾妻町のまちづくりに関わりたいと思いますか。(1つに)

「機会があればできる範囲で関わりたい」が5割以上で最も高い
合計値『関わりたい』が約6割、『関わりたくない』が3割以上

「機会があればできる範囲で関わりたい」(56.5%)が5割以上で最も高く、次いで「あまり関わりたくない」(27.3%)が約3割となっています。

「積極的に関わりたい」(3.4%)と「機会があればできる範囲で関わりたい」を合わせた『関わりたい』(59.9%)は約6割、「あまり関わりたくない」と「まったく関わりたくない」(5.8%)を合わせた『関わりたくない』(33.1%)は3割以上となっています。



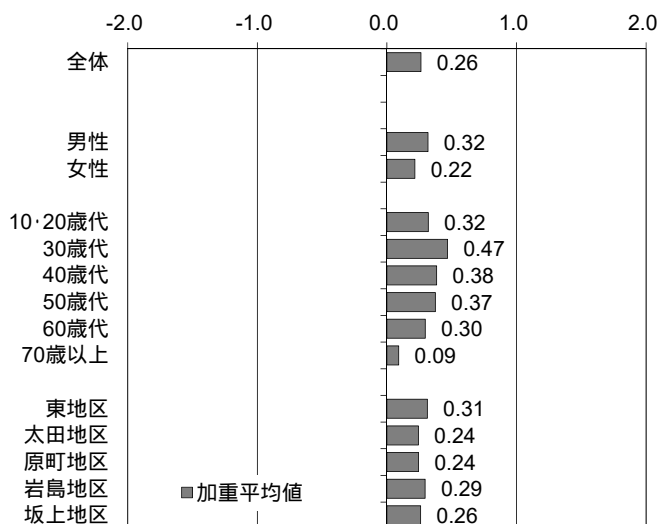
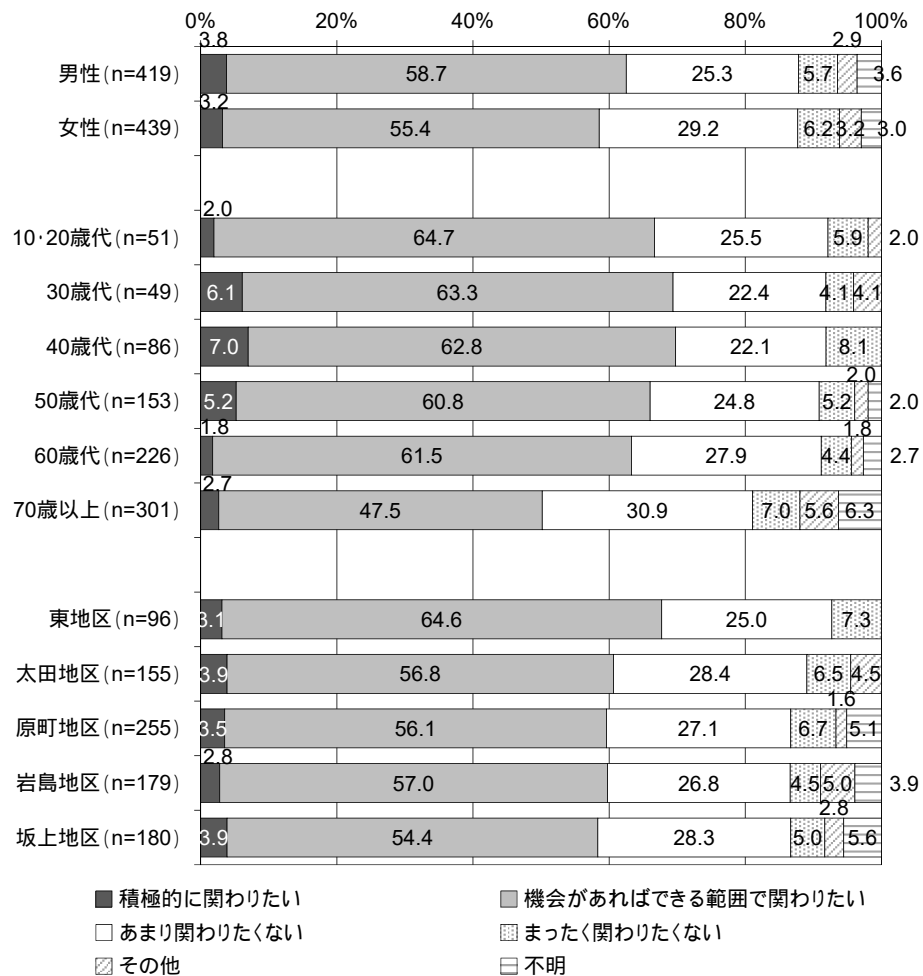
【属性別】

いずれの属性も「機会があればできる範囲で関わりたい」が最も高い
男性、30歳代の関与意向が比較的強い

いずれの属性も「機会があればできる範囲で関わりたい」が最も高くなっています。

加重平均値*を見ると、性別では男性(0.32ポイント)、年代別では30歳代(0.47ポイント)が比較的高い一方、70歳以上(0.09ポイント)が低くなっています。

地区別では大きな差は見られません。



※加重平均値：「積極的に関わりたい」、「機会があればできる範囲で関わりたい」、「あまり関わりたいくない」、「まったく関わりたいくない」にそれぞれ2点、1点、-1点、-2点を与えて求めた平均値。値が大きいかほどまちづくりへの関与意向が強いと考えられる

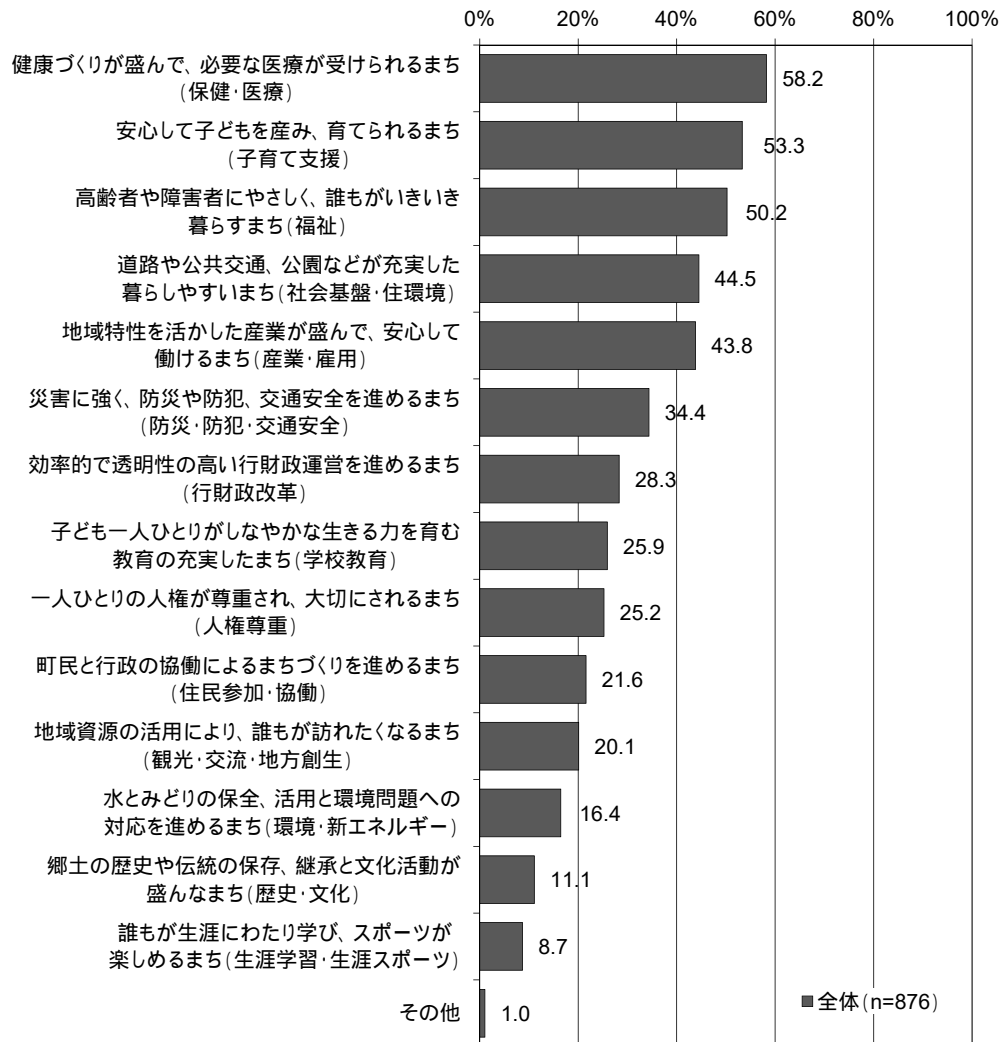
問6 まちの将来の姿

10年後(2027年)の東吾妻町は、どのようなまちであってほしいと思いますか。(5つまで)

「保健・医療」が約6割で最も高い

次いで「子育て支援」「福祉」が5割以上

「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち(保健・医療)」(58.2%)が約6割で最も高く、次いで「安心して子どもを産み、育てられるまち(子育て支援)」(53.3%)、「高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち(福祉)」(50.2%)の2項目が5割以上となっています。



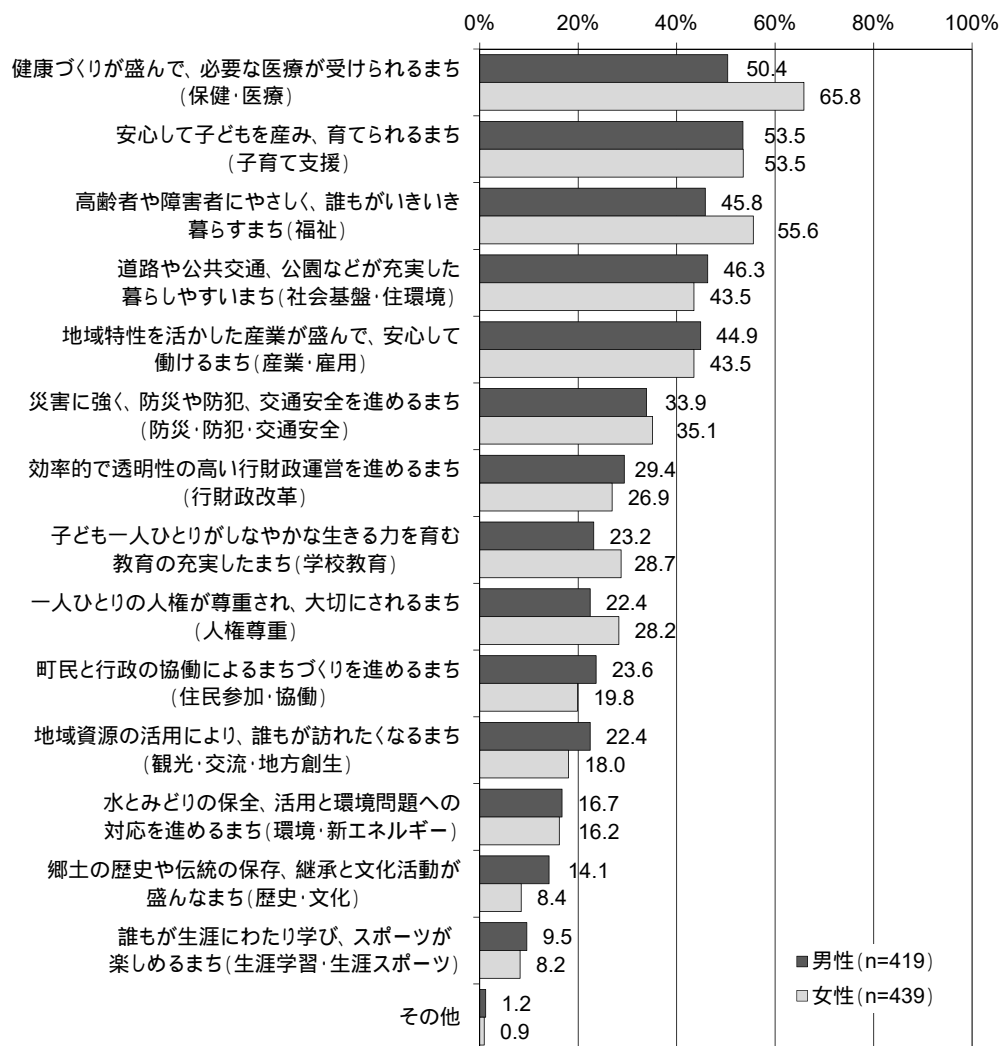
【属性別】

属性によって傾向が異なる

性別では、男性は「安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）」（53.5%）、女性は「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（65.8%）が最も高くなっています。

年代別では、10・20歳代は「道路や公共交通、公園などが充実した暮らしやすいまち（社会基盤・住環境）」（68.6%）、30歳代、60歳代は「安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）」（それぞれ75.5%、57.5%）、40歳代、50歳代、70歳以上は「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（それぞれ66.3%、65.4%、57.5%）が最も高くなっています。

地区別では、東地区は「安心して子どもを産み、育てられるまち（子育て支援）」（66.7%）、太田・原町・岩島地区は「健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち（保健・医療）」（それぞれ61.3%、61.6%、59.8%）、坂上地区は「高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち（福祉）」（58.3%）が最も高くなっています。



	10・20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳 以上
n	51	49	86	153	226	301
健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち(保健・医療)	43.1	63.3	66.3	65.4	54.9	57.5
安心して子どもを産み、育てられるまち(子育て支援)	64.7	75.5	54.7	54.9	57.5	44.2
高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち(福祉)	33.3	36.7	45.3	54.2	49.6	56.1
道路や公共交通、公園などが充実した暮らしやすいまち(社会基盤・住環境)	68.6	57.1	51.2	51.6	39.4	37.5
地域特性を活かした産業が盛んで、安心して働けるまち(産業・雇用)	45.1	44.9	43.0	46.4	44.2	42.9
災害に強く、防災や防犯、交通安全を進めるまち(防災・防犯・交通安全)	31.4	24.5	27.9	36.6	32.7	39.5
効率的で透明性の高い行財政運営を進めるまち(行財政改革)	19.6	18.4	26.7	26.8	32.3	29.6
子ども一人ひとりがしなやかな生きる力を育む教育の充実したまち(学校教育)	23.5	55.1	29.1	22.2	26.5	22.3
一人ひとりの人権が尊重され、大切にされるまち(人権尊重)	15.7	12.2	20.9	26.1	26.5	29.2
町民と行政の協働によるまちづくりを進めるまち(住民参加・協働)	15.7	8.2	17.4	17.0	23.9	27.2
地域資源の活用により、誰もが訪れたくなるまち(観光・交流・地方創生)	29.4	20.4	27.9	24.8	15.9	17.6
水とみどりの保全、活用と環境問題への対応を進めるまち(環境・新エネルギー)	27.5	10.2	19.8	11.1	19.5	15.3
郷土の歴史や伝統の保存、継承と文化活動が盛んなまち(歴史・文化)	15.7	12.2	15.1	11.1	11.9	8.6
誰もが生涯にわたり学び、スポーツが楽しめるまち(生涯学習・生涯スポーツ)	15.7	18.4	12.8	7.2	8.4	6.0
その他	0.0	4.1	3.5	1.3	0.4	0.3

	東 地区	太田 地区	原町 地区	岩島 地区	坂上 地区
n	96	155	255	179	180
健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち(保健・医療)	50.0	61.3	61.6	59.8	55.0
安心して子どもを産み、育てられるまち(子育て支援)	66.7	50.3	54.5	46.4	56.1
高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち(福祉)	53.1	47.1	48.2	46.9	58.3
道路や公共交通、公園などが充実した暮らしやすいまち(社会基盤・住環境)	43.8	47.7	40.0	49.7	43.9
地域特性を活かした産業が盛んで、安心して働けるまち(産業・雇用)	36.5	36.8	43.5	46.4	52.8
災害に強く、防災や防犯、交通安全を進めるまち(防災・防犯・交通安全)	43.8	39.4	37.3	29.1	27.2
効率的で透明性の高い行財政運営を進めるまち(行財政改革)	18.8	37.4	23.5	35.2	25.6
子ども一人ひとりがしなやかな生きる力を育む教育の充実したまち(学校教育)	32.3	23.9	24.7	25.7	27.2
一人ひとりの人権が尊重され、大切にされるまち(人権尊重)	28.1	25.8	25.5	27.9	21.1
町民と行政の協働によるまちづくりを進めるまち(住民参加・協働)	21.9	20.6	21.2	22.9	22.8
地域資源の活用により、誰もが訪れたくなるまち(観光・交流・地方創生)	19.8	20.6	16.5	21.2	23.9
水とみどりの保全、活用と環境問題への対応を進めるまち(環境・新エネルギー)	20.8	20.0	15.7	17.3	11.1
郷土の歴史や伝統の保存、継承と文化活動が盛んなまち(歴史・文化)	11.5	11.0	11.8	11.7	10.0
誰もが生涯にわたり学び、スポーツが楽しめるまち(生涯学習・生涯スポーツ)	5.2	7.7	9.8	10.6	8.3
その他	0.0	0.0	2.4	1.1	0.6

単位：％

※網掛け数字は各属性で最も高い値を示す

問7 まちづくりへの意見（自由記述）

東吾妻町のまちづくりについてご意見等がございましたらご記入ください。

東吾妻町のまちづくりについて、265名から意見や要望などが寄せられました。その中から、個人的な誹謗中傷などを除いた主なものをキーワードごとに掲載します。なお、複数のキーワードが関連する内容は読み分けを行っています。また、すでに東吾妻町として検討や実施をしている取り組みなどとの関連は考慮していません。

町政全般

- 10・20年後を見据えて公共交通や地域とのつながり、医療などの総合的なまちづくりをお願いしたい。
- 100年先を考える行政を。
- 10年後の未来を見据えた町政をお願いします。どの地域にいても、子どもを生み、育て、年老いても住みたいと思うまちづくりをお願いします。子どものいない町に未来はありません。
- あいさつのできるまちづくり。
- オムツ手当や出産祝金等子育て支援が充実していますが、高校は通いにくい、病院が少ない等、これから一生暮らしていくには少々不便だと感じます。ゴミ袋も高いです。
- さびれゆく東吾妻町をどうしようと思って、行政が考えてやっているのか不思議に思う。このままでは町は衰退していただけた。
- たいへん住みやすい町だと思います。
- みんなが暮らしやすい町になるようまちづくりを進めていただけるとありがたいです。
- もっと特色を活かしたまちづくり。
- 運転ができなくなったらこの町を出たいと考えています。老人に対する生きる望みが考えられないからです。町の今後を真剣に考えるために職員を先進市町村に派遣し、学ぶことから始めることも大切ではないでしょうか。
- 計画や理論は実践してこそ価値があります。当町は近隣の町村に比べて実践には大きく欠けているイメージがあります。計画したことは早く実行に移す町になってもらいたいものです。
- 原町駅の無人化、吾妻高校の撤退等で昔より淋しい町になった。これ以上後退せぬように願っています。
- 行政が住民の目線に立ち、積極的に推進することが必要で、方針等一つひとつを確実に町民のために推進してほしい。
- 社会的弱者（中学生以下の子ども、障がいのある方、高齢の方）の一人ひとりの皆さんが希望を持って、生きることによって日々生きがいを持つことのできるまち。
- 少子化・高齢化により、ますます人口減が予想されます。官民一体となり、この難題に至急取り組み、安心して住めるまちづくりを目指してほしい。
- 少子高齢化対策、若い人の定住、職場の対策、賃金の値上げ、子どもが増やせる環境づくりに取り組みことを願います。
- 少子高齢化対策、若者の流出を防ぐ対策。
- 人口の減少を食い止める魅力のある、安心して住めるまちづくりができればと思う。
- 昔から引継がれてきた自然環境を保全するとともに、子

育て支援の充実。そして地域活性化を行政主導のもとと推進いただきたい。

- 全町民が裕福にくらせるまちづくり。
- 地方創生に関わる攻めのビジョンが示せればと思います。
- 地味に見えるが着々とよい方向へまちづくりが推進されており、執行部議会等の関係各位に敬意と尊敬を表したい。今後とも中庸な行政の保持推進を切望いたします。
- 中之条町に比べて東吾妻町は遅れていると思う。何かにつけて。
- 中之条町に比べるとまちづくりがない。
- 町の活性化、若い世代の増加に力を入れてほしいです。
- 東吾妻町のまちづくりに比べ、中之条町のまちづくりの方がいろんな面で充実しているように思います。参考に見習うべきところは見習い、東吾妻町もより住みやすい町になることを願っています。
- 東吾妻町は、吾妻郡内ではすべてに遅れていると思うので、もっともっと頑張ってもらいたい。
- 独居や老夫婦、空き家など、都会ばかりでなくこの町も淋しい現実が押し寄せている今日この頃ですが、町全体の対策などないものでしょうか。
- 福祉の充実したまちづくりにしてほしい。買物バスなど、将来を考えてほしい。

住民と行政の協働

- 20～50代の意見を引き出してほしい。町の現状についてテーマを絞って時間をかけて発信してほしい。毎月1回、1年間計12回、Q&A データを集計して、テーマごとに意見の交換会をくり返し、実感できる将来プランを創ってもらいたい。
- 75歳以上の人に班長をするエネルギーがなくなり大変なので考えてもらいたいと思います。
- ふるさと祭り等については、職員の積極的な参加により盛り上げてほしい。パブリック・コメントではなく、公聴会を開催してほしい。何を言っても効果なし、むなしい（やる気なし）。
- ボランティアができる場があるとは思いますが、何があるかをもっと見える形で知らせてほしい。
- ボランティア活動の推進と行政の協働。
- 一丸となって、町政の大赤字を減らす努力もしないとね。精一杯に知恵を絞って、良い汗を流し、町外にもアンテナを張り、頑張ろう。
- 行政との協働により、美しいまちづくりを考えたいと思います。廃校等にももっと目を向けて、きれいにしておきたいものです。
- 若者の意見を大いにくみ取って活かしてはいかかでしょうか。

- ・住みやすさの度合は、年代によって違いがあるので何とも言えないけれど、私の年代は、近所の助け合いを大切に、人権を尊重してとの想いが強い。
- ・住民の意見・要望を最大限取り入れた「まちづくり」を期待します。
- ・住民一人ひとりが、より良いまちづくりにどう関わっていくか、行政に何を期待するか、常に模索し、行動し、向上していけるような東吾妻町でありたいと願っています。
- ・地域でできることは地域に任せてはどうか。区にそれなりのお金も与える。
- ・中之条町はすごいです。負けないくらい、もっと盛り上げていきたい。
- ・町民と行政がしっかり協力し、安全・安心でき、福祉、子育ての充実、環境のよい地域でありたい。明るい生活ができるには。
- ・町民と行政の協働によるまちづくり。道路や公共交通、公園などが充実した暮らしやすいまち。
- ・町民のたくさんの声を聞いてほしい。そして聞くだけではなく、実行してほしい。
- ・超高齢化、少子化の中、廃県、廃町村にならぬよう旧来通りの組、祭り、寄付、区費徴収制など、抜本的に見直す必要あり。
- ・同じ人が何期も役をやることはよくないと思います。いろいろな人にやってもらうことが地域の人のためだと思います。

広報・広聴

- ・イベントも行なっているが、町内にもあまり伝わってこない。もっとメディアを利用し、県内及び県外にもアピールしていく必要があると思う。中之条町は、FMぐんまとコラボしたり、テレビ等の露出も多く、参考にできませんか。
- ・もっと岩櫃城をアピールすべき。
- ・群馬の人でも東吾妻町を知らない人が多いのが少し寂しいです。
- ・新庁舎の件について。以前庁舎の見取り図らしきものが配布（回覧）されましたが、小さくて何も分かりません。もっと見やすいものを配布してほしい。庁舎建設は、町民が納得した上での建設ですか。疑問ですね。
- ・町の基本方針をもっと発信してください。
- ・東毛や西毛では、東吾妻町の場所を知らない人が多いと感じる。訪れたことがないか、通過するだけの町ということらしい。

都市基盤

- ・サイクリング道路の整備（東吾妻町周遊道路）。
- ・原町地区で下水道処理に加入していない家庭が多いが、衛生センターに処理してもらった方が安価のためでしょう。町が推進して加入した家庭の負担が多いのに不満を少し持っています。
- ・現在の自分には不便も不満も感じません。中学生が砂利道を自転車通学しているので、転んで怪我でなければと見守っています。
- ・今後のまちづくりは、若い人達にお任せしたいと思いません。あまり変らない方が生活しやすいと感じます。道路はたくさんあり過ぎて不便に思う。道路がいくつもできて、どこをどう通ったらよいか分からなくなります。
- ・坂上地域にコンビニとガソリンスタンドがほしい。

- ・車社会の中で道路整備が遅れていると思います。国道矢倉（岩島）地区のきついカーブや古い橋の幅が非常に狭く、大型のすれ違いができず、一方の大型車が橋の手前で待ってから発進しているなど、大変不便さを痛感しています。歩道（岩島）の外灯が少なく、歩行するのがとても恐いです。早急に増設していただきたい。
- ・新しい橋が架かり、役場が新しい場所に移り、年配の私達には小高いお城まで行くのにはちょっと大変。それよりも日赤に通じる道路の狭さに危険を感じる。町内の道路を見直してほしい。
- ・川戸を通過する県道と駅西部をつなぐ吾妻線の陸橋をつくってほしい。
- ・大切な水である生活用水や水田用水を見直し、修理をお願いいたします。
- ・町道を県道並に改良する事が一番大事。人口は減っても車は増える。
- ・町道を早く仕上げしてほしい。
- ・町道を早く仕上げ一日も早く通れるようにしてほしい。
- ・都市計画道路工事完了ならびに役場移転後の空き地の有効活用等、中心市街地の再生、環境整備をしてほしい。
- ・道路、橋等の歩道整備。
- ・道路のカーブを少なくして、歩道を充実してほしい。
- ・道路交通の発達。
- ・特色がない感じが強く、アピールポイントを探したいと思う。岩井河原の整備を進めてほしい。春の水仙まつりの渋滞の緩和に向けて。

- ・農道など町道が狭くて住みにくい。
- ・無駄な橋はつくるな。

移住・定住

- ・空き家が多く見られるので対策を。
- ・原町地区は住環境の大変便利なコンパクトシティとなっています。こういうことをもっとアピールして住む人を支援するような施策を進めてもらいたい
- ・高齢者が増えている状況から 30 年後には人口が激減して、自治体が消滅していく可能性が高いです。若い人を呼び込むまちづくりと優遇策を検討願います。
- ・子どもが成長し町から巣立って行ったとしても、また帰って住みたくするようなまちづくりが理想であると思います。子どもから高齢者までが大切にされ、安心して住める東吾妻町でこれからもあってほしいです。
- ・子ども達が町に残れる環境、仕事場などを整えてもらいたい。
- ・私は原町に住んでいるのであまり不便さを感じませんが、どこに住んでいても「住み良くなった」と思える町に少しでもしてほしいと思います（若い人が出ていってしまったと思います）。
- ・若い人が住みたくするまちづくりをしてほしい。
- ・若い人達（20～30代）が家を持ち、ずっと住みたくするようなまちづくりを考えてください。
- ・若い方が東吾妻町に住みたいと思える町に。
- ・若者が住み、子育てができる町にしてほしい。空き家は、県外から若い者に住んでほしい。若い者が少なくなったので夏祭りもできなくなってしまいそうで心配です。
- ・若者が住みやすい、環境（特に、住居、育児、職場）に集中した投資が必要。

- ・若者が町内にとどまってくれるよう、働く場所と医療、教育の充実を期待します。
- ・人口の減少による空き家の増加に対し、他地域より移住し、緑豊かなこの地で農業を目指す人達の呼び込みと空き家整備、そして3年間程度の生活支援により、東吾妻町の人口増を図ってほしい。
- ・静かな環境で住みよいです。若い人が少なく思います。20年前に転入しましたが、周りは優しい人ばかりです。ただ、保守的な面も強くあるように思う。
- ・都会等から人々が定住しやすい環境づくり。人口減少を防ぎ、農業、工業、などの産業を活発化し、魅力あるまちづくりを望みます。
- ・東吾妻町に住んで8か月弱になりますが、長く住みたいと思う町であってほしいと思います。
- ・東吾妻町はとてもよいまちでした。私も東吾妻町の住民から抜けてしまってとても寂しいです。

公共交通

- ・桔梗館行きのバスを運行してほしい。
- ・群馬原町駅は無人駅にしないで。鉄道OBはたくさんいると思うので、町から委託できないものか。
- ・原町の温泉がなくなり残念。東地区の温泉にバスを出してほしいです。
- ・原町の温泉センターがなくなったので、無料で他地区の温泉に行く巡回バスを出してほしい。
- ・公共交通や道路が便利で、首都圏に近くて住みよい。町道等の整備（竹雑木等その他）。ダム関連が終了までに長野原（西部）や東吾妻町（東部）の交通の便を図り、観光その他の活性化を。
- ・公共交通機関の発達に課題あり。
- ・高齢者が運転しなくてすむよう、バスを増やしたり、生活道路を整備してほしい。若い世代に義務だけを押しつけないような運営をお願いします。
- ・高齢者にとって買物が便利なまちにしてもらいたい。高齢者ドライバーの事故が増えているので、買物バス等の対策を考えてもらいたい。
- ・高齢者の運転免許返納者に対して、公共交通機関の割引制度の充実をしてほしい。
- ・高齢者の車の運転について。運転をしなくてはいけない状況である。公共の交通機関を使って毎日の行動を満足して過ごせるとよいと思います。
- ・今さら無理でしょうが、原町駅に急行が停車できるように戻してほしい。無人駅は不便です。東吾妻町は4つ駅があるのに。
- ・昨年、目の病気で視力障害になった時、とても不便を感じました。不便な点は次のとおりです。ご検討ください。交公共交通の不備（バスの配置をきめ細かくしてほしい、バスの本数を増やす）。歩行者用道路の不備（狭くて危険）。交差点の信号（音をつけるなどしてほしい）。
- ・車の運転ができない年齢が来た時、買物に不安を感じますが、マイクロバスでも週1回出してもらえばと思います。
- ・車の免許証を返納してから、足が悪くなり、病院にも行けない。電話1本ですぐ行けるように、安心して暮せるように。
- ・乗り合いバス運行の改善。人家の集まっているところを回してほしい。国道まで行ったり、荷物を持って歩かせません。通院、買い物もできず、バスは役立っていません。運

転免許のない高齢者のことも考えてください。町のイベントも行けません。

- ・乗合バスの回数を増やしてほしいです。
- ・町で運営しているバス路線を無料化するべき。
- ・電車の本数が増えたらさらに生活しやすくなるのではないかと思います。
- ・免許返納とはいうけれど、その後の交通手段等は行政としてはどのように考えているのでしょうか。安心して暮らせるよう、町民全員で考えるべきだと思います。
- ・老人のためのバスほしいです。

防災・防犯

- ・ニュースを聞いてると、誘拐事件が多く、孫の通学路に防犯カメラをつけていただければ少しは安心できます。
- ・暗い道路に外灯をつけてください。人家のない所は怖いんです。
- ・各国道、幹線道路、農道の側の草木の整備等をしっかりとしないと、木々は成長しているので、景観が悪くなってきていて、見通しが悪い所が多すぎる。
- ・旧太田中学校に消防署ができると、坂上地区までの消防車や救急車の到着が遅くなるので不安です。
- ・近年、全国で自然災害が多いので、早めな対応（連絡）をお願いいたします。
- ・空き家対策に力を入れてほしい。そのまま放置しておいたら危険と思える家がある。強風の時、屋根がパタパタしていて今にも飛んで行きそうな光景を目にしたことがある。
- ・県道から入ると、道が狭くなったり、奥地に入っていくと、火災がおきた場合、消火栓を届く範囲に多くつくっていただきたい。高齢者も多く心配です。
- ・災害や事件のない静かなまちに安心して住むことができます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・子どもが安心して通学できる通学路整備をお願いします。歩行者等が安全に歩ける歩道整備が街から外れるとまだまだ整っていないように感じます。町民の安全確保をお願いします。暗くなった時の街灯が少ないように感じます。犯罪は少ない町ですが、さらに防犯に力を入れてほしいです。車やバイク、自転車の事故が多発していると感じます。高齢者の運転の危険さを肌感じます。
- ・雪対策の徹底。午前6時には除雪が完了するシステムの構築が必要。高齢者が多く、買い物ができなくなる。
- ・防犯カメラが少ない。良い人が多く住んでいるので、もしもの時の備えをして、嫌な思いをなるべくしたくない。
- ・茂っている木々を整備してください。

自然・歴史・文化

- ・自然がとても良い町だと思います。良い人間が育つ町だと思っています。自然を大切にしてください。
- ・自然資源（山や林道や川）の整備と活用の推進。
- ・自然豊かな素晴らしい町だと思います。首都圏の方にもこの町を知っていただけるよう広報発信していただきたいと思っています。
- ・人口減少の要因の1つに、未婚成年の増加があり、行政による対策が必要。町の要請で住民が提供した古い生活用品等を一堂に展示する「民俗資料館」のような場所を設置すべき。

- ・東吾妻町には他町村にはない歴史遺産がたくさんあります。古墳群に始まり、岩櫃があり、金井廃寺跡も他町村に誇れる資源です。もっとお金を注ぎ整備し、日本中にアピールしてください。すばらしい歴史のある地なのですから。反対意見は無視して強力な推進をお願いします。
- ・道路、川の整備が進み、よいこともあるが、自然が破壊されてしまって、10年前はホテルが多数見られたが、今はほとんど見られなくなってしまった。
- ・緑や花が豊かで自然の山々や樹木を管理して守ってゆくまちづくりを希望します。かつては山で暮らしていた動物達やカラス達が人里へおりてくることがないように、森林を管理するシステムの充実を図ることで、人も動物達も、安全に安心して暮らしていけるまちづくりを実践していく東吾妻町になることを切に願っております。

産業振興

- ・NHK ラジオイベントカーに出てくる地域の食文化・観光地開発を通して、外部から人を呼べるまちづくり。
- ・温泉がほしいです。
- ・観光資源を活用し、観光客を呼ぶことが大事であると思われまます。
- ・昨年は「真田丸」関連のイベントで他県からの集客や町民の参加も積極的で大いに盛り上がりたと思います。今年に入り、温泉の閉鎖、駅前商店の閉店、さらに吾妻高校の統合により寂しさは募るばかり。何とか歯止めがかからないものかと日々思っています。
- ・若い人が安心して働ける産業・雇用確保に期待します。
- ・集客がある観光づくり。変化がない。
- ・先を見越したまちづくりをしっかりと行ってもらいたい。町の売り物がなく、半端な町になっている。真田丸効果を逃しているよう感じる。
- ・地域産業の充実。
- ・町を活性化させるべき。イベントを多くする。
- ・東吾妻町の中心、JR 群馬原町駅前の商店がすべて閉じました。町観光協力を含めて、町の活性化施策企画の打ち出しをお願いします。町として補助事業の一部で駅前通りを復活させる必要があると思います。このままでは大変なことになります。
- ・東吾妻町はとても良い場所なので、もっともっと色々な人に知ってもらいたいなあと思っています。真田丸のおかげで岩櫃山が有名になって良かった。
- ・農林業を振興し、農林業を生業とする人が多いまち。
- ・暮らし安いとても良い町だと思います。地域の特性を活かした産業が発展し、人口が増加し、経済が発展して行くことを願います。

仕事・雇用

- ・これからの子ども達が学び（大学・高校）、働く場所をつくってほしい。
- ・雇用の場を広げてください。
- ・雇用をもう少し増やしてほしい。
- ・雇用確保が一番だと思います。東吾妻町にはいくつかの企業があるが、海外の方も多く働いています。できるだけ東吾妻町の方が多く働ける方策が必要だと思います。雇用を増やすため、行政と企業でもっと話し合いが必要ではないでしょうか。
- ・工場誘致し、若者が元気で安心して働らくことができるようなまちづくりをお願いします。

- ・若い者が安心して働ける場、そして子育てできるまちになってもらいたい。
- ・若い人が、大学進学等で町を出ても、また戻って働ける場所、魅力のあるまちにしてもらいたいと思います。
- ・若い人が町から出ていかないためにも雇用の場（工場等）の誘致。
- ・若い人の職場づくり（働く場所）。
- ・若い人達が定住できる雇用促進に力を入れてください。
- ・若者が安心して働ける職場がほしい。高学歴を身に付けても、町外で働くことを望んで出て行く若者が多い。
- ・若者が生涯安心して働ける環境、まちづくりの充実に期待する。
- ・若者が夢や希望を持って働ける東吾妻町にしてください。
- ・少子化により子どもや若者が減少している。これからの未来を担っていく若者や子ども達を育てていくことが未来につながっていくと思います。我が子達もそうですが、それには充実した職場、働く環境、住みやすさが必要に思われます。これからのことを思うと不安を感じます。
- ・地元で働く場がほしい。前橋、高崎に行った方が便利、ではダメだと思う。
- ・町外の人が東吾妻に住みたくても働く所がない。働けないと生活できないと思われている。安心して働けるまち。働く環境をしっかりしてほしい。
- ・町役場の改修工事は地元の業者に頼むべき。
- ・天狗の湯、道の駅はお客様が増えている。お風呂はきれいで、親切、持ち込みOK等々が評判と聞いています。従業員は年配者が多いようですが、70歳定年と言わずに、働けるうちは頑張れる職場に力を入れてもらいたいですね。町の活性化があまりにもなさすぎる。住みよいまちづくりを望みます。
- ・働き口が少なく、人口減少が急速に進むのは覚悟しなくてはならない。空き家対策も然り。町の将来を考えると容易ではない。如何に対応するか。
- ・働く環境が少なく整っていないのと、高齢者が多い中で福祉での人手が不足し、賃金も低下。
- ・働く環境を整えてほしい。仕事がないと違うまちへ出ていってしまう人が多い。
- ・働く場所が少なく若者がいない。
- ・様々な職場（働く場）がないと人口が少なくなってしまう、JR 群馬原町駅前などもとても寂しい。コソコソと素晴らしい町を。今は何も無い町です。
- ・論が済んだら即実行してください。この町は強力なリーダーシップのとれる魅力ある人が養生されていないように感じる。この町に住んで家族をつくることの条件の第一には、まず安定した収入が得られることが絶対的なものである。このことを念頭において策定してください。

健康・医療

- ・1分1秒が命とりになる心臓や脳などの急病に対応できる病院を充実してほしい。夜間や休日などでも。
- ・ダンベル体操を促進して健康な体づくりを。
- ・この先の医療が最も不安です。ニーズに対して医療のハード・ソフトともに縮小しているように感じます。
- ・どこの市町村も人口が減少していますが、子どもを産む環境が悪いと思う。原町日赤にせめて産婦人科と小児科くらいはぜひつくってほしい。総合病院なのだから。

- ・医療について。子どもの具合が悪い時に、しっかり対応できるようなまちにしないと、この先も人口が増えないのではないかと。安心して生活するためにぜひお願いしたいです。
- ・健康寿命を伸ばすためにも、住民一人ひとりの意識付けを強化した方がよいと思う。中之条町のように、住民に万歩計を貸し出したり、健康記録帳のような物を作成して自分の体の記録の管理ができるようなもの等を作成してはどうか。
- ・健康増進センターがなくなり、運動をする機会が減ってしまったので、ぜひまた作ってほしいです。
- ・現在の行政は保健医療、福祉に積極的に取り組んでいない。もっと地域医療の充実に関心をもち、医療が無くなれば住むことができなくなり、交通の便も悪く、坂上地区はこれから先がまったく見えない。
- ・今住んでる人にもこれからも住み続けてほしい人にもやさしいまちであってほしい。子どもを産める病院がないので日赤にまた取り入れてほしい。
- ・産婦人科が近くにないのは大変不便だと思う。医療の充実も図ってほしい。
- ・大きな病院がもっともっと愛される病院であってほしい。「この病院があってよかった」など。
- ・地域拠点病院（日赤）の内容検討必要あり。
- ・日赤が本当に地域の医療機関であってほしい。
- ・日赤に産科がほしい。
- ・病院の充実を望む。
- ・平日午後に診てもらえる病院が少ない（耳鼻科）。

高齢者・障害者福祉

- ・これから高齢化は加速するので、買物、医療難民が増えないよう環境を整えてほしいです。
- ・ひとり暮らしの高齢者が増えてくるので、安心して生活できるようになってもらいたい。
- ・介護支援、高齢者が住みやすいまちにしてほしい。理解力がなくなってくると、難しいお知らせは分からないので、見やすく分かりやすい物を用意してほしい。
- ・高齢化が進み、ひとり暮らし（独居）の方が増えている現在、行政区でもう少し見守り、声かけなどに取り組み、心や気持ちまでひとりにならないような体制づくりが必要。
- ・高齢化への対応ができていない。
- ・高齢化社会を見すえた福祉の充実。具体的には、グループホーム、デイサービスの増設、料金の引き下げ、だれでも利用しやすいしてほしいです。また、ひとり暮らしの高齢者対策、買い物代行や見回り、声かけ等を今以上に町で推進、援助してほしいです。
- ・高齢者が安心して暮らす町に力を入れてください。
- ・高齢者が多くなり、介護の手がたりなくなるので、その対応を充実してほしい。
- ・高齢者にとって温泉がなくなったのは非常に残念でした。
- ・高齢者や障害者にやさしいまちになってほしい。
- ・障害児・者の福祉サービスが郡外の市町村と同じように受けられるように。
- ・老人が安心して暮らすまちづくり。

子育て支援

- ・安心して子育てができる町になってほしいです。
- ・学校給食費が無料になるとの公約があったようですが、

その後、どうなったのでしょうか。

- ・学校教育について。東地区の学童保育、預かり保育はともありがたいことだと思っています。しかし、内容があまりにもずさんすぎます。設備があるからといって学童を幼稚園の一室でやるのには無理があります。こども園になるのを機会にもう一度、子ども達のために考えてください。退職された先生方、現場で働く先生方の意見を取り入れて、参考にしてほしいです。
- ・高等教育を受けたい人への育英資金のより一層の充実を検討してください。
- ・産婦人科がある病院、施設が充実してくれると助かります。
- ・子どもが安心して楽しく遊べる施設がまったくない。公園に遊具がなさすぎる。プールもない。雨の時に遊べる屋内施設もない。一時的に子どもを預ける場所もない。子育て支援をもっと充実させてほしい。
- ・子どもの主とするまちづくりをお願いします。
- ・子どもを安心して育てられるように、若い人達が働けるように。高齢化が進んでいます。安価な施設等を充実してほしい。
- ・子ども達が安全・安心でいきいきとびのびと、この町で暮らし続けたいと思えるまちになってほしいです。
- ・子育て支援にもっと力を入れてほしい。公園が少ない。オムツ補助の手続きが面倒。支援センターも、一時的とはいえ、東では遠く、利用できなくなった。困ります。室内も室外でも遊べるスペースがない。
- ・子育て支援に力を入れてください。
- ・子育て支援の充実。助成金制度などの充実。
- ・若い世代が離れないよう子育て支援の強化・充実を図ってほしい。
- ・少子化対策として、子どもが3人以上の家庭をもっと優遇するべし。中学校の部活動の男女の優劣を無くすべし（すべての部活で男女を入れる）。
- ・町の活性化には若い（子どもを育てる）家庭が増えることがとても大切だと思いますが、医療に関して、産むこともできなければ、病気になっても入院できる病院もない。子ども達が集まれる場所もない。子育てには不安な地域ではないでしょうか。
- ・町政に関わる生活が薄かったので具体的な施策を理解してなく、申し訳ないです。特に個人的に不安を感じることはないですが、危惧されることは人口の減少傾向。希望する職業（家計を維持する収入源）に就きたい気持ちは分かりますが、幼少時から青年に成長し、本町に永住したい、喜びや悲しみや夢など魅力を感じさせることやものは何かと思う。幼少時の心に残るふるさと体験をさせることは貴重なものです。地域や家庭での「子育て」に経済的、精神的な支援、補助のさらなる充実を願う。
- ・病院の診療科が少なく、子どもの受診に困ることがある。夜間の急な受診、入院先が町内にないのは子育てしやすいまちとはいえない。
- ・未来ある子ども達を大切にすまちづくり。安心して子育てができる環境を整えてほしい。まずは歩道の整備をお願いしたい。

生涯学習・生涯スポーツ

- ・4地区にある公民館の人的・質的な充実。
- ・高齢者になっても生きがいのある趣味を持ち、健康で充実した生活が送れますように望みます。
- ・図書館を充実させてほしい。屋内プールもほしい。

- ・他の町外に比べて生涯学習などが充実していないと感じることがあります。
- ・町で機械機を購入し指導してくれる人をボランティアで募集して、教室を開いてほしい。
- ・スポーツが楽しめるまちづくりをしてほしい（施設の充実）。
- ・スポーツジムを再開して、できれば室内プールも健康づくりのためにほしいです。
- ・スポーツ施設・設備がまったく整っていない。簡易的なスポーツ広場トイレの粗末感が強く、利用する気が起らない。原町スポーツ広場の駐車スペースが狭く、交流試合ができない（せめて、長野原、中之条レベルにして）。
- ・吾妻東部には室内プールがないので、生涯スポーツで健康を保てるよう周辺自治体と連携強化し、年間を通して利用できる室内プールを考えてほしい。
- ・東吾妻は公園などにバスケットゴールが1つも無い。中之条には数か所あるのに。子ども達、若者などがスポーツを楽しめず住みにくい。1つくらいある公園と個人でも利用できる体育館の提供を希望します。

学校教育

- ・早急に小学校を統合して充実を。
- ・以前、給食で出されていた麺類やデザートが出なくなったと子どもが不満を言っています。給食費を上げるなりして、安全で子どもが楽しめる、しっかりとした給食を提供してください。
- ・各地区に学校があつてこそその地域の活性化だと思います。小学校の統合は賛成しかねます。十分な吟味と検討をお願いします。
- ・学校は幼、小を統合。
- ・教員の質が悪すぎる。中之条ばかり部活動が強すぎる。中学の部活動の総体期間と修学旅行の期間を中之条のようにずらすべき。
- ・物価が安く、地産・地消も進んでいて、病院の数も多く、金融機関もスーパーも多く、生活しやすい地区です。小学校の合併を早めに進め、多数の生徒の生活を望みます。

行財政改革

- ・10年後を考える前に今のこの町のあり方、特に弱者に対する支援。原町までの往復に時間がかかる現実原町で行政をとる人には分からない、ということでは困ったものです。
- ・できるだけ無駄をなくし、財政を豊かにしてください。
- ・効率化して負担を今より減らしてほしい。
- ・財政の健全化が進まないと将来のまちづくりはないと思います。夢ばかりでなく、しっかりとした町をつくってください。
- ・将来の人口減少や、財政力を考慮し、身の丈に合った、将来設計が大事。守るものと捨てるもの、しっかり政策してほしい。
- ・城の役場はいらぬ。場所が悪い。今の役場の所に新しい橋ができるのだから、その場所に木造2階建てでよい。
- ・身の丈に合った行財政の運営を希望する。
- ・税金の見直し、公務員、議員の削減。
- ・赤字財政では、どのような理想を掲げても理想のままに終わってしまいます。どうしたら赤字を解消できるか考えてください。

- ・魅力的なふるさと納税などを考え、多くの人に寄付金を出していただけるように考えたらいと思う。その時は自分も寄付をしたいと思う。
- ・役場の職員一人ひとりが家庭や地域でのエキスパートであれ。頼られる職員を求めろ。
- ・役場職員は現在の3分の1で、効率よい経営感覚を持った自治体を望む。ムダはやめよう。
- ・岩櫃城温泉がなくなったのはとても残念なことでした。他の温泉みたいに町民割引とかで、もっと入りやすくするとか、できなかったかなと残念に思います。できれば復活をと思いますが。
- ・岩櫃城温泉がなくなってしまったのが残念です。別の方法はなかったのでしょうか。

住民サービス

- ・「行政職員資質向上」について。基本（基礎）的なところが他町村職員と比べて欠けていると思います。基本的なところが良くなれば、町民の考えも変わってくると思います。
- ・疑問・質問・相談をどこにしたらいいかわからない・活動、行事は、ほとんど決まった人達であると感じる。
- ・原町に行かずに支所で済むようにできればよいと思う。
- ・行政が住民に寄り添った活動をしていない。住民のことを考えた仕事が見えない。予算消化のことしか仕事をしていない。
- ・行政が縦割りになっている。何かを相談した際にすぐに内容を理解し、適切な対応をしていただけるとありがたいと思います。丸ごと相談できる窓口があれば、町民が助かるのでは。
- ・行政に関っている方々は良くやってくれていると思う。しかし、思い切りの良さ、エネルギーを出してほしい。
- ・行政のリーダーシップ。役場職員の資質向上。
- ・職員の対応が役場内では良いが、外に出ると人が変わるようだ。
- ・昔から住んでいるが、いつ行っても役場職員の対応が悪い。他の町村と比べると最低レベル。
- ・町営アパートに住んでいます。同じアパート内にゴミ屋敷があります。役場の人が何を言っても片付ける気がなさそうで、本当に迷惑です。どうにかしてほしいです。もっと役場の方は動けないのでしょうか。こう言った小さなことからじゃないのでしょうか。まちづくりの前に。
- ・町職員は、もう少し地域のために一生懸命に働いてほしい。給料が高すぎると思う。
- ・町民に意見を求める以前に、職員自ら真摯に業務と向き合っていれば、その姿に町民は協働の意欲も湧くというものです。
- ・投げやりな電話対応等をやめてほしい。
- ・役場職員の対応が非常に悪く、処理も遅いです。中には一生懸命に働いている方もいるのにとっても残念です。他の地区の役場にお願ひした方が早くできることもあります。とても残念です。
- ・隣近所の苦情やお願いごとに対して、町役場はそのままにしてしまわないで、対応したのか、しないのか報告してほしい。例えば町報や回覧版で。昨年、役場職員が飲酒運転をしたが、そのまま役場職員として務めているのはどうかと思います。飲酒運転は犯罪者です。即く解雇です。職員の給料は税金、町の財政は厳しいと聞いています。みなさんどう思いますか。

合併・地域格差

- 10年後、消滅一步手前の地区が増えているはずだ。それまでに町には、消える前提か、存続させたいのか、切り捨てるか、何かしらの対策を立ててもらいたい。一番悪いと考えているのは、それが分かっているのに、そこで暮らす住民をまばらのまま、ぶつ切りのまま放っておくことである。
- 各地域（大字）に合った住環境整備。
- 合併してからいいことがまるでない。すべての学校や福祉を原町にまとめてしまうのはやめてほしい。東吾妻町は、他の所に比べて安心できず、住みにくく、子育てもしにくいと思う。税金の使い方を考えてほしいです。
- 人口減少に伴うこれからの視点として、「均衡ある発展」ではなく、地域において特化した発展が必要になると考えます。
- 地域（町）の隅々まで気配りを。
- 町村合併して何ひとつとして良くなったことがない。むしろ悪くなったことが多い。人口を増やす政策をしてほしい。町の端を切り捨てる政策をしないでほしい。町の施設が旧吾妻町に集中していること、新たな施設も旧吾妻町に集中していることが納得できない。
- 町中心部は発展するが、郊外は過疎化が進む一方です。町政としてこれ以上過疎化にならないよう、対策をお願いしたい。
- 道路等の整備も必要だが、上水道の整備されていない所の小水道も面倒見てほしい。同じ町民なのに不公平だ。

その他

- 議員の意見が圧力でつぶされることなく、速やかに議題に上げてほしい。
- 町議委員が目標を持って議員になっていない。政治目標をしっかりと訴えて議員になってもらいたい。当選だけが目標では意味がない。
- 一部の議員の活動しか感じられず、町の議員数に疑問を感じる場合があります。
- アンケートに回答することにより、自分が町のことをあまり知らないと感じた。今後はもう少し感心を持つようにしたい。
- アンケートの目的が「総合計画に必要なから」というだけでは意味不明です。もし、そうであるとするならば、第1次総合計画が、どの様な結果になったのか、成果を住民に対して説明してからアンケート調査を行う必要があります。総合計画書を書くためにアンケート調査は必要ですが、本質は、どうすればより良い町になるかを聞くことを目的とすべきです。「(1)重要度」は、設問が間違っています。この設問では、施策上すべて「重要」と回答せざるを得ません。「あなたにとって必要ですか。」と設問し、その必要性を問う必要があります。町民にとっての「まちづくり」と行政にとっての「まちづくり」が概念上混在したアンケートになっています。行政であるならば、町民が願う「まち」のあり方について質問すべきです。総括的に考えて、一段掘り下げて設問してほしい。例えば「住民と行政との協働によるまちづくりの推進」は、「重要」なのですが、どうすれば町民が行政と協働できるのか、もしくは町民が行政と協働を望んでくれるのかについて問うてほしいと思いました。

- アンケートは、ありきたりのことばかりで、理想的すぎる抽象的な言葉ばかりで残念です。
- アンケートをとるのはよいが、言葉（内容がむずかしい）が理解しにくい。
- アンケートをとるのは大事なことです。このアンケートについてどれだけ町民に重要性を知らせ、どう活かすのか、その見通しや決意は町民に伝わっていません。ただするのでしたら税金の無駄遣いです。そうならないよう期待します。
- アンケート入力お疲れ様です。全国的に話題となる取り組みを行ってほしいです。
- こういうこと（アンケート）をして、本当に役に立つように活用ができるのですか。
- このようなアンケートを通して住民のニーズを把握するのはとても良いことだと思います。ぜひ、まちづくりに活かしてほしいです。
- 高齢者ですが、質問の数が多く、よく分かりません。
- 実績づくりのためのアンケートにせず、この結果を活かしてください。
- 設問が多岐に渡り、（研究されてのことと思いますが）細かすぎて判断がつかなかった。結果ほとんど「どちらともいえない」になってしまった。これでは参考にならないように感じました。
- 一口ではいえません。
- 共同墓地、終活、樹木葬等、高齢者が安心して死んでいける企画をお願いします。一番願っていることは平和な町です。
- 自分のお金は自分で賄う。
- 昔、私の母が近所の同年齢の方とお茶飲していた姿を思い出します。気楽に寄る所があればいいな。皆忙がしいのでしょうか。
- 東吾妻町のため、よろしく願いいたします。
- 今の吾妻町は、まったくと言ってよい程よい方向に向っていません。まずは役場職員の態度、また町議の態度の大きさ、選挙の時ばかり笑顔、ダメです。町長ももっとしっかりしてください。税金ばかりとらないでください。税金の分、もっと住みやすい町にしてください。他の市町村から比べると恥ずかしいです。
- 犯罪者が勤めている役場が町民のために何かできるのか、やっていることは職員を守るための町政でないのですか。
- 役場職員の親が、人の家の庭を道路と同じように使っている。私有地である。役場職員の親がそんなので良いまちになると思えない。
- 最近、役場職員が「水仙ちゃん」のイラストの入ったパーカーやポロシャツを着ているのを見かけます。私もほしいと思ったので「どこで買えますか」と聞いたところ、「売っていません。売ることでもうけてはいけません」と言っていました。パーカーやポロシャツのサンプルだけ作るのにどこからお金が出たのですか。売るつもりのない物を高いお金を払って作って役場職員だけがこれ見よがしに着て歩いて、もし税金を使っているのなら許しがたいことです。役場職員が自分でお金を払っているのならともかく、売るつもりのないものを役場外に着て歩かないでください。町民に売るつもりのないものを見るたびにとても不愉快に思います。

資料（調査票）

東吾妻町第2次総合計画策定のための 町民アンケート調査 みなさんの声をおきかせください



東吾妻町では
水仙ちゃん

日頃より東吾妻町のまちづくりにご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

町では、平成29年度において、新たなまちづくりの指針となる「東吾妻町第2次総合計画」の策定に取り組んでいます。

このアンケート調査は、町民のみなさんのご意見などを計画に反映させるために実施するものです。町内にお住いの18歳以上の方（平成29年5月1日時点）1,800人を無作為に選ばせていただいたところ、あなたにご協力をお願いすることとなりました。

なお、ご回答いただいた内容による個人の特定や、ご回答いただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。また、調査の目的以外への使用は一切いたしません。

町の今後10年間のまちづくりの方向性を検討するためのたいへん大切なアンケートです。ご多用のところ誠に恐縮ですが、調査の主旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年6月

東吾妻町長 中澤恒喜

記入方法等について

- ◆ ご本人による記入が難しい場合を除き、封筒のあて名のご本人が記入してください。
- ◆ ご回答は、該当する番号「1つに○」「3つまで○」「5つまで○」をつけていただくのがあります。
また、「その他」に当てはまる場合は、（ ）内に具体的な内容を記入してください。
- ◆ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒にこのアンケート用紙を入れて、平成29年7月3日（月）までに返送してください。（切手は不要です。）

お問い合わせ先 東吾妻町役場 企画課 企画調整係
電話 0279-68-2111・FAX 0279-68-4900

あなた自身のことについて

① あなたの性別をおしえてください。(1つに○)

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

② あなたの年齢をおしえてください。(1つに○)

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳以上 | |

③ あなたの職業をおしえてください。(1つに○)

- | | | |
|-------------|-------------|-----------|
| 1 会社員・公務員 | 2 パート・アルバイト | 3 自営(商工業) |
| 4 自営(農林水産業) | 5 専業主婦・主夫 | 6 学生 |
| 7 無職 | 8 その他() | |

④ あなたのお住いの地区をおしえてください。(1つに○)

- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1 五町田 | 2 箱島 | 3 岡崎 | 4 新巻 |
| 5 奥田 | 6 岩井 | 7 植栗 | 8 小泉 |
| 9 泉沢 | 10 原町 | 11 川戸 | 12 金井 |
| 13 郷原 | 14 矢倉 | 15 岩下 | 16 松谷 |
| 17 三島 | 18 厚田 | 19 大戸 | 20 萩生 |
| 21 本宿 | 22 須賀尾 | 23 大柏木 | |

⑤ あなたの東吾妻町(旧東村、旧吾妻町を含む)での居住年数をおしえてください。転居されたことのある方は、通算の年数でご回答ください。(1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 5年未満 | 2 5年以上10年未満 |
| 3 10年以上20年未満 | 4 20年以上30年未満 |
| 5 30年以上 | |

まちづくり施策の評価について

問3 町が現在取り組んでいる次のまちづくりの施策についてうかがいます。

次の1～42の施策項目ごとに、「(1)重要度」と「(2)満足度」について、5段階(1～5)の番号をそれぞれ1つ選んで○をつけてください。(それぞれ1つに○)

	(1) 重要度					(2) 満足度					
	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満	
(記入例) ○○○○○○の整備	1	②	3	4	5	①	2	3	4	5	
住民と行政の協働	1 住民と行政との協働によるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2 行政区や地域の団体の活動支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3 広報紙やホームページによる情報発信・公開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4 人権意識の啓発と人権教育の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	5 男女が共に能力を発揮できる男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
社会基盤の整備	6 国道・県道など幹線道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7 身近な生活道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8 公園・広場の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9 住宅の耐震化や空き家対策など住環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10 バス・鉄道など公共交通の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11 防災・減災のための環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12 防犯・交通安全のための環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13 消費生活センターとの連携等による消費者の保護	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 (つづき)

	(1) 重要度					(2) 満足度					
	重要	どちらかといえば重要	どちらでもない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	
生活環境の向上	14 適切なごみ処理と減量・リサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15 森林・河川など自然環境・景観の保全・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16 安全な水道水の安定した供給	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17 下水道や合併浄化槽による適切な汚水処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18 省エネ・CO2 排出量削減など環境問題対策の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	19 食品の安全性確保の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業の振興	20 地域特性を活かした新産業や雇用の創出	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21 農林水産業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	22 農畜産物のブランド化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24 商業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25 工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉の充実	26 疾病予防・健康づくり体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27 高齢者福祉・介護保険制度の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	28 障害者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29 地域で支え合う地域福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	30 子育て支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	31 地域医療体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問3 (つづき)

	(1) 重要度					(2) 満足度					
	重要	どちらかといえば重要	どちらでもない	どちらかといえば重要ではない	重要ではない	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	
教育・文化の充実	32 生涯学習・社会教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	33 生涯スポーツの振興とスポーツ施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	34 幼稚園や小・中学校の教育内容の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	35 幼稚園や小・中学校の施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	36 歴史・文化・芸術に触れる機会や活動支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	37 歴史・文化・芸術的資産の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行財政改革の推進	38 地域間交流や都市間交流の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	39 行政の効率化と健全な財政運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	40 行政職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	41 行政手続きや情報発信の電子化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	42 周辺自治体との連携強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問6 10年後(2027年)の東吾妻町は、どのようなまちであってほしいと思いますか。(5つまで○)

- 1 町民と行政の協働によるまちづくりを進めるまち(住民参加・協働)
- 2 一人ひとりの人権が尊重され、大切にされるまち(人権尊重)
- 3 道路や公共交通、公園などが充実した暮らしやすいまち(社会基盤・住環境)
- 4 災害に強く、防災や防犯、交通安全を進めるまち(防災・防犯・交通安全)
- 5 水とみどりの保全、活用と環境問題への対応を進めるまち(環境・新エネルギー)
- 6 地域特性を活かした産業が盛んで、安心して働けるまち(産業・雇用)
- 7 地域資源の活用により、誰もが訪れたいくなるまち(観光・交流・地方創生)
- 8 健康づくりが盛んで、必要な医療が受けられるまち(保健・医療)
- 9 高齢者や障害者にやさしく、誰もがいきいき暮らすまち(福祉)
- 10 安心して子どもを産み、育てられるまち(子育て支援)
- 11 誰もが生涯にわたり学び、スポーツが楽しめるまち(生涯学習・生涯スポーツ)
- 12 子ども一人ひとりがしなやかな生きる力[※]を育む教育の充実したまち(学校教育)
- 13 郷土の歴史や伝統の保存、継承と文化活動が盛んなまち(歴史・文化)
- 14 効率的で透明性の高い行財政運営を進めるまち(行財政改革)
- 15 その他()

※しなやかな生きる力：確かな学力・国際社会に生きる力、豊かな心・感受性、健やかな体・健康安全な生活を営む力。

問7 東吾妻町のまちづくりについてご意見などがございましたらご記入ください。

アンケートは以上です。

ご多用のところご協力いただきありがとうございました。

同封の返信用封筒にて7月3日(月)までに返送してください。

(切手は不要です。)



7 住民ワークショップ実施報告書

実施概要

1 実施の目的

町民と行政の協働を推進するためのまちづくりツールの一つにしていくとともに、次期計画の策定にあたり、住民ニーズの把握のため6月中に実施した「住民意識調査」を補強し、アンケート調査だけでは把握できない発想や課題解決策を整理・提言することで、総合計画審議会の会議に寄与していくことを目的とします。

2 参加の状況

実施日時	平成 29 (2017) 年 8 月 29 日 (火) 13:30 ~ 16:30	
実施会場	役場本庁舎 大会議室	
参加者数	総合計画審議会公募委員	6 名
	地域おこし協力隊員・移住相談員	1 名
	役場職員のうち、未来創生部会 U35 分科会・真田丸	10 名
	ミーティングチームメンバー	
	コーディネーター、事務局等	9 名
	合計	26 名

3 話し合いのテーマとキーワード

共通テーマと3つのキーワードを設定し、キーワードごとに参加者の班分けを行いました。

共通テーマ	「まちの魅力とブランド力を高める」
1 班	水とみどり、地域の産業【自然資源】
2 班	健康づくり、医療、子育て支援【福祉資源】
3 班	学校教育、郷土の歴史【教育資源】

4 実施の方法

1 コーディネーター講話

【約 40 分】

「東吾妻町の誇りを掘り起こそう」をテーマに、ワークショップの進め方の説明と合わせて、コーディネーターの群馬県立女子大学教授・群馬学センター副センター長の熊倉浩靖氏による講話から始めました。



2 ふれあいトークカードを用いた相互インタビュー（他己紹介）

【約 40 分】

班ごとに二人一組となり、ワークショップのツール「ふれあいトークカード」に書かれた、共通のテーマに関する質問項目等を、それぞれの班のキーワードを踏まえ、互いにインタビューしました。その後、インタビューで得た情報を基に、相手を班のメンバーに紹介し（他己紹介）、話しやすい雰囲気づくりと意見の共有を図りました。



3 かるた取り

【約 60 分】

約 10 分の休憩後、他己紹介の内容を参考にしながら、①誇り・魅力になっているもの・こと、②その誇り・魅力をさらに高めるためにどうしたらよいか、③誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと、④それはどうしたら誇り・魅力にできるか、の 4 項目について、それぞれ色の異なる付せんに各自が考えを書き出しました。

次に、書き出した付せんの内容を順番に読み上げながら模造紙に貼り、関連性のある内容の付せんを他の参加者が貼り合うことで（かるた取り）、付せんのまとまりとしての意見集約を図りました。



4 班ごとの発表とまとめ

【約 30 分】

意見集約された模造紙の内容について各班が順番に発表を行いました。その後、総合計画審議会の相京副会長がまとめを行い、最後にコーディネーターの熊倉氏より講評等をいただきました。



5 ふれあいトークカードの内容

ふれあいトークカードを
使ってみましょう。

- ・順を追ってカードをめくってください。
- ・カードに書かれている質問に交互に答えて下さい。
- ・1つの質問で話が自由に広がっても大いに結構です。

1. 失礼ですが、改めてお名前をお教え下さい。
2. お住まいはどちらですか。
3. 差支えない範囲で、お仕事や普段の生活をお教え下さい。
4. 審議会委員の公募に応募した動機をお教え下さい。
5. 今のご気分はいかがですか。
6. グループ・テーマの視点で東吾妻町の誇り、魅力を挙げて下さい。
その理由もお教え下さい。
7. 挙げられた誇り・魅力は、町としての誇りとなっていると思いますか。
なっていないとすれば、どうしてだと思いますか。
8. 挙げられた誇り・魅力を町全体の誇りとするには、どうしたら良いと思いますか。
ぜひ、教えてください。
9. いま話されたご提案を東吾妻町として進めるには、どんな事業をしたら良いか。
アイデアがあれば、お教え下さい。
10. いま話されたご提案を町民が進めるには、どんな活動が考えられるか。
アイデアがあれば、お教え下さい。

意見等について

主な意見等

1 班 キーワード：水とみどり、地域の産業【自然資源】

魅力・誇りになっているもの・こと	その誇り・魅力をさらに高めるためには
◆岩櫃山	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備 ・登山ガイド（チラシ） ・売店・土産物
◆吾妻渓谷	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル ・電車で来た人への対応
◆箱島湧水	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電所の PR（バイオマス、太陽光発電と合わせてエコな町として） ・製品化（ペットボトル飲料） ・歩道整備 ・ホテルを強調 ・売店・土産物
◆農作物（コンニャク、リンゴ、シイタケ、水仙、スプレーギク）	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの町だけの品種 ・「東吾妻の味」のブランドづくり
◆岩島麻	<ul style="list-style-type: none"> ・麻引き見学
◆災害が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の少ない町をアピール
◆その他（買い物場所、山林、温泉、遺跡、桜、町内企業）	—

誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと	それはどうしたら誇り・魅力にできるか
◆槻ノ木	<ul style="list-style-type: none"> ・槻ノ木以外のケヤキの大木群等の観光資源として PR
◆観光地（水牢、岩井桜並木）	—
◆町施設（桔梗館、キャンプ場）	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の良さを PR ・観光モデルコースの提示
◆土産	<ul style="list-style-type: none"> ・独自の物、多種類を販売
◆野生動物	<ul style="list-style-type: none"> ・ジビエ料理の PR ・野生動物園
◆二市町村にまたがる名所（ハッ場ダム、榛名湖、浅間隠山、二度上峠）	<ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村とのタイアップや共催 ・観光 PR を強化 ・林道、歩道の整備 ・シャクナゲやドウダンツツジの大木を PR
◆その他（駅、古民家、空き家）	—

魅力・誇りになっているもの・こと	その誇り・魅力をさらに高めるためには
◆子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場を各地区に整備 ・出産などの一時預かりの充実 ・保育士の増員（資格取得を町が援助） ・福祉医療資格の延長（高校生まで）
◆医療（原町日赤、健康増進センター）	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科の入院や産科を整備 ・医学部の奨学金制度で医師を確保 ・健康増進センター（ジム）の充実・利便性向上
◆道の駅あがつま峡	<ul style="list-style-type: none"> ・猿橋の PR ・新たな特産品の道の駅での販売
◆歴史・文化（ハート型土偶、遺跡、岩島麻、真田等）	—
◆人物（人柄がよい、町出身の俳優等）	—
◆特産品（水仙、ギンヒカリ（ニジマス）、イチゴ、リンゴ、ナシ、ブドウ、コンニャク、いわびつ汁）	—
◆自然（吾妻溪谷、吾妻川と水仙畑、公園、河川敷遊歩道、岩櫃山、箱島湧水とホタル）	<ul style="list-style-type: none"> ・PR が不足 ・箱島湧水までの 1 人客や高齢者に対応した交通網
◆その他（治安が良い、高齢者が暮らしやすい、高齢者が元気、水仙ちゃん）	—
誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと	それはどうしたら誇り・魅力にできるか
◆健康増進センター	—
◆子育て（子育て広場）	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設の充実と人材の確保
◆高齢者対応（体制、施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設を町の補助で増やす ・一人暮らしの高齢者訪問
◆医療（原町日赤）	<ul style="list-style-type: none"> ・医師と診療科の充実
◆町内出身の有名人（有名人・水仙ちゃん）	<ul style="list-style-type: none"> ・観光大使への就任依頼 ・イベント等での活用
◆空き地・空き家	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地でソバ栽培 ・空き家対策計画で活用を進める

魅力・誇りになっているもの・こと	その誇り・魅力をさらに高めるためには
◆岩櫃城・岩櫃山	<ul style="list-style-type: none"> ・忍び登山、忍びの乱などの継続 ・案内所での土産販売 ・国の重要文化財化
◆八ッ場ダム	<ul style="list-style-type: none"> ・東吾妻町にも接していることを PR ・プラント跡地の有効活用 ・ダムカレー、ダムバーガーなど、新たな B 級グルメ
◆岩島麻	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の幅広い継承 ・栽培地の拡大
◆歴史（ハート型土偶、加部安左衛門、岡上景能）	<ul style="list-style-type: none"> ・土偶の管理権 ・土偶が里帰りできる施設 ・出土地を史跡にする ・子ども向けの紙芝居などをつくる ・歴史資料館や功績を偲ぶもの（をつくる）
◆自然環境（箱島湧水とホテル、自然と空気、温泉）	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けの情報発信 ・案内板の増設等、さらなる PR
◆生活（ザ・コンパクトシティ、原町日赤、町内企業、水仙ちゃん、助け合いながら暮らす地域、高齢者が元気、物価・食料品等が安い、買い物が便利、子ども達がのびのび育つ、特産品）	<ul style="list-style-type: none"> ・岩井と中之条駅南側をつなぐ LRT ・幼稚園、小学校の合併
誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと	それはどうしたら誇り・魅力にできるか
◆教育（プロジェクション・マッピング、統合した中学校、STEM 教育（科学・技術・工学・数学の教育分野）、医療の研究課題が豊富、町内企業等、原町スケート場）	<ul style="list-style-type: none"> ・原町日赤があり、福祉の関心の高さを活かした、医療や福祉に特化した公営学習塾 ・STEM 教育 ・小学校の合併 ・スケート選手の招聘
◆生活（交通、原町日赤、Wi-Fi）	<ul style="list-style-type: none"> ・バス増便 ・無料巡回バス ・産科、婦人科を増やす ・町の Free Wi-Fi をつくる
◆自然（岩井の桜並木、槻ノ木、瀧我山と不動の滝）	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の木を町中に植樹 ・水仙まつりのアピールと駐車場整備
◆歴史（大戸関所跡、忘れ去られる寸前の歴史人、偉大な人々）	<ul style="list-style-type: none"> ・東吾妻の歴史を盛り込んだ歌を作成し、全員が踊れるようにする
◆ダム振興（樽沢トンネル、大場の七不思議、コロコロコロッケ、いわびつ汁）	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一短いトンネルということで、「悩み事の解決」に御利益があるというブランディング ・大場の七不思議をミニ冊子などでアピール ・レストランのメニューに七不思議メニュー、体によい、目によい、安産メニュー

上記以外に、当日欠席の総合計画審議会公募委員より、以下のような意見・提案等をいただきました。

-
- ・東吾妻町出身者の雇用先、就職ジョブカフェなどのキャリアサポートの充実
 - ・移住・定住者向け古民家の活用、サポート手当など、他町村にない移住メリットの創設と PR
 - ・赤ちゃんや子どもへ年 1 回程度の絵本・児童書のサービス
 - ・不妊治療費の全額サポート
 - ・おむつ手当の増額
 - ・自然を活かした公園・遊び場づくり など
-
- ・人々が優しい、年間を通して涼しい、水資源が豊富、自然環境が豊か、災害が少ない、道路が渋滞しない、温泉地が近い
 - ・U ターン者への居住地提供もしくは斡旋（空き家、空き店舗の改修、提供）
 - ・都心でなくてもできる産業・企業の誘致（IT 企業、レンタルサーバー、デザイナー）
 - ・近隣市町村との情報・サービス・施設の共有利用化
 - ・企業への課税低減（住民税、固定資産税、水道料金等）
-
- ・安全・安心に住める田舎
 - ・地域の課題の解決策を住民が持てる、実行できる社会
 - ・原町赤十字病院の存続と、群大病院や前橋日赤等、他の病院との連携
 - ・遠方の病院で治療をする場合の補助
 - ・農業収穫物の自給自足と、災害時に食糧が供給できるシステム
 - ・地域への誇りにつながる、子ども達への伝承文化や遺跡や歴史の教育
 - ・避難所での訓練体験機会の設定
 - ・高崎・前橋への生活の一部としてのバスツアー（買い物、映画、食事など）
 - ・外国人との交流や雇用の仕組みをつくり、人口減少下での地域維持に活用
 - ・住民協働による地域づくりの機運を高める
-

意見等まとめ

1 総合計画審議会副会長まとめ（発言要旨）

各班の発表を受けて、総合計画審議会の相京副委員長（公募委員）より以下のまとめをいただきました。

- ・先人が築いてきたこの町の歴史や文化などを自分達が知ることによって、他の人にも伝えることができるかと改めて感じた。
- ・少子化や高齢化、人口減少の進行によって、公共交通の衰退、学校の統合など、負のスパイラルに陥ることなく、プラス要素を見つけ、魅力ある東吾妻町を考えていく必要がある。観光施設であれば旧跡利用、農産物であればコメ、コンニャク、果物など個々に作っているもののブランド化とPRが不足していると思う。
- ・町民一人ひとりによるこの町のPRも不足していると思う。
- ・同じ町内でも交通、住居など、さまざまな分野で格差が生じている。この格差をどのように解消していくかが今後の大きな課題だと思う。

2 コーディネーターまとめ（発言要旨）

最後に、コーディネーターの熊倉氏より以下のまとめをいただきました。

- ・本日出された問題・課題は、全町的なものと、旧ムラや小学校区単位くらいに分けて考えるべきものがあると思う。例えば、原町スケート場は、原町の誇りかもしれない。一方、箱島湧水は旧東村の誇りなのか、東吾妻町全体の誇りなのか考える必要があるし、原町日赤病院や、統合した中学校は町全体の誇りにしなければならないと思う。そのためにはどのように問題・課題を解決したらよいか、議論の積み重ねが、地域で暮らし続けるために必要だ。
- ・情報発信というと、外から人を呼び込む話になりがちであるが、それよりも今暮らしている人達が、誇りを持って暮らし続けるための情報発信や情報共有が重要だと思う。
- ・そういう取り組みの積み重ねによる手作りの総合計画が今後生きてくると思う。
- ・県内の他自治体の例を見てみると、例えば富岡市は、富岡製糸場で有名になり、一昨年に策定した総合計画の将来像も「世界遺産にふさわしいまち」としている。しかし、この総合計画は富岡製糸場を核とするまちづくりを示すだけではない。市内12小学校区それぞれの地区がまちづくり計画を作成し、総合計画に入れ込むという、従来の総合計画ではあまり見られない構成となっている。地区ごとにまちづくり計画を作り、それを市の総合計画に入れ込むことで、地域住民としても努力しなければならないし、計画を承認した議会も毎年予算を付けるようになる。これによって市全体で地域づくりに取り組んでいる。
- ・東吾妻町では大河ドラマ「真田丸」のオープニング映像で岩櫃山の光景が一年間放送され続けたが、それに値する町だとみんなに言われるように、各地域の誇りと町全体の誇り、さらには吾妻郡全域の誇り、近隣の市町村と共通の誇り、群馬県全体の誇り、真田道沿線の群馬を越えた誇りを考えていくことが今後重要になってくると思う。

まちの魅力・ブランド力

ワークショップで出された意見等をまとめると、参加者が考える「東吾妻町の魅力・誇り」として、以下の項目が比較的多く見られました。これらの項目を【地域の魅力・誇り】【町全体の魅力・誇り】【吾妻郡や隣接市町村共通の誇り】【群馬の魅力・誇り】に分類し、意見等から見られた現状と課題とともに示します。

1 地域の魅力・誇り

岩井の桜並木

他にも町内に桜のみどころが多い。岩井の桜並木はシーズンが地元の農繁期と重なることや病害虫対策などが課題。

2 町全体の魅力・誇り

岩櫃山

大河ドラマ「真田丸」で一躍有名になった。群馬百名山で、独特な岩山が登山者に人気。アクセス道路や登山道の整備、売店や土産物の充実、「アフター真田丸」への対応などが課題。

吾妻渓谷

上毛かるたに詠まれる名所。秋の紅葉など四季折々の美しさが楽しめる。県外での認知度向上や公共交通によるアクセスの向上などが課題。

箱島湧水

名水百選にも選ばれ、ホテルの生息地としても知られる。豊富な湧水量を活かした小水力発電施設が稼働。湧水の製品化、公共交通によるアクセスの向上、環境意識の高い町としてのPRなどが課題。

農産物やその加工品

コンニャク、リンゴ、いわびつ汁など、農作物やその加工品。「東吾妻町ならではの」の商品開発やブランディングが課題。

温泉

薬師温泉や日本三美人の湯の1つである川中温泉、町営の日帰り温泉施設である「あづま温泉桔梗館」や道の駅「あがつま峡」の天狗の湯など、町内各所に温泉がある。知名度の向上が課題。

原町赤十字病院

群馬に2つしかない日赤病院の1つで、吾妻郡東部唯一の総合病院。小児科の入院や産科がないこと、医師不足、町内他病院・医院との連携などが課題。

子育て広場「にこにこひろば」

子育て支援の核施設の1つであり、利用者の評価は高いと思われる。町内に1か所しかないので遠方から利用しにくいこと、開催日時の利便性向上、施設や人材の充実などが課題。

健康増進センター

今年7月に町民体育館へ移転した健康増進センターは、周辺町村にない施設として評価が高い。開館時間の延長や開館日の増加、ジム器具の充実などが課題。

人物・人柄

多くの偉人を輩出しているが、その知名度や足跡の調査・研究、活用が十分でないことが課題。また、東吾妻町民の人柄や、高齢者が元気なことが魅力・誇りと認識されており、暮らしやすさの維持・向上や高齢者福祉の充実などが課題。

水仙・水仙ちゃん

水仙は町の花であり、毎年開催の水仙まつりや町キャラクター「水仙ちゃん」は人気。しかし、東吾妻町の水仙、水仙ちゃんはいずれも知名度が低いこと、水仙まつりの際の駐車場の確保などが課題。

3 吾妻郡や隣接市町村共通の誇り

ハッ場ダム

全国的な知名度が高い。2年後の完成を見据え、まちづくりや観光振興などの視点での活用方策の検討が課題。

榛名山・榛名湖

全国的な知名度が高い。「東吾妻町の山」としての認知度の向上や、隣接する高崎市との連携による町民の愛着や誇りの醸成、観光振興の推進などが課題。

浅間隠山

二度上峠（高崎市倉渕町）側登山口からの入山者が多いと思われるため、東吾妻町側ルートの整備や知名度向上、アクセスルート・駐車場の整備、近隣の温泉と合わせた魅力度向上などが課題。

真田氏・真田道

大河ドラマ放送により知名度が向上。関連市町村との連携による「アフター真田丸」の対応や、そのための関連資源の磨き上げ、ストーリー性の再構築などが課題。

4 群馬の魅力・誇り

岩島麻

日本有数の上質な麻であり、歴史と文化の両要素を備える。技術の継承や栽培地の拡大、見学しやすい環境整備などが課題。

槻ノ木

国天然記念物。状態が悪いことが危惧される。他のケヤキの大木群の活用などが課題。

ハート型土偶

独特の造形美を誇り、芸術的にも評価が高い。出土地である東吾妻町では本物を見ることができないため、文化・歴史や観光振興としての活用が進まないことが課題。

資料（付せん紙への記載内容）

付せん紙へ記載された内容（原文）を以下に示します。

1 班 キーワード：水とみどり、地域の産業【自然資源】

魅力・誇りになっているもの	その誇り・魅力をさらに高めるためには
<ul style="list-style-type: none"> ◆岩櫃山 <ul style="list-style-type: none"> ・きれいな岩山がかっこいい ・独特な岩山、群馬百名山、真田関係 ・登山者が遠くからも来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備 ・初めて登る人でも分かりやすい登山ガイド(チラシ) ・売店・お土産
<ul style="list-style-type: none"> ◆吾妻溪谷 <ul style="list-style-type: none"> ・秋になるとメディアに取り上げられる ・新緑、紅葉など季節によって違った美しさ ・上毛かるたに詠まれている 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅にレンタサイクル ・電車で来た人にも行きやすい対策
<ul style="list-style-type: none"> ◆箱島湧水 <ul style="list-style-type: none"> ・名水百選（複数の付せん） ・ホテルがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・小水力発電所の PR。バイオマス、太陽光発電と合わせてエコな町として PR できる ・ペットボトル飲料にする。他市町村にはある ・歩道整備 ・ホテルを強調 ・お土産物屋
<ul style="list-style-type: none"> ◆農作物 <ul style="list-style-type: none"> ・コンニャク、リンゴ、シイタケ等豊富 ・水仙 ・スプレーギク（日本有数の産地） 	<ul style="list-style-type: none"> ・うちの町だけの品種 ・「東吾妻の味」のブランドづくり
<ul style="list-style-type: none"> ◆岩島麻 <ul style="list-style-type: none"> ・麻文化。古からの歴史がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・麻引き見学
<ul style="list-style-type: none"> ◆防災 <ul style="list-style-type: none"> ・地盤（災害が少ない） ・吾妻川（自然を育む・水害が少ない） 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害の少ない町をアピール
<ul style="list-style-type: none"> ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ベイシア、A コープは町外の買い物客も来る ・豊かな山林。町の 7 割を占める ・温泉。日本三大美人の湯 ・遺跡 ・桜。おまき桜（町指定天然記念物）、岩井河原の桜など、桜が多い ・エコマーク。日本で活躍しているスポーツ選手の衣装を作成しているから 	

誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと	それはどうしたら誇り・魅力にできるか
<ul style="list-style-type: none"> ◆槻ノ木 <ul style="list-style-type: none"> ・国の天然記念物だけど… ・悲しいことになっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・槻ノ木以外のケヤキの大木群等を町の観光資源として PR する
<ul style="list-style-type: none"> ◆観光地 <ul style="list-style-type: none"> ・水牢 ・岩井桜並木。農繁期と重なるため、地元住民は気を遣う。根元の病害虫 	—
<ul style="list-style-type: none"> ◆町施設 <ul style="list-style-type: none"> ・桔梗館 ・キャンプ場。あまり発信できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・草津温泉より景色がよいと草津の人が言っていた。 ・キャンプ場は、設備の良さを PR。何もなく、近くに川があることを PR。 ・併せて観光 PR。宿泊する場合は 1 泊 2 日のモデルコースなど。

◆土産問題 ・農産物直売所に目立つ商品がない ・観光客向けだけでなく、遠方の知人に持っていくものに困ってしまう ・名物が無くはない	・商品の豊富さや固有品物を販売する
◆野生動物 ・いろいろな動物がいるが、それによる被害が出ている	・ジビエ料理の PR ・野生動物園
◆二市町村問題 ・ハッ場ダムに賛否両論ある ・榛名湖は一部東吾妻町も入っているけど… ・浅間隠山は日本二百名山でよい山だけど… ・浅間隠山の二度上峠はよく行く	・それぞれの市町村とのタイアップや共催等を模索する ・観光 PR を強く行っていく ・林道、歩道の整備 ・シャクナゲやドウダンツツジの大木を PR
◆その他 ・駅。町内に 4 駅（群馬原町、郷原、矢倉、岩島） ・古民家、空き家	—

2 班

キーワード：健康づくり、医療、子育て支援【福祉資源】

魅力・誇りになっているもの	その誇り・魅力をさらに高めるためには
◆子育て支援 ・子育て広場。他町村からも利用できて、開放的なイメージが良い ・子どもがのびのび育ちやすい	・子育て広場が町内の地区ごとにあるといい ・出産などの一時預かりの充実。保育士の増員ができるように、資格取得を町が援助する ・福祉医療資格の延長。現在の中学 3 年生までを高校生まで延長
◆医療 ・原町日赤。吾妻東部で唯一の総合病院だから ・原町日赤。県内 2 か所うち 1 つが町の中心にある ・原町日赤がある ・健康増進センター。他町村にない施設だから ・健康増進センターのスポーツジムの整備	・小児科の入院や産科がない ・医学部の奨学金制度を創設し、医師を確保 ・健康増進センターはジムのマシンを増やす ・講習がいつでも受けられるようにする ・開館時間（を長くする）
◆道の駅 ・道の駅あがつま峡	・完成した猿橋でさらに有名にする ・現在開発中のコンニャクバーガーを道の駅で売り出して有名にする
◆歴史・文化 ・ハート型土偶が有名 ・土偶と遺跡の町 ・岩島麻 ・真田等の歴史	—
◆人物 ・人柄がよい ・島村幸大（ゆきひろ）。東吾妻町出身で日本一有名な劇団である劇団四季の看板俳優 ・町田啓太（劇団 EXILE のメンバー）	—
◆特産 ・水仙。日本一 ・ギンヒカリ（ニジマス）。県特産の産地 ・イチゴ、リンゴ、ナシ、ブドウ等、季節折々の果物 ・コンニャク ・いわびつ汁	—

<ul style="list-style-type: none"> ◆自然 <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな自然 ・吾妻溪谷。紅葉がきれい ・吾妻川と水仙畑。河川の自然と公園施設 ・河川敷遊歩道。風光明媚な場所でウォーキングしながら健康増進できる ・岩櫃山 ・箱島湧水とホテル。きれいな水 ・日量3万トンの箱島湧水とホテルが乱舞する里 	<ul style="list-style-type: none"> ・PRが足りない ・箱島湧水までの交通網。1人客や高齢者などが来られるようなバスやタクシー
<ul style="list-style-type: none"> ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・治安が良い ・高齢者ものんびり暮らしやすい ・高齢者が元気 ・ゆるキャラグランプリで水仙ちゃんが苦戦している 	

誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと	それはどうしたら誇り・魅力にできるか
<ul style="list-style-type: none"> ◆健康増進 <ul style="list-style-type: none"> ・健康増進センターが整備されていない ・健康増進センターの開館時間 	—
<ul style="list-style-type: none"> ◆子育て <ul style="list-style-type: none"> ・子育て広場。町に1か所しかなく、遠方からは利用しにくい ・子どもが遊べる場所が整っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設と人材の確保を図る
<ul style="list-style-type: none"> ◆高齢者 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者人口が多いが、体制が整っていない ・高齢者施設が足りない。町内で入所できずに町外に行く人がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホームなどの施設を町で援助して増やす ・一人暮らしの高齢者訪問
<ul style="list-style-type: none"> ◆医療 <ul style="list-style-type: none"> ・原町日赤。診療科が少ない ・原町日赤。医療診療が不十分 ・原町日赤。医療体制や医師が不足 ・町内に耳鼻科、眼科、産婦人科が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の充実 ・診療科の充実
<ul style="list-style-type: none"> ◆有名人など <ul style="list-style-type: none"> ・有名人 ・水仙ちゃん。知名度が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光大使になってもらう ・いろいろなイベントに呼ぶ
<ul style="list-style-type: none"> ◆空き地・空き家 <ul style="list-style-type: none"> ・田畑など、空き地が増えている ・一人暮らしや若者向けのアパートが少ない ・土地が高い ・空き家が増えている 	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地にソバを栽培し、ソバの産地にする ・空き家対策計画で改善に努める

3班

キーワード：学校教育、郷土の歴史【教育資源】

魅力・誇りになっているもの	その誇り・魅力をさらに高めるためには
<ul style="list-style-type: none"> ◆岩櫃 <ul style="list-style-type: none"> ・岩櫃城。どうやって造ったのかと思うすごい山城 ・岩櫃山。出浦昌相（忍びの統領）など、真田氏の重要な拠点 ・岩櫃山。初心者の登山に最適 	<ul style="list-style-type: none"> ・忍び登山、忍びの乱などの継続 ・案内所での土産販売 ・国の重要文化財化 ・全貌を知りたい
<ul style="list-style-type: none"> ◆ハッ場ダム <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろと話題となったダム ・ダムのコンクリート。100万立方メートルも大柏木から送った 	<ul style="list-style-type: none"> ・東吾妻町にも接していることをPR ・100万平方メートルのコンクリートのために山を削ってつくったプラント跡地の有効活用 ・ダムカレー、ダムバーガーなど、新しいB級グルメがほしい
<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統文化 <ul style="list-style-type: none"> ・岩島の麻。日本有数の上質な麻 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の幅広い継承。栽培地の拡大

<p>◆歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハート型土偶。唯一無二の美しいハート型。芸術的にも評価が高い ・ハート型土偶。土偶界のアイドル ・加部安左衛門。横浜で三井よりも大きな店を持っていた ・岡上景能（おかのぼり かげよし）。岡崎の名代官。岡登用水をつくった 	<ul style="list-style-type: none"> ・土偶の管理権 ・土偶が里帰りできる施設 ・土偶が出土した場所を史跡にする ・子ども向けの紙芝居、本、副読本（マンガ）などをつくる ・資料館や功績を偲ぶもの（をつくる）
<p>◆自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箱島にホテル ・箱島の湧水。日本百名水 ・自然と空気 ・町内各所の温泉 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けの情報発信 ・案内板の増設等、さらなる PR
<p>◆生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザ・コンパクトシティ。原町辺りは住みやすい ・原町日赤。群馬に2つしかない日赤の1つがなぜかある ・パナソニック、リンテック、サンワ ・水仙ちゃん。何気にごこへ行っても人気 ・助け合いながら暮らす地域 ・年寄りが元気。毎日グランドゴルフしている ・食料品等が安い。人口の割に大型スーパーが近くにある ・物価が安い ・子ども達がのびのび育つ ・コンニャク 	<ul style="list-style-type: none"> ・岩井と中之条駅南をつなぐ LRT があつたらさらにコンパクトシティ ・幼稚園、小学校を合併すると、たくさん的人数で学べてよいと思う

誇り・魅力にしたいけれどなっていないもの・こと	それはどうしたら誇り・魅力にできるか
<p>◆教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト・マッピング。群馬の自治体で最初にやって、パナソニックもあるのに、次につながらない ・中学校が統合して盛り上がっているが、各地区から中学まで距離がある ・STEM（サイエンス、テクノロジー、エンジニアリング、マスマテックス）＋医療の研究課題が豊富。温泉、火山、酸性河川、バイオマス、水力発電、ダム、橋梁、スマートシティなど、理工学分野。リンテック、パナソニック、サンワ、東洋大学など。 ・原町スケート場。国体選手も生み出している 	<ul style="list-style-type: none"> ・原町日赤があり、福祉の関心も高いので、医療や福祉に特化した公営学習塾 ・合併してほしい ・STEM＋医療の公営学習塾 ・年1回、羽生弓弦を呼ぶ
<p>◆生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通 ・原町日赤 ・Wi-Fi が普及し、いろいろと便利になってきたが、まだまだ普及率が低い 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数を増やす ・無料の巡回バスを出す ・産科、婦人科を増やす ・町の Free Wi-Fi をつくる
<p>◆自然</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩井の桜並木 ・槻ノ木。元気がなくて寂しい ・瀧我山と不動の滝 	<ul style="list-style-type: none"> ・桜の木を町中に植える ・水仙まつりのアピール。駐車場整備が必要
<p>◆歴史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大戸関所跡 ・木村卓堂（儒学者）、池田伝三郎（小栗家臣）、山口三郎、海野兄弟など、忘れ去られる寸前の歴史人、偉大な人々 	<ul style="list-style-type: none"> ・吾妻音頭、東音頭などたくさんあつて覚えきれない。東吾妻の歴史を盛り込んだ歌を作成し、全員が踊れるようにする
<p>◆ダム振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・樽沢トンネル。全長 7.2m の日本一短いトンネル ・大場の七不思議。ダムの関係で埋もれてしまった。坂上村史にしか書かれていない ・コロコロコロケ、いわびつ汁はどこにいったのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本一短いトンネルということで、「悩み事の解決」に御利益があるというブランディング ・大場の七不思議をミニ冊子などでアピール ・レストランのメニューに七不思議メニューを。体によい、目によい、安産メニューなど

当日欠席の総合計画審議会公募委員からの意見等

- ・東吾妻町出身者の雇用先、就職ジョブカフェなどのキャリアサポートの充実
 - ・移住・定住者向け古民家の活用、サポート手当など、他町村にない移住メリットの創設と PR
 - ・赤ちゃんや子どもへ年 1 回程度の絵本・児童書のサービス
 - ・不妊治療費の全額サポート
 - ・おむつ手当の増額
 - ・自然を活かした公園・遊び場づくり など
-
- ・人々が優しい、年間を通して涼しい、水資源が豊富、自然環境が豊か、災害が少ない、道路が渋滞しない、温泉地が近い
 - ・U ターン者への居住地提供もしくは斡旋（空き家、空き店舗の改修、提供）
 - ・都心でなくてもできる産業・企業の誘致（IT 企業、レンタルサーバー、デザイナー）
 - ・近隣市町村との情報・サービス・施設の共有利用化
 - ・企業への課税低減（市町村民税、固定資産税、水道料金）
-
- ・安心安全に住める田舎
 - ・不便なこと、足りないこともあるが、解決策を住民がもてる、実行できる社会
 - ・原町赤十字病院の存続。小児科や婦人科の入院ができない不便はあるが、群大や前橋日赤など他の病院との連携を十分にとってつなげる
 - ・遠方の病院で治療をする場合の不便さや苦勞を助ける仕組み
 - ・農業収穫物の自給自足と地元への供給ができるしくみ（地産地消のメリットをみんなが実感、災害時にも活用して住民の安心確保）
 - ・伝承文化や遺跡や歴史について、小学生にくわしく伝えることが大事（誇りやこの地域を大事思う気持ちが育つ。繰り返し少しずつ、何度も聞かせて、自分たちの地域の理解を深めてほしい）
 - ・避難訓練として、避難所に実際寝泊まりして災害時に備える避難体験機会
 - ・高崎・前橋への生活の一部としてのバスツアー（買い物、映画、食事、イオンツアーなど）
 - ・外国の方 100 人くらいが 3～5 年くらい入れ替わりながら住んで働いてくれて、町の一員として馴染んでもらって、参加してもらおう（住む場所の手配や言葉を教えたり、馴染める手伝いやご飯なども世話役の人がめんどろみてあげて、いずれは国に帰るけど、東吾妻町で働いてもらって、それをつなげていけるようなしくみ）
 - ・「町もやるからみんなもやろう」の意識がみんな持てるようにする（町民アンケートで「機会があればできる範囲で関わりたい」56.5%をどう解釈するか。住民が一人でできること、住民みんなができることを増やせる雰囲気、気風が高まるといい）
-

8 関係団体及び民間事業者等ヒアリング 実施報告書

実施概要

1 実施の目的

町政運営の羅針盤である総合計画を効果的・効率的に推進していくためには、町民はもとより、町政に関わりのある各種団体や民間事業者等の参画や連携を得ることが重要と考え、第2次総合計画の策定にあたり、いくつかの団体や企業、機関を選定し、今後10年間のまちづくりについて、意見や知見等を聞き取ることを目的とします。

2 実施の方法

町内で事業を展開する各種団体、企業・事業所のうち、町役場が独自に抽出した45者にヒアリングシートを郵送配布・回収しました。その後、東吾妻町のまちづくりに「関わりたい」と回答した各種団体、企業・事業所については、2月に実施したパブリックコメントの際に資料を送付し、さらに意見を求めました。

3 ヒアリングシートの配布・回収状況

実施日	平成29(2017)年8月8日~8月31日
対象	町内で事業を展開する各種団体、企業・事業所のうち、町役場が独自に抽出した45者
回収	29件(64.4%)

意見等について

1 現在の東吾妻町の魅力・特徴は何だと思えますか。

キーワードを見てみると、「自然」「安全（災害がない）」「歴史」等に関するものが多く、特に、「自然」は 29 件中 25 件が触れています。

自然のみどり	自然
水と緑に恵まれた自然環境豊かな町	自然
緑に囲まれ、自然環境に恵まれているところ	自然
自然が豊かである	自然
自然がとても豊かで住みやすい	自然
豊かな自然、災害が少ない、住みやすい	自然・安全
豊かな自然、災害が少ない	自然・安全
風水害等の自然災害が少ないうえ、治安が良く暮らしやすい。地理的に極端な「田舎」でもなく、日常生活に特段の不自由さは感じない。地形が変化に富み、自然を直接的に感じられるのが魅力であると思えます	自然・安全
自然環境に生まれ、山や川をごく近くに見ているが、これまで甚大な自然災害に見舞われていない	自然・安全
手があまり入っていない自然（山・河川）、隠し湯的な温泉、自然災害リスクが少ない安全な地域、おいしい野菜	自然・安全・温泉・農
魅力はやはり、四方を山に囲まれた自然と災害がとても少ない点だと思います。そして吾妻郡の中でも特に原町バイパス沿いの商業施設の充実です	自然・安全・商業
自然環境では、国指定名勝「吾妻峡」や岩櫃山、浅間隠山、榛名山等、気軽にハイキングや登山が楽しめ、箱島の湧水等の自然があり、歴史的にも郡内でもっとも多く古墳が存在し、金井廃寺や岩櫃城跡などの存在は吾妻郡の中心的存在だったことを示している。また、天災が少ないことも特徴のひとつである。スポーツ界では、トップアスリートが数多く誕生し、東洋大学との交流イベントも盛んである。町の魅力・特徴は私たちの身近なところ楽しさのステージがあることである	自然・歴史・安全・スポーツ
豊かな自然（吾妻峡、榛名山など）、歴史的文化遺産	自然・歴史
榛名山と吾妻川沿いの自然、歴史遺産。大規模農・畜産業の生み出す食材	自然・歴史・農
静かな田園風景、岩櫃山やその他歴史遺産、豊かな農産物	自然・歴史・農
魅力は、自然に恵まれた環境。その環境から生まれた、純粹（素直な心）我慢強さ（忍耐強さ）を持った住民が多い。特徴は、歴史のある町、自然に恵まれている（温泉がある、豊富な農産物、箱島湧水と蛭）	自然・歴史・温泉・農・人
榛名湖、吾妻川、岩櫃山、箱島湧水（名水）、遺跡等、豊かな自然と歴史遺産。将来的に上信自動車道開通後の都市部とのアクセス及び八ッ場ダム、自然、農業、観光面の魅力も増加	自然・歴史・農・ダム・アクセス
豊かな自然と歴史ロマンにふれられること。産業面では水力発電エリアのため、電力リスクが少ない（3.11 で実績）	自然・歴史・電力
歴史を抱える岩櫃山、新緑と紅葉の吾妻峡、榛名山から 70～80 年掛けて浸透したと言われる箱島湧水（環境省日本の湧水名水百選のアクセスランキングでは、常に 50 位以内を堅持。）の自然や町のキャラクターでもある水仙は、観光としての魅力がある。群馬ブランドである鱒の銀光、りんご・岩井米・さくや姫・ズッキーニ・こんにやくなどの農水産物でも工夫次第で一部に発信できる魅力はあると思えますが、自己の責任で、自腹を切っても情報の発信や事業起業する意思のある人がいない	自然・歴史・観光
岩櫃山や吾妻溪谷の景観や田舎の田園風景、天皇賞を取った蒟蒻やざんひかり（鱒）、林檎、さくや姫・岩井米、箱島湧水等の農水産物、川中温泉や鳩ノ湯温泉、薬師温泉、松の湯温泉等の温泉等々、目玉となるような大きな観光資源や農水産物はないが、程々のゆったりとした都会にはない自然や食べ物がある	自然・農・温泉

自然が豊か、観光資源に恵まれている（吾妻峡、岩櫃山、箱島湧水など）	自然・観光
魅力は非常に乏しい。強いて言えば豊かな自然に囲まれた環境。真田丸で注目された岩櫃城（岩櫃山）	自然・観光
豊富な自然環境。有名観光地（ハッ場ダム、草津温泉）に隣接	自然・観光
豊かな自然に恵まれている。住民が穏やかで優しい人が多い	自然・人
山や川、温泉に囲まれ、豊かな自然が魅力であり、特徴であると思います。またそこに大規模なダムが建設されていることも特徴	自然・ダム
吾妻郡の中の商業の中心地	商業
東吾妻町に魅力を感じられない。行政機関、観光協会を含め努力を感じられない。あまりにも大河ドラマに岩櫃関連に依存しすぎる、各地を見ても放映後1年以内にさびれている現実がある	その他
今は真田丸に関して岩櫃城を取り上げ、これからはダム関連で吾妻溪谷の開発だと思えます	その他
一番の魅力は「飲み水」が一年を通して冷たくておいしいところだと思います	その他

2

「まちの魅力向上」「ブランド力強化」のために、どのようなことが必要だと思いますか。また、そのために貴団体としてどのような展開が考えられますか。

（1）「まちの魅力向上」「ブランド力強化」のために必要なこと

キーワードを見てみると、「情報」「ハード整備」「交通」等に関するものが複数見られます。

観光情報（HP）の充実。例えばキャンプ場使用料金の掲載	情報
情報発信、中之条のピエンナーレのように町全体（原町、太田、坂上、岩島、東のエリア）を巡って各地区の魅力が感じられるイベントの企画が必要と考えます。数日間滞在し、食文化、自然を満喫してほしい	情報・イベント企画
魅力をかきたてるような場所をつくる。この場所を中心に交通の便を良くし、利用しやすい環境を整えていく。例えば、「ダム下の街」・・・温泉に隣接した場所に道の駅をつくり、吾妻の魅力を伝える	情報・交通
岩櫃を中心とした観光スポットの開発と SNS を使った配信による PR 強化	情報・観光スポット開発
魅力向上のために、便利な町へ。商業施設群の更なる充実を（ベシア・A コープ吾妻店を中心とした施設は魅力だった）。働き先の確保（県外への流出を阻止）、人口の減少（過疎化）にブレーキを。何を魅力的に見せるかの PR 活動（温泉・自然・農産物）。公共交通網の充実を（電車・バス・タクシー）。ブランド力強化のためといっても、ブランドがないように感じるので立ち上げを。町民が一体となって臨める（取り組める）ものを見つけ出す。「岩櫃ブランド」（岩櫃太鼓を日本一にしよう、匠の力（伝統技巧））	利便性・商業施設・情報・交通・ブランド
地域に住む人々が再認識するため、ホームページや催し物などを企画する。また、学校教育を通して幼少の頃よりしっかりと教える	再認識・情報・学校教育
他地区に発信できるものとしては、岩櫃城跡の整備と更なる PR により、歴史あるまちを住民ももっと意識し、さらに「杉並区」との交流を深めることが必要。施設としては「資料館」が是非必要と思います	ハード整備・情報・再認識・交流
他の市町村、あるいは県外からの人を呼べる施設等の整備。今のままでは東吾妻町は空洞化してしまう	ハード整備
岩櫃周辺の開発	ハード整備
岩櫃山のアピール、登山道や案内板の充実及び環境整備（観音山含む）	ハード整備
岩櫃山の環境整備、ハッ場ダム完成後の吾妻峡の交通安全対策を含めた整備、箱島湧水の利活用、水仙の里の規模拡大と交通対策。また、子育てしやすい環境整備に保育料や医療の無料化と子育て世代の交流の場等による人口維持策。ブランド化は、品種を絞り、休耕地も利用による大規模化や品質確保、コンテストへの参加、販路開拓などへの情報提供や指導、支援	ハード整備・子育て・大規模化・販路開拓・情報・支援
住みやすい町というなら、子育て環境の整備と交通手段の確保だと思う。子どもがいれば活気も出るし、老人も住みやすい。交通手段（バス）については、車のない人（子ども、老人）、	子育て・交通

また子どもの送迎対策にもなるので、収益が上がらないとバス代は高くなり、結果本数が少なくなる現状の改善が必要と思う。「ブランドカ」については、あれもこれもでなく、的を絞ってと思うが・・・何がよいか判らない。	
高齢者や子どもがいきいきできる環境づくり	子ども・高齢者
若い世代が住めるまちづくり	若い世代
「里ブランド」をつくる（スポーツと身体の健康の里、音楽と心の健康の里、芸術と心の健康の里（ビエンナーレなど）。スポーツと芸術と音楽と健康と温泉と食と田舎の持つ自然な魅力をすべて1ルートで結びつけることにより、渋川市、中之条、高山、東吾妻、草津、長野原、嬭恋を一地区として捉え、産業化を目指す	ブランド・スポーツ・文化・広域連携
リーダーシップやトップセールスの実践（地場産業・伝統工芸・伝統文化などの調査や再発見をし、魅力向上に結びつける）。健康長寿を伸ばすための日常的なスポーツの活動の推進と拠点づくり（関係機関との更なる連携を深めること）。スポーツ指導者の育成と支援。トップアスリートの育成	リーダーシップ・トップセールス・健康長寿・スポーツ
行政と商工会、JA あがつまとの良好な関係	連携
JR と連携した PR（中之条ビエンナーレ、まちなか5時間マラソン等）	連携
伊香保、草津温泉の中間点としての観光スポット・知名度向上	知名度向上
地域住民のつながりの強化（昔ながらの組内、隣近所）。災害が少ないまちづくり（山林の整備、危険個所の調査と対策、避難所の整備（受け入れを含む））。地産地消及び6次産業	つながり・防災・地産地消・6次産業
魅力向上のためには産業の活性化が必要であると考えます。東吾妻町の魅力・特徴である豊富な自然を活かし、農林業の活性化が地場産業となりうる要素があると思う。ブランド力強化については、個々（企業）のマーケティング力には限界がある	農林業活性化・個々のマーケティング力
上水道開通を含めて、居住エリアを強調しては。協働事業として行う上水道、簡易水、住民税、固定資産税含め、定住者の一時負担を数年間減額する。土地購入、建設など新しい機関の立上げを。リーダーである町長はトップセールスをしていただきたい	居住エリア・トップセールス
町全体の行動力	行動力
上水道を踏まえた工業誘致対策、町主導による住宅団地の取組等による人口増加対策	工業誘致・住宅
具体的なテーマの選定。関東一、日本一を目指す	一番
客観的な視野を持って東吾妻町を分析していくことが必要だと思います	分析
地域との密着	地域密着
都会のスタイルに媚びるのではなく、適度な「田舎感」を前面にUターン・Iターンを促進し、人の温もりを感じられる地域づくりを醸成し、コミュニティを継続維持することが必要と考えます（自然の良さと、人の好さを感じられるまちづくり）。	適度な「田舎感」・人
自然災害の少ない利点を生かし、予想される大地震発生時の大都市部被災者の受け入れを可能とする	安全

（２）「まちの魅力向上」「ブランド力強化」のために、貴団体として考えられる展開

それぞれの事業分野における展開だけでなく、他団体や他産業との連携、スキルやサービスの提供、地域住民との連携など様々なアイデアが寄せられています。

人が交わる場所としての情報発信に努める（観光施設）

地域産物の直売や夏祭りの紹介（畜産業）

吾妻高校では積極的にボランティア活動の参加を呼び掛けている（学校）

地産地消。地場産業を使った商品開発。地元住民参加型のイベント（観光施設）

弊社はスポーツと健康に協力できそうです（アパレル）

「道の駅」建設にあたり、構内のインフラや街灯のトータルコーディネートができる（機械製造業）

農産物の販売（畜産業）

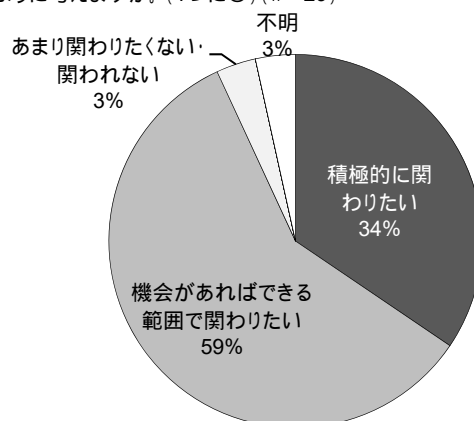
当店としては自社の地域ブランド商品開発、お客様へのサービス向上（製菓業）

全国のネットワークを使った PR 活動等（郵便局）
特産品（物）の強化（農業団体）
〈自然を活かす取り組み〉耕作放棄地の解消対策。農業後継者との連携強化（農業団体）
行政と企業で協力しての町づくりの活動（交友会の活性化）（機械製造業）
「もの造り」を通して部品（自動車部品、IT 部品、ロボット部品等）の製造拠点（機械製造業）
広くこのまちを知っていただくための情報提供（HP や SNS を活用した観光情報の提供）を行っていくこと（観光団体）
町の魅力（歴史）を伝える中心となるお年寄りが地域で住み続けられるように。地域住民と連携を強化していく（福祉団体）
設備融資（金融機関）
金融機関として取引先企業の育成や事業の継続性確保のための経営アドバイスや資金供給（金融機関）
事業主体としての展開は難しいが、この地域の雇用の確保や従業員の待遇改善が、自分たちに求められる一番の存在意義だと思っている。交通手段の確保等で出来ることがあれば協力するが、営利企業の収益を株主や従業員の同意なしに企業としてボランティアで提供するには限界がある（建設業）
地域産業の製品（商品）等の展示（機械製造業）
事業の主体として展開することは難しいが、根幹をなす事業者の持続を図るべく経営支援や農産物の付加価値向上のための 6 次化と、6 次化による販売支援の展開は可能であると思います（商工団体）
ちょっとだけ「おせっかい」であるが、いつも見守られている安心感を持ってもらえるような地域活動（特にボランティア活動）の持続性を補完するためのサポートを行うこと（福祉団体）
当協会のスタンスとしては地域伝統文化の継続と発展に寄与し、さらに各部の発展により、精神、肉体の向上、豊かな生活に貢献したい（文化団体）
「スポーツの町宣言」の具現化の推進（町スポーツ協会を構成する各部による活動の活性化と事業の充実）。専門的知識を有する指導者の派遣。競技スポーツ・生涯スポーツの普及及び振興（スポーツ団体）
古民家を再生して年齢層幅広い人達が気軽に集まれるような「居場所づくり」。介護保険を使わなくても高齢者と子どもが相互に助け合い、暮らせる場所（福祉団体）
若い人が働ける場所の提供（社員募集しています）（機械製造業）
所有している顧客に宣伝・アピール（宿泊業）

3 貴団体の持つノウハウや技術、施設や設備、人材などを活かして、東吾妻町のまちづくりに関わることにについてどのように考えますか。（1つに○）

「機会があればできる範囲で関わりたい」（59%：17 件）が最も多く、次いで「積極的に関わりたい」（34%：10 件）となっています。「機会があればできる範囲で関わりたい」「積極的に関わりたい」を合わせた「関わりたい」（93%：27 件）は 9 割以上を占めています。

貴団体の持つノウハウや技術、施設や設備、人材などを活かして、東吾妻町のまちづくりに関わることにについてどのように考えますか。（1つに○）(n=29)



「まちの魅力向上」「ブランド力強化」と、「協働によるまちづくり」を進めるために、東吾妻町役場は行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

施策の進め方や職員の心構え、総合計画の進行管理、人口減少への対応に関することをはじめ、様々な意見が寄せられています。

継続できるビジョンを示し、カタチにするための検討会（モニタリング）を小地区毎に行ってみてはどうか
住民の声が率直に届くシステムづくり。教育の強化（町出身者は県や国の中枢を担う）

リーダーシップを発揮し、1つのことに絞って行動すべきである

予算もあるためにできるだけだけの推進をしてください

1つの取り組みに対し、担当者が一定期間以上関わられるよう工夫してほしい（担当者が直ぐに変わってしまうと事業が停滞することも考えられるため）

行政は協力して専門性を持つ人材を登用してプロジェクトチームを作る（雇用が大切）

一緒に考え一緒に進めてほしい。行政と民間の間に溝があると話し合いにもならないと思う。行政だけでは進めないし、民間だけでも進まない。協働すれば色々なことがスムーズに進み、町の発展につながると思います
一人ひとりが町の営業マンという意識をもって様々なものを売り込んでいくべきだと思います

公僕たる職員の真摯な取り組み姿勢とサービス精神を持った行動を（町民が誇りに感じる職員）。婦恋・高山・中之条・草津のように、町の魅力を代表するものの創出。働き先の確保（県外への流出を阻止）人口の減少（過疎化）にブレーキを。自分たちが何とかしなければ、と率先する気持ちを前面に出していく姿勢。常識にとらわれず、新しい満足、新しい価値の創造

第2次総合計画を策定する前に、第1次総合計画で計画した事業や取組で、何が出来て、何が出来なかったか、原因は何処にあったのか、結果の総括を最初にすべきで、それを見せからの第2次と思う（PDCAを完結し第2次に）。計画は「みんなで決めた」でなく、誰が決め、誰が補佐で、実行はどの部署、責任者は誰々、何時までに、何をという5W2Hで分かるような責任関係をオープンに見せるような行政システムを作ることが行政職員の役割と思う

今回の総合計画に長期的な計画が立案されるのに伴い、中期並びに短期の計画も併せて立案し、目標設定することで、その計画に沿った事業展開を図るために、行政のリーダーシップの下に事業推進を図ると共にまとめ役として継続的に取り組むべきだと思います

小布施や秩父のような成功事例を研究し、当町独自の開発を考えてほしい

ホームページのインパクトがないので思い切った変更をする、スマホ向けのPR動画などはどうでしょうか

観光客の呼び込み、住みやすい環境づくり（都会からの移住者増）。原町駅に特急列車が止まらないのは痛い
人口減少の歯止め

人口増加が第一と考えるなら、人を呼び込むため、企業誘致等、優良企業への積極的アプローチを行うなど

人口減少対策（創業支援や空き家対策）

人口増加対策として例えば都会の若者を移住させる対策。空き家対策にもなる。商業施設の誘致で若者が集うまちづくり

中之条町のように住宅の補助金助成や観光イベント等、若い人が集まりやすい方策を検討願いたい

町の一番の強みである農業に対して理解が無さすぎる

産業について個々には限界のあるマーケティング力を向上させるため、行政の介入により団体として町外に東吾妻町をアピールする事

農業面で、JA、農業委員会との連携強化により、特産物の再発見、導入指導。農業の担い手層、農家の婦人層の組織化見直し及び補助金施策の再検討

教育機関と協議し、町の魅力や歴史、また、郷土料理、祭りなど。東吾妻町について小さい頃より勉強（体験）する機会を増やす

産業界の製品（商品）等の展示（他の駅には地域産業の製品が展示してある）、観光案内（駅、物産館など）、各種イベント企画など、町のPR

「スポーツ町宣言」を宣言したことにより、基本となる「スポーツ推進基本計画」を早期に策定すること。スポーツ振興基金を活用し、トップアスリートの育成や指導者育成事業を行うこと。2028年、第83回国民体育大会の種目誘致をすることにより町の活性化が図られるのではないかと。誘致に向けて早期に、強力に進める。スポーツ関連施設の現状を調査分析し、整備計画を策定すること。吾妻橋が開通することにより、行政主導の全国的展開のスポーツ事業の開催が可能になるのではないかと（例：マラソン大会・駅伝競走大会等）

今般の情勢下では新規の事業者・企業を取り込むことは難しいと思います。今ある事業者・企業が活躍を長く続けられるような支援

5 その他、東吾妻町へのご意見等

東吾妻町は「吾妻川」に沿って、上流から下流まで集落が発展しています。自然の観光として「榛名山」「吾妻渓谷」「岩櫃山」「箱島湧水」、また、その集落ごとにたくさんの歴史があり、「大戸の関所跡」「岩下の片貝家のお雛様」や「五町田の茅葺住宅」など、目で感じられる歴史があると思いますし、町が発展してきた財産なのではないでしょうか。「温泉」を介して地元の方はもとより、近隣市町村、全国より人が集まる場所には解りやすい案内方法として道路標識（土木事務所管轄の分かりやすいもの）の見直しや新設を検討してみてもどうでしょうか。現実的に大きなPRイベントを春夏秋冬、4企画の柱を企画し、町内住民の記憶に残る企画をすることで自然に情報発信となり、リピーターにつなげることもなるのではないのでしょうか。もちろん、このイベントに対して、枝葉として行政側の支援（予算を組む）で、商工会やJAあがつまと協力して地産地消商品の販売に繋げ、地元商店や企業の販売促進を推進していく。継続していけるビジョンを考え「より良い、住みやすい東吾妻町」の将来の為に考えます（例：春「すいせん祭り・農業体験」、夏「あづま親水公園夏祭り・MTB体験」、秋「あがつま峡収穫祭・ハッ場ダム見学会」、冬「地産地消スタンプラリー（商工会登録店）大抽選会総額100万円」）

吾妻高校の統合により、群馬原町駅で乗り降りする女学生が町から消える。温泉センター閉館による1つの名所が無くなったことによる失望感がある。若者呼び込む政策として1つは都会の若者を移住させる対策をする。もう一つは商業施設の誘致が理想ですが。私は部活指導をしていて県外のチームが合宿に来て、町民体育館をお借りして練習試合を行っています。セミナーハウス（例えば草津セミナーハウス）を作り、大学、中高生の合宿、研修等に使えたら素晴らしいと思います

山間地域を大きくとらえて（1市、4町、2村）各行政区から委託されたプロジェクトチームが運営管理する組織づくりを行う

高規格道路が開通したら本当に空洞化してしまう。草津、四万、伊香保などの集客力のある施設に囲まれているのだから、ついでに立ち寄ってもらえるような町を目指すべき。今のままでは素通りするだけの町になってしまうと思います

東吾妻町、長野原町、草津の3地区のハッ場ダム観光開発について会議を開くべきだ

上信道川戸インター周辺の安全確保（高低差、道路交差部の安全確保）→通勤退社時の従業員の交通事故が心配です。リンテックへの入場道路の取り付け形状の安全性確認したい。リンテックの駐車場の再確保への協力をお願いしたい。→川戸インター建設により社員駐車場100台分が使用できなくなるため、代替地が必要

このような機会をいただいて大変ありがたく思います。もっとこのようなことをオープンにさせていただけたらと思います

第一次総合計画とその結果を総括し、その反省が最初の活動で、それができない時点での第二次計画では、また、計画だけに終わると思う。まずは第一次計画の総括をすべきと思う

町は町の魅力度アップ、知名度アップに努め、来町者が立ち寄れる施設（歴史資料館や中之条の交流センター「つむじ」のようなものの建設をお願いしたい。我々民間は町に訪れた人が楽しみながら町に少しでも長く居られるように、見物箇所や特産品をつくる努力が必要だと思います

町の特徴を考えた時に、町の中央に位置する総合病院である原町赤十字病院について、誰もが必要な時に受診したくなる診療科の充実を目指し、町として最大限の助成をしたら如何か。歩数計を用いた健康管理、ポイント制を導入し商工会と連携を図る。町民プールが閉鎖になって久しいが、夏の利用期間に管内小学校のプールの一般開放を検討できないか。町の花である水仙を「水仙街道」として町全体で取り組む活動の組織づくりを展開する。空き店舗が多くなってしまった駅南アーケードの利活用を検討、整備をする。上信自動車道開通により町の活性化をどう策定するか重要課題と考える。職員へ「PDCA」「5W2H」の原理に則って企画力を向上させ現場主義の徹底を図る。第1次総合計画の前文には、地域づくりの主役は住民であるとあります。住民の体力向上、生きがいづくりに最も適しているひとつにスポーツがあります。一人ひとりの年齢や体力などにあった種目や学ぶタイミングを設けることが重要です。まちづくりの基本目標の中では「豊かな心を育む学びのまち」から「活動し、体験し、感動をするまちづくり」へ進んではどうでしょうか。また、町として「スポーツの町宣言」をしているので、より大きなくくりとして扱うべきではないでしょうか

労働者を集める際（派遣等）、アパートが近くに無く、駅周辺に増築していただけるとありがたいです

9 中学3年生「総合的な学習の時間」との連携報告書

実施概要

1 実施の目的

東吾妻町第2次総合計画の策定にあたって、中学3年生が「総合的な学習の時間」で取り組む『卒業研究』～地域への提言～を子ども達からの意見として反映することを目的とします。

2 実施の方法

(1) 「総合的な学習の時間」への町職員派遣

事前学習として、東吾妻町企画課、地域政策課、保健福祉課の3課より職員を派遣し、総合計画や総合戦略の概要、少子化や高齢化、観光振興など町の現状について講話を行いました。

生徒や学年主任からは、人口が減って何が困るのか、町内キャンプ場の利用状況、民生児童委員協議会が高齢者世帯に配布している救急医療情報キット「安心カード」はなぜ冷蔵庫に保管するのかなどについて質問がありました。

実施日時	平成29(2017)年10月11日(水) 13:30~15:30
実施会場	東吾妻中学校



(2) 東吾妻町 JHS (Junior High School) 議会開催

「卒業を控えた中3の提案」として、校内の選考を経た7名の生徒が、町議会議場において町執行部(町長、副町長、教育長)や町議会に対して質問や提言を行いました。

実施日時	平成29(2017)年11月30日(木) 14:00~15:30
実施会場	東吾妻町議会議場

東吾妻町 J H S 議会における主な質問（概要）

質問者	質問の項目	質問の要旨
1	路線バスについて	<p>私の住む太田地区には駅がないので親による送迎が必要となってしまう、学生・高齢者の方には行動範囲の狭い町に感じられてしまいます。そこで、親の送迎がなくても移動できるように、もっと路線バスを有効的に活用できればと考えました。そのために、運行してほしい時間帯を住民から聞いて時間を見直したり、運航便を増やしたりすることは可能ですか。</p> <p>また、時刻表を各家庭に配布したり、高齢者を対象としたシニアパスポートをつくることは可能ですか。</p>
2	ふるさと納税の現状と今後の活用について	<p>現在さまざまな地域でふるさと納税が活用されていますが、東吾妻町のふるさと納税の現状と他の市町村の現状を見たときに、東吾妻町の今の課題を教えてください。</p> <p>また、群馬県は車での移動が欠かせない状況にあります。近場の草津温泉や伊香保温泉、四万温泉なども車を利用して宿泊に訪れます。東吾妻町でも空き家を古民家風にリフォームして地元の食材を使った料理を提供し、宿泊してもらえるようなプランをつくれれば町のイメージアップにもつながり、知名度も高くなると思うのですが、ふるさと納税の商品として実現可能ですか。</p>
3	高齢者支援について	<p>高齢者の手助けとして、民生児童員が 70 歳以上の人を調査し、「安心カード」を広めていると聞きました。しかし、その存在を私たちは知らず、助ける側である消防の人も知らなかったりと、活用されていないと思います。「安心カード」の告知を広めるとともに、命を守るためにも全世帯への配布を進めてほしいと思います。</p> <p>また、定年退職されたシニア世代の人の生きがいとして、運転免許証を返納された高齢者などへの買い物や病院代行サービスをボランティアとして有効活用できないかと考えています。</p>
4	36 のアクションプランの進行状況について	<p>日本では、年々少子高齢化が進み、東吾妻町でも人口の減少が大きな問題となっています。2040 年に 1 万人の人口維持という目標があると聞き、それを達成するには町の活性化が重要になってくると思われます。そのために（総合戦略における）町の活性化を目的とする 36 のアクションプランを 1 つでも実行していくことが大切だと考えられます。36 のアクションプランには「基幹事業」が 7 項目あります。大きく分けると企業誘致、森林創生、保育事業、子育て世代への環境づくり、教育システムの 5 つになりますが、この基幹事業の進行状況について教えてください。</p> <p>また、事業化を検討しているプランもありますが、実施されているプランについても教えてください。</p>

質問者	質問の項目	質問の要旨
5	空き家の使い道について	<p>現在、東吾妻町には何件もの空き家が存在しているとうかがいました。そ戸で、私個人の意見としては、自然に恵まれた古き良き田舎をテーマとして昔ながらの風景を整備して再現し、「こんな町があります。」という PR 活動を通してドラマや映画の撮影場所として利用していただき、訪れた人には伝統工芸品の手作り体験や販売を行う。こうすることで町の知名度が上がり、町を訪れる人が増加すれば一石二鳥だと思います。</p> <p>また、他にもより良い方法や現実的なものがあると思うので、町として考えている空き家対策についてお聞かせください。</p>
6	吾妻ふるさと大橋を活用した町の活性化について	<p>今年 10 月に吾妻ふるさと大橋が開通しました。駅の方に向かってくる下りの景色はとてもきれいです。駅前がさみしくて、せっかくの景色が台無しです。駅前の活性化と町のイメージアップのために大がかりなイルミネーションを展開し、町の知名度を上げることと観光客の集客を目指すことは可能でしょうか。空き家や空き店舗を利用してにぎやかな駅前をしたいと思います。</p> <p>前橋のフラワーパークのイルミネーションには 7 万人、高崎の榛名湖には 12 万人、高崎城址のまちなかには 20 万人、太田の運動公園には 12 万人が訪れています。東吾妻町駅前活性化のために検討していただけますか。</p>
7	小中学生の給食費無料化について	<p>町長の公約で「小中学生の給食費無料」が、東日本大震災の影響で実現されていませんが、親世代にとってとても楽なので、給食費を無料化したら「子どもを持ちたくなる町」になるのではないのでしょうか。</p>



資料 東吾妻町第2次総合計画の案に対する 意見と町の考え方等【集約表】

パブリックコメント（意見公募）期間：平成30年2月5日(月)から平成30年2月23日(金)まで

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
1	1	前期基本計画 分野別計画 基本目標5-1 健康づくりの推進	<p>68 ページ9～14 行目「歯の健康維持について」および69 ページ6～10 行目「2 歯と口の健康づくりを推進します」について意見を提出します。</p> <p>68 ページ9 行目には、「町民の利便性をさらに向上させるため、契約歯科医院の拡充が課題です。」と記載されている点です。</p> <p>現在、町内4つの歯科医院が、委託による歯周病の節目検診（対象：40, 50, 60, 70 歳の10 年毎）や妊産婦歯科健診を実施していますが、乳幼児期の「歯っぴい健診」やフッ化物歯面塗布などは、町内1か所での実施に留まっています。平成27年から歯周病検診が、委託歯科医院で実施されるようになった事は、従来に比べ利便性の改善に該当する事項でこそあれ、「課題」とは考えにくい事項であります。また、委託歯科医院での歯周病検診実施開始は平成27年度以降と日が浅く、「契約歯科医院の拡充」は、相応の期間を経た上で実施結果などを詳細に分析し検討すべき事項と考えます。先に公表された「第2次東吾妻町元気プラン」でも「契約歯科医院の拡充」は課題として明記されておらず、整合性が失われています。</p> <p>そもそも10年に1回という頻度で実施されている歯周病検診における「契約歯科医院の拡充」が「利便性」や「検診受診率」の向上につながるかについては、学術論文などによる科学的な根拠も不明瞭です。同様の歯周病検診は県下多くの市町村で実施されていますが、市町村の枠を超えて実施している自治体は存在しません。町の保健事業として、町民のために実施する歯周病検診は、町内の歯科医療資源を有効活用して実施するべきであり、地域包括ケアシステムの理念からも外れています。町村の枠を超えて契約歯科医療機関を拡大し、歯周病検診を実施することが優先課題とするような、「契約歯科医院の拡充」という、68 ページおよび69 ページで用いられた誤解を招く表現は訂正が相応と提言します。</p> <p>以上の事由から、68 ページ9 行目以降の「町民の利便性をさらに向上させるため、契約歯科医院の拡充が課題」の文章および69 ページ7 行目以降の「契約歯科医院の拡充」については、削除・訂正をお願いします。</p> <p>具体的には、68 ページ11 行目の「町民の利便性をさらに向上させるため、契約歯科医院の拡充」は削除し、「歯周病の予防と早期治療による重症化の防止を目指し、歯周病検診受診率を向上させることが課題です」などの表現に修正を求めます。</p> <p>また、69 ページ8 行目の「定期的な歯科検診の受診促進と、契約歯科医療機関の拡充による歯周病検診受診率の向上に努め、」については、「定期的な歯科医院の受診促進と、契約歯科医療機関の協力の下での歯周病検診受診率の向上に努め」などの表現に修正を求めます。</p>	<p>ご意見に基づき一部修正します。</p> <p>基本施策の展開について、専門的な見地を含めたご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご提言の指摘箇所について、担当の保健福祉課と再度精査した結果、以下のとおり計画文章を一部修正することにします。</p> <p>【現状と課題】68 ページ11～12 行目 《修正前》 「町民の利便性をさらに向上させるため、契約歯科医院の拡充が課題です。」 《修正後》 「歯周病の予防と早期治療による重症化の防止を目指し、歯周病検診受診率を向上させることが課題です。」</p> <p>【施策の展開】69 ページ7～8 行目 《修正前》 「定期的な歯科検診の受診促進と、契約医療機関の拡充による歯周病検診受診率の向上に努め、」 《修正後》 「定期的な歯科医院の受診促進と、契約歯科医療機関の協力のもとでの歯周病検診受診率の向上に努め、」</p>

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
2	2	前期基本計画分野別計画基本目標5-2 地域医療体制の充実	<p>急速な人口減少や地域医療構想の推進により、既存の医療機関が現状の患者を確保することが難しくなり縮小や廃止も想定される。又、開業医の高年齢による引退も想定される。民間任せの医療体制構築は難しくなると思われるので行政が主体的に関わる必要がある。医師確保や財政支援などを具体化すべきである。原町日赤病院の充実は勿論だが、医師をしっかりと確保して地域の診療所等への派遣や援助ができるようにしないと、地域包括システムも機能しないのではないかと。町として医師養成（奨学金）の取り組みも検討されたい。大戸診療所が人口減少等で、運営の継続が難しくなっている。地域に必要な施設だけに、地域の医療・生活を維持する観点から、民間機関だから援助できないと片付けるのではなく行政として知恵も支援も必要。</p>	<p>ご意見は今後の参考にいたします。</p> <p>基本施策の展開について、具体的な取り組み例までいただき、ありがとうございます。</p> <p>人口減少社会への対応は、本町の最重要課題であり、施策分野の枠組みを超えた総合的かつ横断的な取り組みを進めて行く中で、ご提言は参考にさせていただきます。</p>
2	3	前期基本計画分野別計画基本目標5-3 高齢者福祉の充実	<p>一人暮らし老人や高齢老人のみ世帯の増加が進み、過疎地での自助・互助は益々難しくなる。地域包括システムの構築をどう進めるか、国の政策に追随するばかりでなく、町独自の具体的な取り組みが必要。</p> <p>点在する独居高齢者・要介護者を支えるため、ミニコンパクトシティの観点から坂上小学校の跡地活用で町単独の特養施設(30床規模)または高齢者向けの集合住宅(サービス付き高齢者住宅や小規模多機能施設も考えられる)を検討・設置すること。</p> <p>「生活支援サービス体制整備の協議体」を議論するだけでなく具体的な目標を定めて行動できるようにしたいものだが、過疎と高齢化の進行で地域で支える組織が機能するようになるか、又、維持継続できるか、もっと先を見た検討が必要ではないだろうか。</p> <p>人口減少が続く中でも高齢人口は当分増加するので、医療・介護・福祉関連の事業を、地域の基幹産業の一つに位置づけ、町づくりを進め町の存続を図りたい。そのためには、これらの人材育成や事業支援の方策が必要。今後、労働力不足も想定されるので、介護初任者研修や生活援助研修などの研修費用を町が負担し、沢山の有資格者を育成し多くの方に短時間でも働いてもらうようになれば経済の地域内循環にもなるし包括システムを支えることにもなる。(有資格者がボランティアとして地域での高齢者を支える力にもなる。)</p>	<p>ご意見を参考に一部修正します。</p> <p>基本施策の展開について、具体的な取り組み例までいただき、ありがとうございます。</p> <p>ご提言について、担当の保健福祉課と再度精査した結果、以下のとおり計画文章を一部修正することにします。</p> <p>なお、高齢者の地域における支援体制の充実は、全町的な課題であり、地域包括支援センターを中心に、今後、地区別に取り組みを進める予定ですので、ご提言は今後の参考にさせていただきます。</p> <p>【現状と課題】72 ページ 1 行目 《修正前》 「高齢者が地域において、」 《修正後》 「高齢者が住み慣れた地域で、」 16 行目 《修正前》 「地域ぐるみでの支え合いが必要です。」 《修正後》 「医療・介護・福祉にまたがる連携強化と地域ぐるみでの支え合いが必要です。」</p> <p>【施策の展開】73 ページ 11 行目 《修正前》 「その深化に向けた庁内体制を整備します。」 《修正後》 「その深化に向けた庁内体制を整備するとともに、相談内容の多様化に対応した専門職同士の連携強化や、地域の担い手の養成を図ります。」</p>

受付	No	項目	意見・提言の内容	町の考え方や対応等
2	4	その他	<p>ハッ場ダム完成に伴い大柏木トンネルが供用開始となるが、通行車両の利便性や坂上地域の活性化を図るため、大柏木入り口（坂上薬局隣り）に公衆トイレや休憩所を設置すること。地域にゆかりのある歴史上の人物（国定忠治・加部安・小栗・仲居屋重兵衛・小林一茶・高野長英など）の歴史資料館的なものも、人を呼ぶ上で検討の価値ありではないか。</p> <p>町の将来を心配している人が多数。各界・各層はもとよりあらゆるつながりの中で、粘り強く話し合いを重ね、一人一人のやれることを作り出すことが大切。町職員が積極的に地域に出ることを切望します。町職員の奮闘を期待します。</p>	<p>ご意見は今後の参考にいたします。</p> <p>地域の活性化事業について、具体的な取り組み例をいただき、ありがとうございます。</p> <p>人口減少社会への対応と合わせ、上信自動車道やハッ場ダムの整備を見据えたまちづくりは、本町の主要課題です。</p> <p>町職員の意識改革や資質の向上を図りつつ、交流人口の拡大につながる地域振興に努めていきますので、ご提言を参考にさせていただきます。</p>